

令和4年度  
カーボンニュートラル推進事業  
飯山市地球温暖化対策地方公共団体実行計画  
策定支援業務  
アンケート結果  
報告書

2023年3月



飯山市において  
地球温暖化対策を進めるためのアンケート  
調査結果(市民向け)

2023年3月

# ■アンケート調査について

## 市民向けアンケート

### ○調査対象者

飯山市に在住する18歳以上の市民

→ 無作為に抽出

→ 1,000人を対象に調査票を送付

### ○調査期間

2022年12月21日

～2023年1月5日

### ○調査方法

郵送＋WEBによる調査

### ○回答件数

256件(回収率:約26%)

郵送:205件、Web:51件

令和4年度

### 飯山市において地球温暖化対策を進めるための アンケートご協力をお願い

飯山市役所 民生部 市民環境課

平素は、本市の環境・エネルギー行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨今、気候変動の原因となっている地球温暖化を回避するため、カーボンニュートラル<sup>※1</sup>の取組が世界的に進められています。わが国では、脱炭素社会<sup>※2</sup>の実現に向け、2020年10月、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

本市においても、脱炭素に向けた計画<sup>(※3)</sup>の策定を進めております。本アンケートは、市民の皆さんの意識や取組状況などをお聞かせいただき、今後の施策検討のための基礎資料として活用するために行うものです。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

質問は全部で32問です。また、アンケートの文中に(※)がある単語は、別冊の「用語集」で詳しく説明しています。なお、用語集のご返信は不要です。

令和4年12月

(※)本市では、来年度(令和5年度)以降の地球温暖化対策の実行に向けた具体的な施策を示す「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)」(以下「実行計画」)を策定する予定です。

実行計画は、温室効果ガスの現況推計、総量削減目標を検討し、温室効果ガス排出抑制等に関する対策、施策の立案につなげるものです。

## ■アンケート調査結果の概要（1/9）

### ① 地球温暖化や地球環境の保全について

- 地球温暖化や気候変動、エネルギー問題について、回答者の90%が関心を持っている。
- 地球温暖化や気候変動による災害リスクの対策として、回答者は「再生可能エネルギーを活用する(29%)」、「リサイクルなどにより、廃棄物を減らす(25%)」ことが必要と回答している。
- 長野県「気候非常事態宣言-2050ゼロカーボンへの決意-」について、回答者の半数以上(64%)が「内容を知っている」、「聞いたことがあるが内容は知らない」回答している。また、「パリ協定」について、回答者の84%が「内容を知っている」、「聞いたことがある」と回答している。
- 回答者の84%がSDGsについて聞いたことがあり、その中でも55%の回答者がSDGsの内容を知っている。
- 日常生活の利便性と地球環境の保全との関係については、95%の回答者が地球環境の保全の必要性を感じている。

〈考察〉地球温暖化や地球環境の保全については、関心が非常に高く、脱酸素の施策推進への理解が得られやすいと考えられる。ただし、「内容までは知らない」の回答比率も高いことから、さらに市民へのPRや啓発が必要であるとされる。

## ■アンケート調査結果の概要（2/9）

### ② 脱炭素の取組の必要性について

- 脱炭素に関する取組は、回答者の94%の回答者が取組の必要性を感じている。その中でも46%が「積極的に脱炭素の取組を進めるべきである」と回答している。
- 回答者の88%が地球温暖化や気候変動の影響を感じており、そのうち気候変動の変化を感じるのは、自由記述より、「気温の上昇」、「集中豪雨」、「大雪や小雪等の発生」などである。

〈考察〉脱炭素の取組の必要性については、大半の回答者が生活の中で地球温暖化や異常気象の影響を感じ、脱炭素の取組が必要性と回答しており、地球環境への意識は高いことから脱炭素への施策推進への理解が得られやすいと考えらる。また、施策に対する市民の積極的な参加も期待できる。

## ■アンケート調査結果の概要（3/9）

### ③ エネルギー（電気・LPガス・灯油）の使用状況について

- 回答者のうち、冬期に501kWh/月以上の電力を消費する家庭が約42%で、春・夏・秋のおよそ2倍の消費電力である。（※1軒当たりの平均消費量は、5594.9kWh/年）
- いずれの季節においてもLPガスの月間消費量は10m<sup>3</sup>以下が最も多い。また、電力消費量と比べて季節変動はそれほど大きくない。（1軒当たりの平均消費量は、116.0m<sup>3</sup>/年）
- 灯油の月間消費量は冬期が最も大きい。100L未満、101～200L消費する家庭が多くを占める。また、春～秋においても灯油の使用が確認された。（※1軒当たりの平均消費量は、1601.7L/年）

〈考察〉回答者の家庭におけるエネルギー使用状況は、電気と灯油の消費が冬期に最も多くなっている。長野県の平均消費量と比べると、電気(県:5966kWh/年)の消費は少ないが、LPガス(県:93m<sup>3</sup>/年)、灯油(県:834L/年)の消費は上回っている。

## ■アンケート調査結果の概要（4/9）

### ④省エネ機器・設備等の保有状況について

- 省エネ機器・設備等の保有は、回答者のうち自宅の断熱性の向上の取組導入が37%、省エネ型電気製品の購入が34%と高く、一方、太陽光発電、家庭用燃料電池（エネファームなど）、熱回収型給湯器（エコジョーズなど）は、1～2%と普及率は低い状況にある。
- 今後実施したいと考えている省エネ機器・設備等の取組は、回答者のうち、クリーンエネルギー自動車43%、省エネ型電気製品の導入が38%と高い。
- 省エネ・再エネ設備導入の課題は、回答者のうち、「導入費用が高い」と「維持管理の手間や費用がかかる」で53%と半数以上を占めており、16%が「自宅の構造上、設置が難しい」と回答している。

〈考察〉身近な省エネ型電気製品や住宅の断熱、クリーンエネルギー自動車は導入希望は多いが、導入費用や維持管理が課題であり、市民が購入や維持管理しやすい支援制度等により、省エネ機器・設備の導入促進を図る必要がある。

## ■アンケート調査結果の概要（5/9）

### ⑤省エネ行動について

- ・ 省エネ行動は、「エアコンの節電」、「冷蔵庫の節電」、「電気便座の節電」、「給湯器の使用方法」、「廃棄物の減量化や資源化」について回答者の半数以上が取り組んでいる。一方、移動（公共交通機関、自転車の積極的利用）については、他の項目と比べ16%と低い割合を示している。

〈考察〉回答者の多くは日常生活の中で、省エネ活動に取り組んでいる。一方、移動手段は自動車に依存していることからクリーンエネルギー自動車への転換支援、公共交通機関や自転車利用の促進を図る必要である。

## ■アンケート調査結果の概要（6/9）

### ⑥再生可能エネルギーの導入について

- ・再生可能エネルギー各項目とも回答者の50%以上が導入を進めるべきと回答しており、導入の主体は、40%以上の回答者が「市が導入」、または、「市が補助し、市民・事業者」と回答している。
- ・導入すべきではない再生可能エネルギーは、小型の風力発電が18%、大型の風力発電が17%、次いで大規模なパネルの太陽光発電が14%となっている。
- ・再生可能エネルギーの推進するための市の取り組みは、「個人住宅への再エネ導入の補助(24%)」が最も多く、次いで「電気自動車や燃料電池車等の購入補助(20%)」となっているが、その他の取り組みにも比率に大きな差がない。

〈考察〉再生エネルギーについては、回答者の半数が導入すべきであると回答しており、導入にあたっては、市が導入、または、補助金等の支援を望んでいる。また、再生エネルギー施設のうち、導入すべきではないと回答が多いものは、風力発電、大規模パネルの太陽光発電であり、市民にとって施設設置による景観への影響を懸念していると考えられる。

## ■アンケート調査結果の概要（7/9）

### ⑦家庭で所有している自動車について

- ・ 回答者の97%が自動車を所有しており、そのうち、ガソリン車・ディーゼル車が78%、ハイブリット自動車・電機自動車・燃料電池車が19%に留まっている。
- ・ 今後、回答者が買い替えを希望する自動車については、ハイブリッド自動車36%、電気自動車22%、燃料自動車2%で合計60%となった。
- ・ 電気自動車導入の際の課題は、「車体価格が高い(30%)」、「充電場所が少ない(26%)」が上位に挙げられた。

〈考察〉回答者のうち、ハイブリット自動車、電機自動車所有は19%と低いが、今後買い替えの希望が60%である。一方、買い替えの課題は、購入補助や充電器施設の普及が求められている。

### ⑧家庭で所有している農業機械について

- ・ 回答者の半数以上(64%)が農業機械を保有し、1台の所有が多数を占める。
- ・ 電気農業機械導入の際の課題には、「車体価格が高い(20%)」、「詳しい情報(メリット、デメリット等)がわからない(15%)」が上位に挙げられた。

〈考察〉家庭で農業機械の保有が64%と高い。電気農業機械の導入については、「車体価格が高い」、「詳しい情報がわからない」が上位に挙げられたことから、購入補助や情報提供が求められている。  
また、今後は電気エネルギーだけではなく、バイオディーゼル燃料や水素燃料をエネルギーとした農業機械の利用推進や啓発が必要である。

## ■アンケート調査結果の概要（8/9）

### ⑨家庭で所有している除雪・融雪設備について

- 回答者の半数以上(65%)が家庭で除雪機を保有している。また、所有している半数(53.9%)が11～20馬力の除雪機であった。
- 電気除雪機導入の際の課題については、「車体価格が高い(20%)」、「詳しい情報(メリット、デメリット等)がわからない(19%)」が上位に挙げられた。
- 融雪設備を導入している回答者のうち、屋根融雪は灯油をエネルギー源とする家庭が7%と最も多く、路面融雪については電気、灯油のいずれも約6%と同等であった。

〈考察〉回答者のうち半数以上の家庭で除雪機を有しているが、電気除雪機の導入については、「車体価格が高い」、「詳しい情報がわからない」が上位に挙げられたことから、購入補助や情報提供が求められている。  
融雪設備のエネルギー源は灯油も電気以上使用されており、身近な施設の脱酸素への理解が必要である。  
また、今後は電気や灯油などのエネルギーだけではなく、バイオディーゼル燃料や水素燃料をエネルギーとした除雪・融雪設備の利用推進や啓発が必要である。

## ■アンケート調査結果の概要（9/9）

### ⑩地球温暖化対策について

- 回答者が思う地球温暖化対策として必要な社会的取組は、「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める(23%)」が最も多く、次いで「家電製品の省エネ化を進める(12%)」が多い。
- 地球温暖化対策は、回答者の多くが「市の財政に大きな負担とならない範囲で、推進すべきである(75%)」と回答している。
- 地球温暖化対策は、回答者の多く(68%)が「環境問題やエネルギー対策に取り組むことがより良いまちづくりにつながる」と考えている。

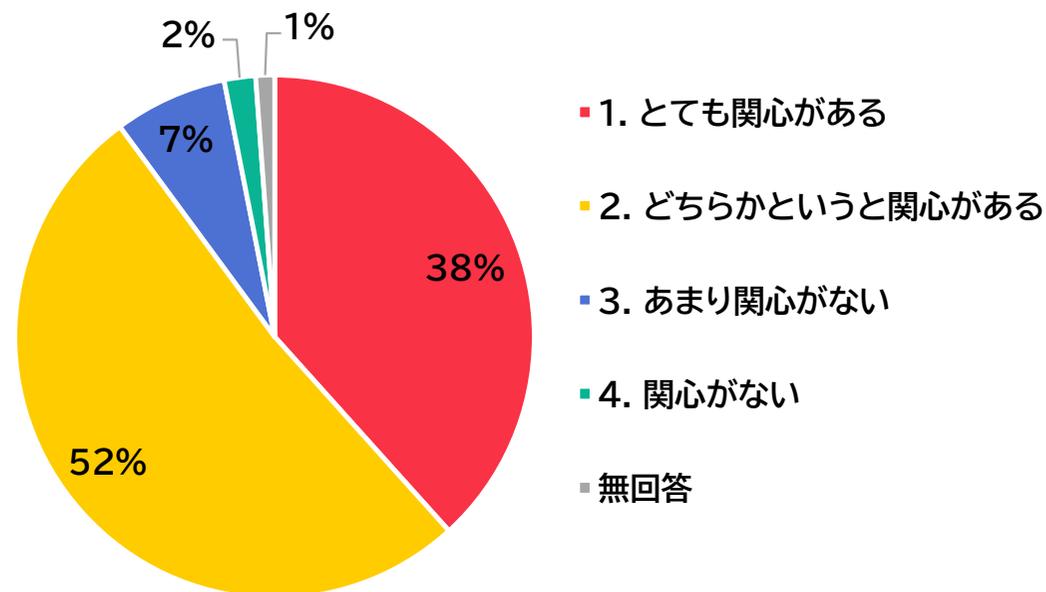
〈考察〉回答者が思う、地球温暖化対策の取組は、現在も普及している太陽光や風力発電の導入の要望が多く、導入にあたっては市で行う事業という意見が多いことから、再生可能エネルギーの導入を進めていくとともに、地球温暖化対策の多様な取組、身近にできる取組、取組への支援、PRや啓発が必要である。

また、環境問題やエネルギー対策は市のよりよいまちづくりにつながるという意識が高いことから、今後も脱炭素がまちづくりに寄与する施策であることを市民に理解を得ながら進めることが求められる。

# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

地球温暖化や気候変動、エネルギー問題について、90%の回答者が関心を持っている。

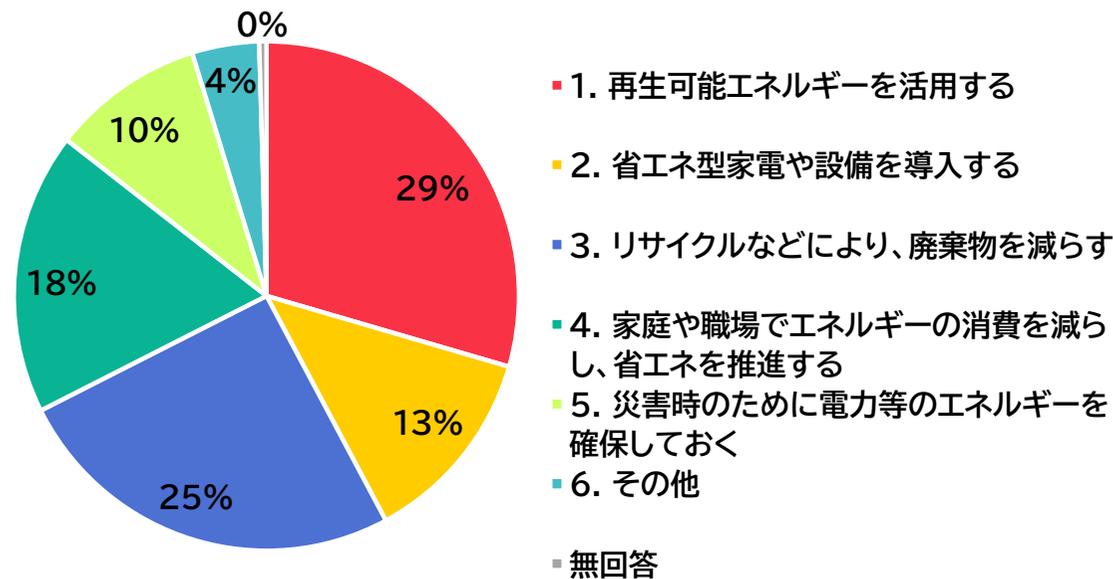
Q1:地球温暖化や気候変動・エネルギーの問題について、あなたの関心度をお聞かせください。(1つだけ○をしてください。)



# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

地球温暖化や気候変動による災害リスクの対策として、回答者は「再生可能エネルギーを活用する(29%)」、「リサイクルなどにより、廃棄物を減らす(25%)」が必要と回答している。

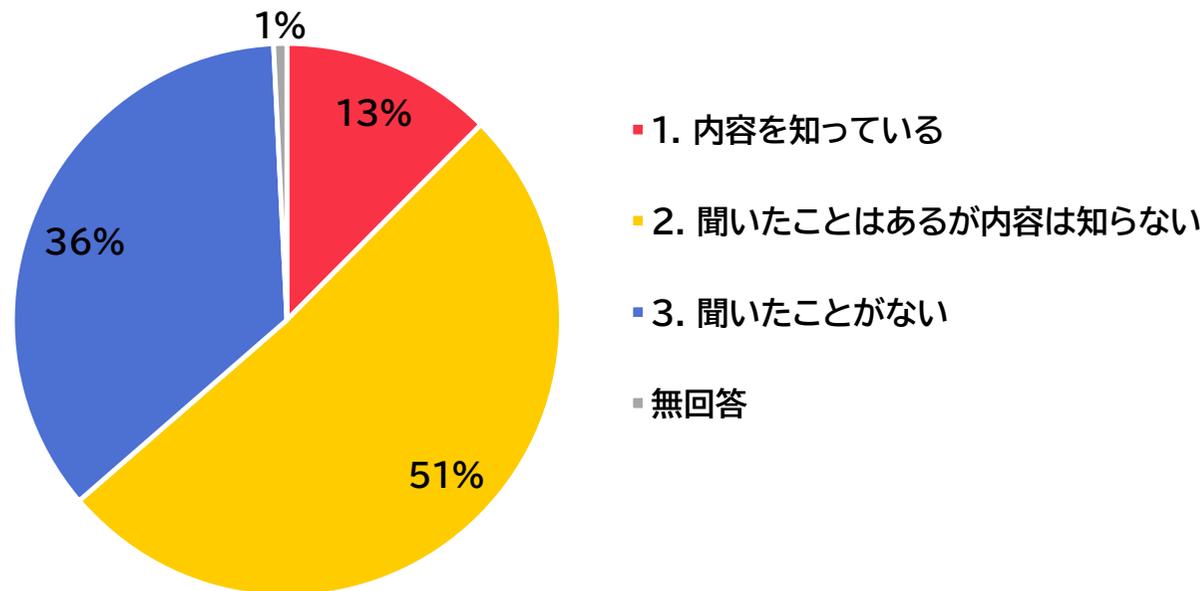
Q2:地球温暖化・気候変動による集中豪雨などの多発や熱中症・感染症のリスクが懸念されています。このための対策として必要な事項はなんですか？  
お聞かせください。(2つだけ選択)



# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

長野県「気候非常事態宣言-2050ゼロカーボンへの決意-」について、回答者の半数以上(64%)が「内容を知っている」、「聞いたことがあるが内容は知らない」回答している。

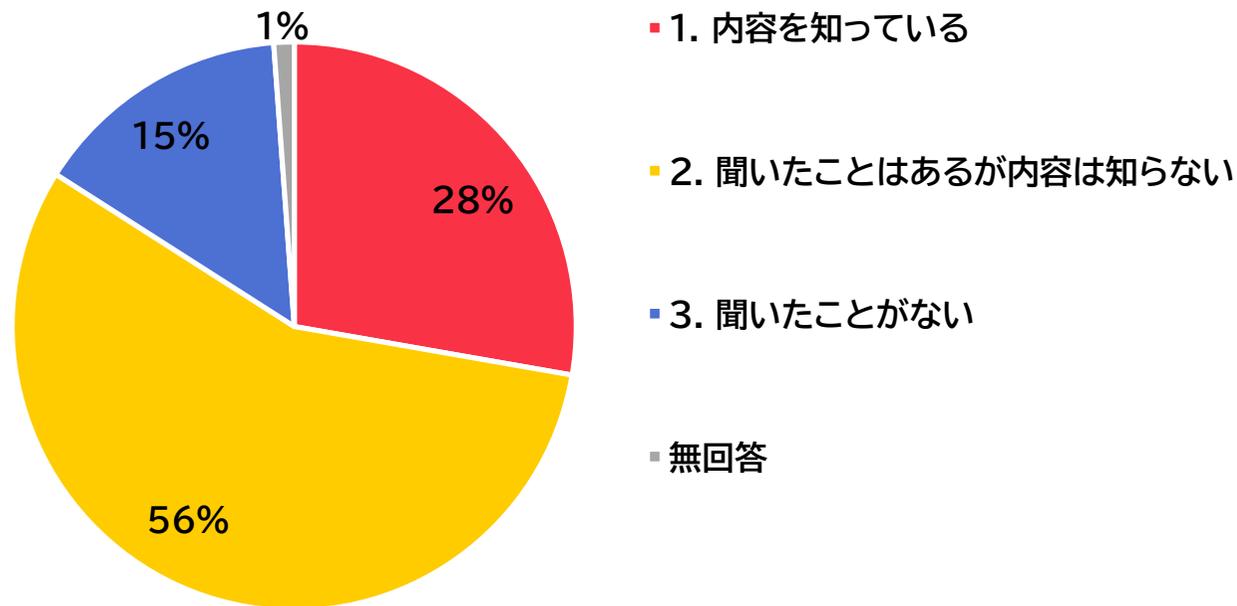
Q3:長野県が2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにすることを目指す「気候非常事態宣言 -2050ゼロカーボンへの決意-」について、宣言したことをご存知ですか？お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)



# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

「パリ協定」について、回答者の84%が「内容を知っている」、「聞いたことがある」と回答している。

Q4:「パリ協定」についてご存知ですか？お聞かせください。  
(1つだけ○をしてください。)

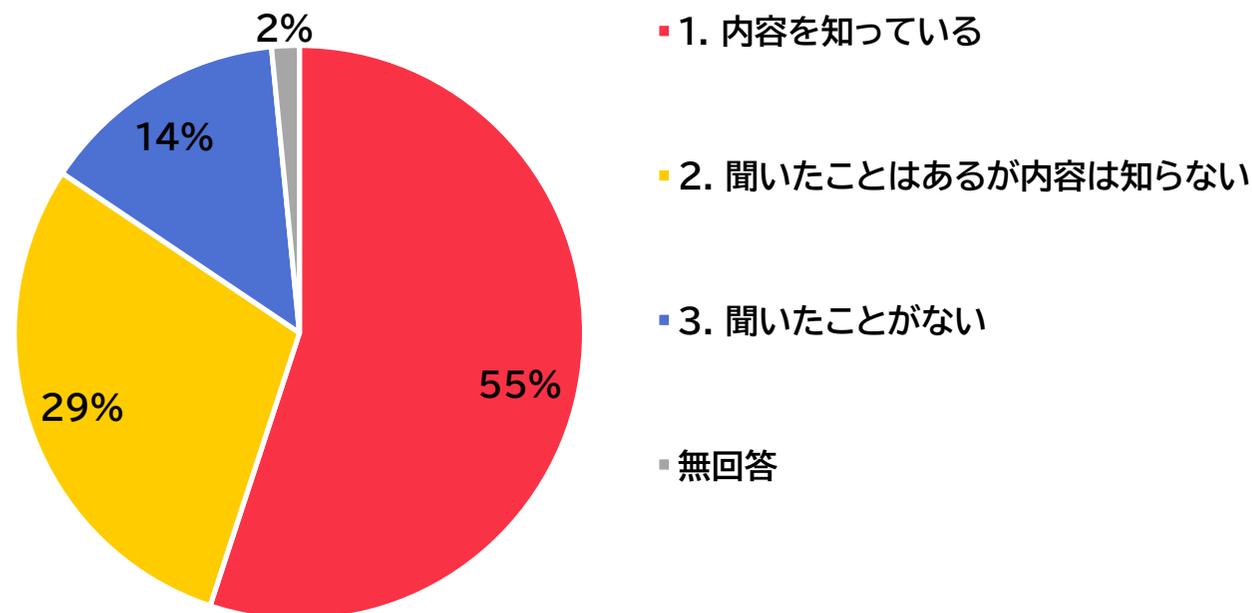


# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

回答者の84%がSDGsについて聞いたことがあり、その中でも55%の回答者がSDGsの内容を知っている。

Q5:あなたは「SDGs※」について、ご存知ですか？お聞かせください。(1つだけ選択)

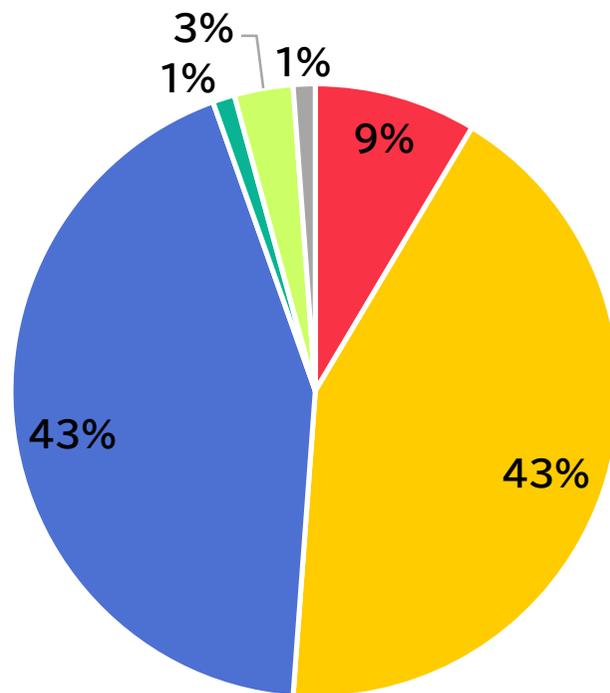
※「SDGs」:2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。  
17のゴール・169のターゲットから構成されています。



# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

日常生活の利便性と地球環境の保全との関係については、95%の回答者が地球環境の保全の必要があると回答している。

Q6: 私たちの生活の利便性と地球環境の保全との関係について、どのようにお考えですか？お聞かせください。(1つだけ選択)

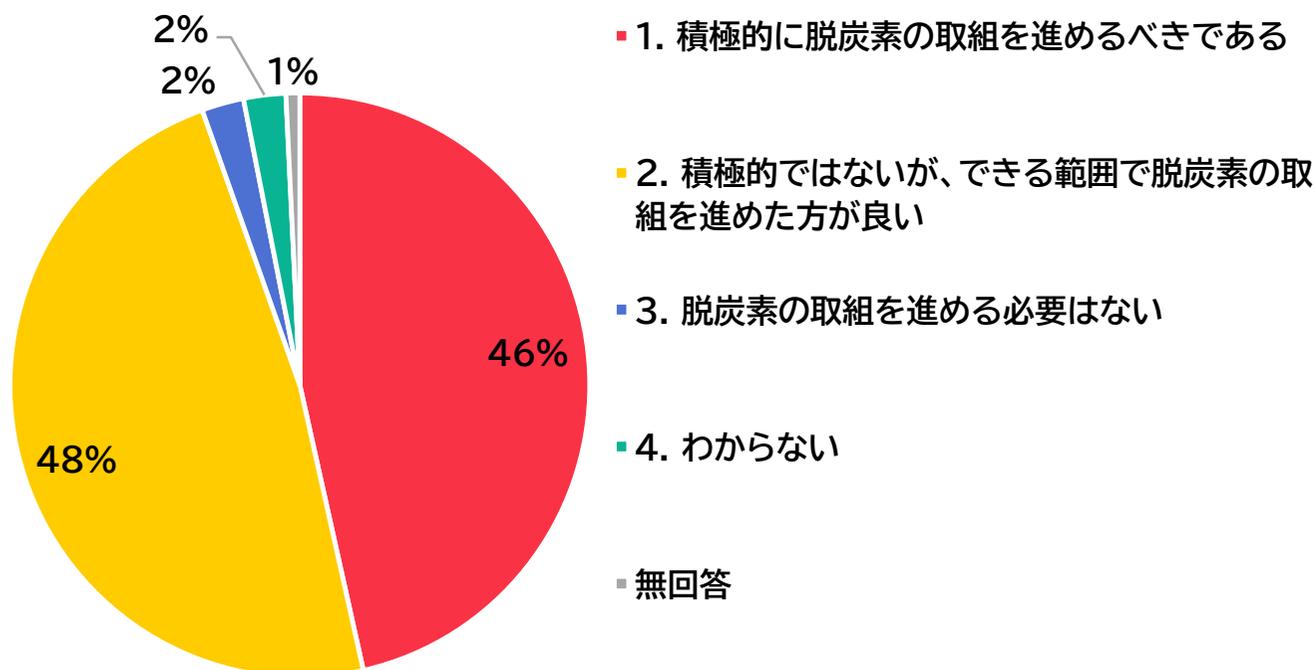


- 1. 現在の利便性を犠牲にしても、地球環境の保全を最優先に行う必要がある
- 2. 現在の利便性を低下させても、地球環境の保全を行う必要がある
- 3. 現在の利便性を変えない範囲で、地球環境の保全を行う必要がある
- 4. 地球環境の保全よりも、利便性を向上させる方が重要である
- 5. わからない
- 無回答

## 2. 脱炭素の取組の必要性について

脱炭素に関する取組は、回答者の94%の回答者が取組の必要性を感じている。その中でも46%が「積極的に脱炭素の取組を進めるべきである」と回答している。

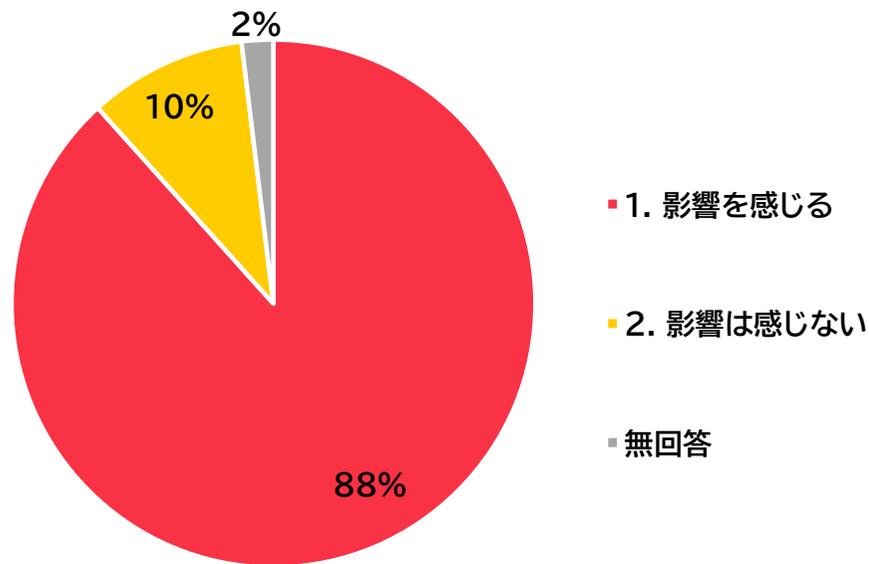
Q7:地球温暖化の主な要因は二酸化炭素の増加と言われています。脱炭素に関する取組について、どのように進めていくべきだとお考えですか。(1つだけ選択)



## 2. 脱炭素の取組の必要性について

回答者の88%が地球温暖化や気候変動の影響を感じており、そのうち気候変動の変化を感じるのは、自由記述より、「気温の上昇」、「集中豪雨」、「大雪や小雪等の発生」などである。

Q8:生活の中で地球温暖化や気候変動の影響を感じることがありますか。



### 【自由記述】

#### ■ 気温

- ・気温の上昇
- ・夏場の平均気温の上昇
- ・20年程前はエアコンは使わなくても夏を乗り切ることができた
- ・暑い季節の長期化

#### ■ 降雨について

- ・ゲリラ豪雨、集中豪雨の多発。

#### ■ 降雪

- ・豪雪の発生
- ・連続した降雪
- ・顕著な小雪化
- ・高山の残雪の減少

#### ■ その他

- ・四季の変化
- ・気候植物生態
- ・異常気象による災害や健康被害が増えたように感じる。
- ・氷河が溶けてきた。
- ・数十年に一度といわれる気象が多い。
- ・スーパーでの商品の減少や価格の変化

## 2. 脱炭素の取組の必要性について

Q9: 気候変動や地球温暖化、脱炭素への取組の必要性などについて、御意見があれば自由にお書きください。(自由記述)

【気候変動・地球温暖化の影響(脱炭素への取り組み)】

- ・地球温暖化対策のひとり1人の意識を高める
- ・途上国などこれからの発展にはエネルギー消費の増加は避けられない。そのエネルギー源は比較的安価な化石燃料が中心になるため、トータルでの脱炭素は容易ではない。したがって革新的な技術のブレイクスルーが待ち望まれる。現状の再生可能エネルギーでは難しい。
- ・太陽光や水力発電などで水素を生成し、水素で動く家庭用燃料電池を使用した方がいいと思う
- ・一人一人が理解して全体で取り組み必要がある。
- ・本当に温暖化が炭素によるものなのか？
- ・原発の再稼働を安全を確認しながらすすめて、火力発電をやめるように。
- ・”対策が早期に必要”
- ・プラスチックごみの減少、排気ガス等への取り組み
- ・地球温暖化についてあまり危機感を感じていない人が多いので、もっと取組を公にする必要がある。未来の子供達のために取組を積極的に行う必要性がある。
- ・日本で様々な努力していても 途上国などでの取り組みがあまく 効果が薄い。
- ・何も行動せねば地球の滅亡は近いでしょう
- ・”温室効果ガスの排出を全体でゼロにするためには、現在の使用量を何割減にすればそれが達成できるのか、具体的な数値で示してもらえれば取り組み易いと思われる。
- ・車の台数なら何割減とか、ガス・電気使用量、何割減とか。”

## 2. 脱炭素の取組の必要性について

Q9: 気候変動や地球温暖化、脱炭素への取組の必要性などについて、御意見があれば自由にお書きください。(自由記述)

【気候変動・地球温暖化の影響(脱炭素への取り組み)】

- ・古い物を修理、修善し、長く使えるように取り組むべき。
- ・林業の復活を推進してほしい
- ・利便性の追求をおさえる方向で、全世界でルール化し、地球環境を守ることを具体的に実施していくことが大事である。
- ・個人での取組をお願いするだけでは、とても無理だと思う。国や自治体において、法律や条例で規制しなければ、変わらない
- ・今後の気候変動や社会状況や風評被害がどう変わっていくか、対応したいなのでマニュアルを作り、今の(現在)状況に合わせて行って欲しい。
- ・Q9の必要性は理解し、対策も必要かと思いますが、過度な考え方は、いかがなものかと思います。
- ・非常用のエネルギーを確保しつつ、可能な限り再生可能エネルギーを使用したり、廃棄物を減らす取組が必要だと感じる。
- ・上記にかこつけて変なビジネスを展開させないで下さい。
- ・強大国の、それぞれ身勝手とも思われることが誰もいさめることが出来ていない。国連の常任理事国とか拒否権など再考すべき。
- ・企業等の取り組みももちろん大事であるが、地球上の全ての人達が必要性を認識していかないともう取り返しがつかなくなってしまう。時間がない。

## 2. 脱炭素の取組の必要性について

Q9: 気候変動や地球温暖化、脱炭素への取組の必要性などについて、御意見があれば自由にお書きください。(自由記述)

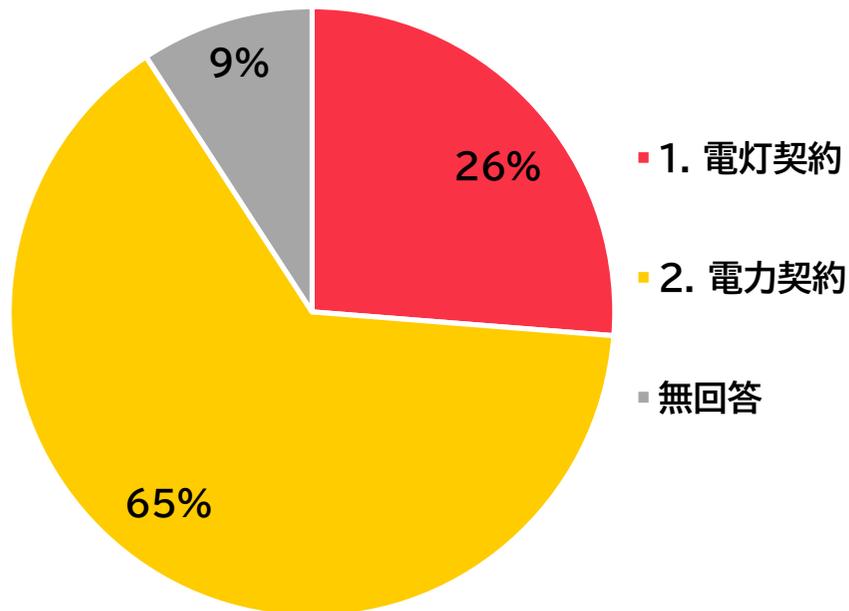
【気候変動・地球温暖化の影響(脱炭素への取り組み)】

- ・水害もこわいです。大雨になりそう…。海水温度が上がると、生態系も変わるだろう。遠くは南極とか北極の生態系も大変になり…。長年の氷河が溶け出し…。コロナみたいな変なウイルス系の病気が流行したらイヤだとも思う。ウイルスに侵された魚がふえる？心配はある。海水が増えてツナミ？が多くなるのも心配です。
- ・目標だけでなく、日常生活の中での取り組み、市の具体的な取り組みを積極的に進める必要と、PRをする必要がある。
- ・地球規模での取組の必要性を充分感じている。個々の家庭においては各々節電などにすでに取り組んでいると思う。経済的な事情にも結びつくから…。逆にあまり無理して体調を崩さないようにと思うほど。企業、学校、施設などでまだまだ取組が不十分だと感じている。
- ・カーボンニュートラル、脱炭素社会、さらには2050ゼロカーボンなど宣言ばかりで、具体的に国策として何をするのが国民が日頃やっている温暖化対策などは焼石に水ではないでしょうか。国の本気度が伝わってきません。国のあり方が大きく変換するほどの政策をやらなければ、2050年にカーボンがゼロにはならないと思います。こんなアンケートばかりでは何も進まないと思います。
- ・人間の活動によって、もたらされているとしたらもう一度、生活のあり方を考えてみる必要があると思う。
- ・炭素を出した分、酸素を出せば良いのでは？飯山では木を植えるなどの活動でプラスマイナス0にできるのでは？

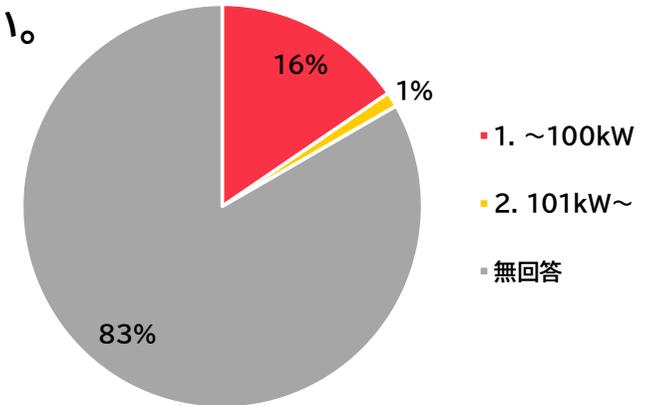
### 3.エネルギー(電気・LPガス・灯油)の使用状況について

Q10の問いにて、「電灯契約」「電力契約」の単位を逆に記載としてしまったため、関連するQ10,Q11,Q12については分析対象外とする。

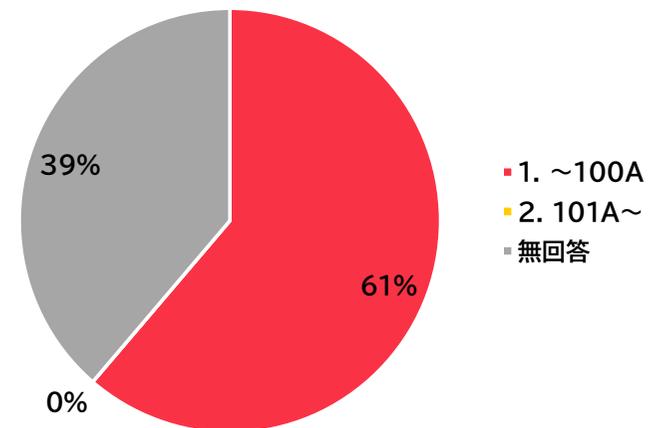
Q10:電力の契約の種類について、教えてください。(該当するものすべてに○をしてください。)



Q11:Q10で1を選択された場合、契約電力量をお聞かせください。



Q12:Q10で2を選択された場合、契約アンペア量をお聞かせください。



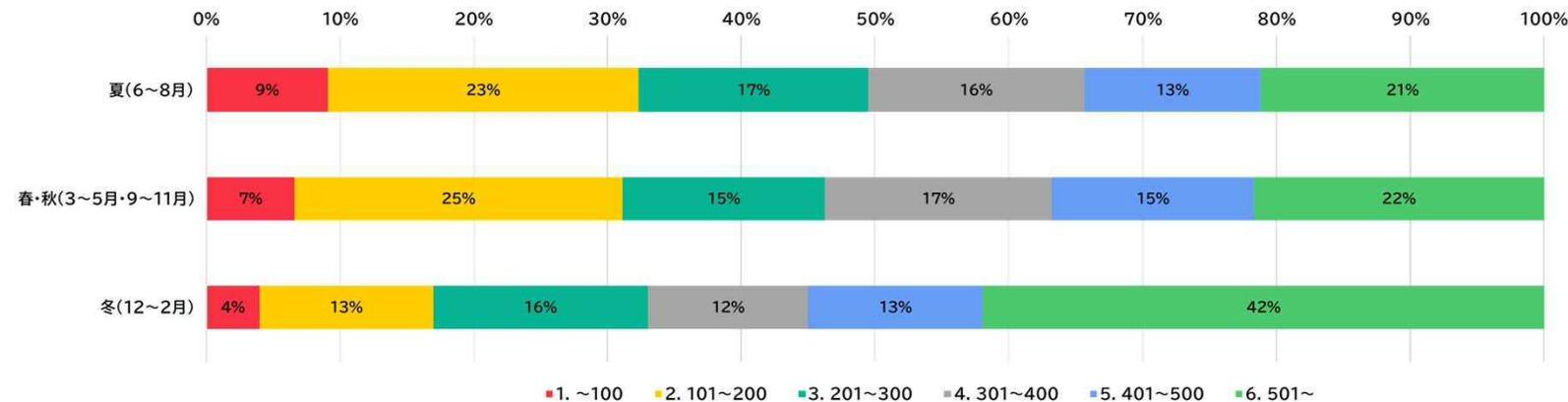
### 3.エネルギー(電気・LPガス・灯油)の使用状況について

回答者のうち、冬期に501kWh/月以上の電力を消費する家庭が約42%で、春・夏・秋のおよそ2倍の消費電力である。(※1軒当たりの平均消費量は、5594.9kWh/年)

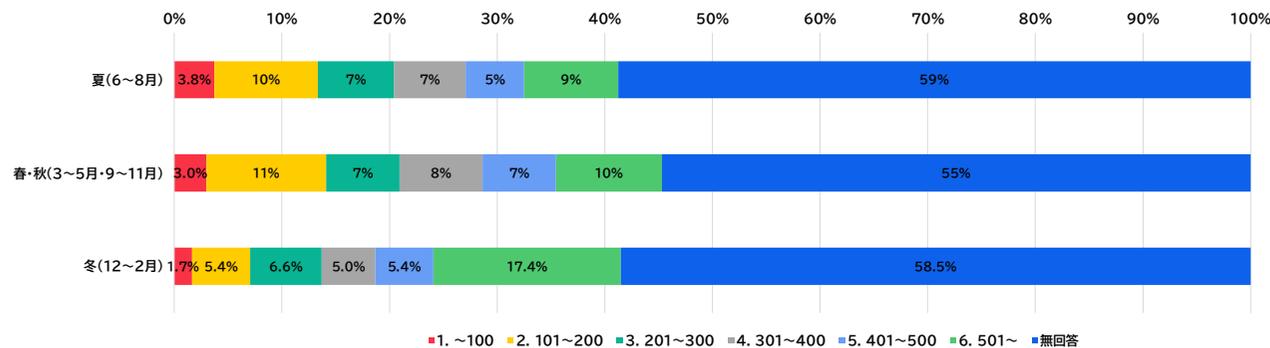
【参考】  
 長野県の世帯当たりの電気消費量:5966kWh/年  
 出典:長野県環境保全研究所研究報告 7:13-18(2011)

Q13:電力の月間消費量(kWh)をお聞かせください。

■無回答を除いた結果 (夏:n=99、春・秋: n= 106、冬: n= 100)



【参考】全回答数の状況(夏:n=99、春・秋: n= 106、冬: n= 100)



### 3.エネルギー(電気・LPガス・灯油)の使用状況について

いずれの季節においてもLPガスの月間消費量は10m<sup>3</sup>以下が最も多い。また、電力消費量と比べて季節変動はそれほど大きくない。(1軒当たりの平均消費量は、116.0m<sup>3</sup>/年)

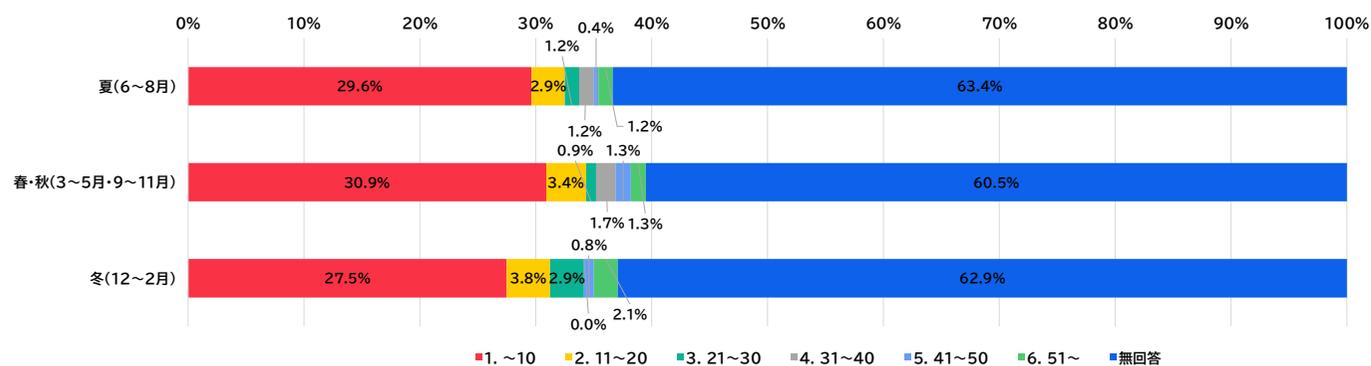
【参考】  
 長野県の世帯当たりのLPガス消費量:93m<sup>3</sup>/年  
 出典:長野県環境保全研究所研究報告 7:13-18(2011)

Q14:LPガスの月間消費量(m<sup>3</sup>)をお聞かせください。

■無回答を除いた結果(夏:n=89、春・秋: n=92、冬: n=89)



【参考】全回答数の状況(夏:n=89、春・秋: n=92、冬: n=89)



### 3.エネルギー(電気・LPガス・灯油)の使用状況について

灯油の月間消費量は冬期が最も大きい。100L未満、101~200L消費する家庭が多くを占める。また、春~秋においても灯油の使用が確認された。(※1軒当たりの平均消費量は、1601.7L/年)

【参考】

長野県の世帯当たりの灯油消費量:834L/年

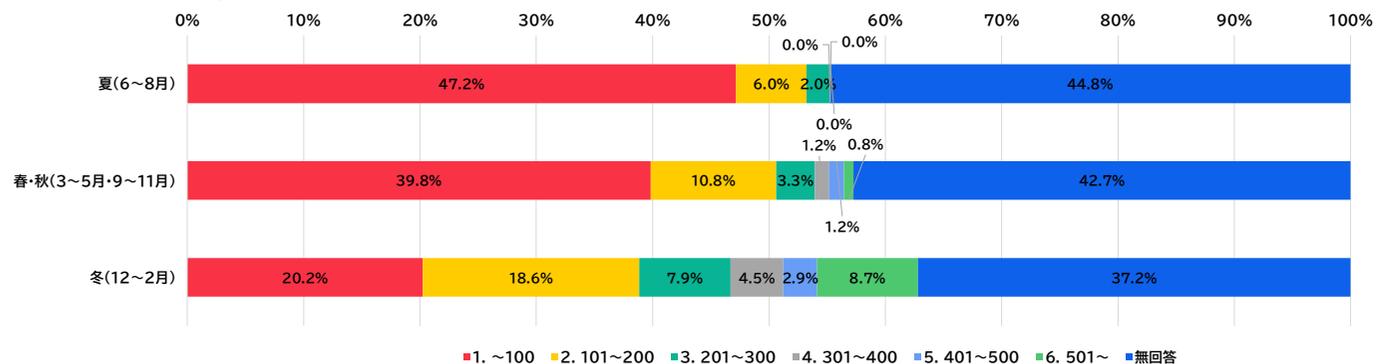
出典:長野県環境保全研究所研究報告 7:13—18(2011)

Q15:灯油の月間消費量(リットル)をお聞かせください。

■無回答を除いた結果(夏:n=137、春・秋: n=138、冬: n=152)



【参考】全回答数の状況(夏:n=137、春・秋: n=138、冬: n=152)

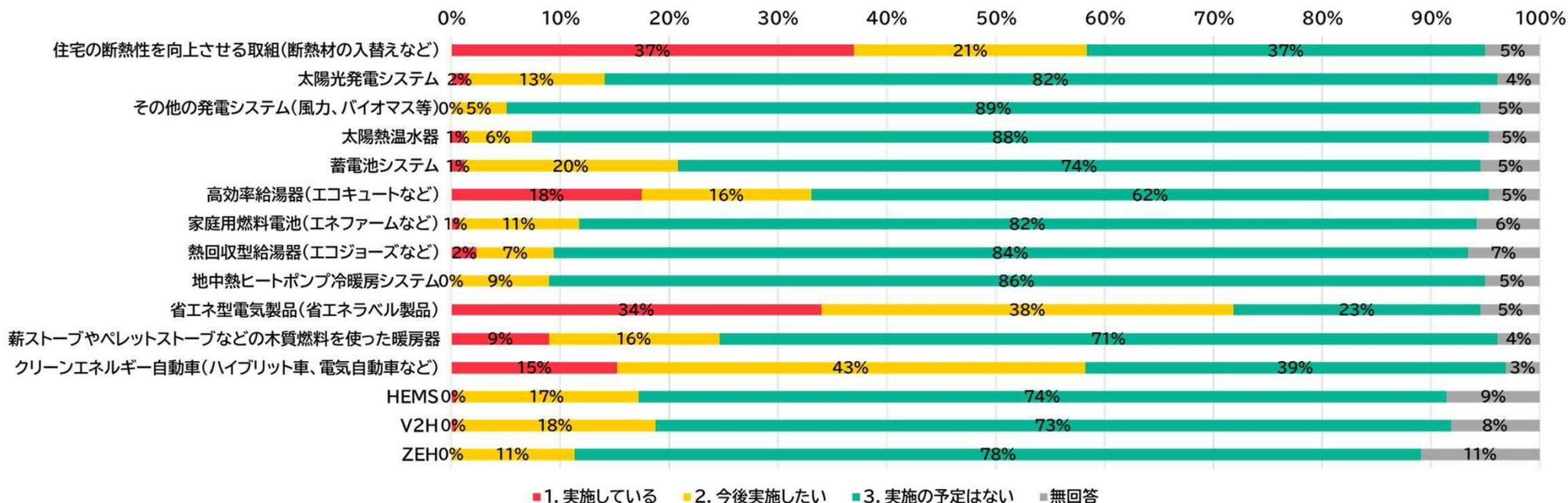


## 4. 省エネ機器・設備等の保有状況について

省エネ機器・設備等の保有は、回答者のうち自宅の断熱性の向上の取組導入が37%、省エネ型電気製品の購入が34%と高く、一方、太陽光発電、家庭用燃料電池(エネファームなど)、熱回収型給湯器(エコジョーズなど)は、1~2%と普及率は低い状況にある。

また、今後実施したいと考えている省エネ機器・設備等の取組は、回答者のうち、クリーンエネルギー自動車43%、省エネ型電気製品の導入が38%と高い。

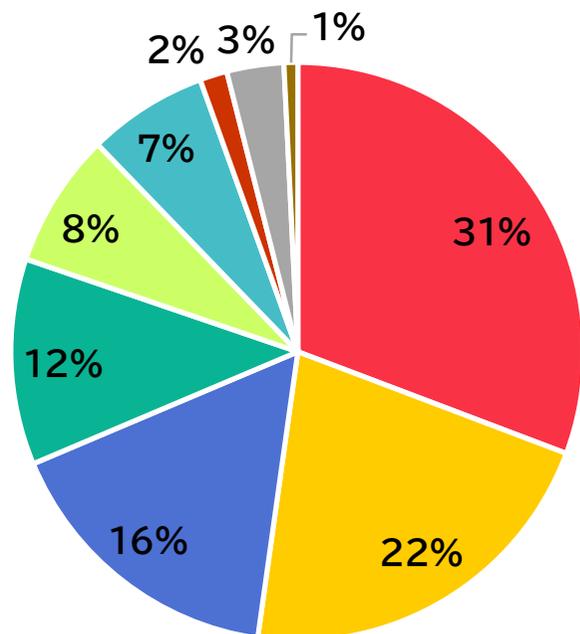
Q16:現在、ご自宅において、省エネ設備や再エネ設備等を導入されていますか？  
それぞれ、あてはまる番号に○をしてください。



## 4. 省エネ機器・設備等の保有状況について

省エネ・再エネ設備導入の課題は、回答者のうち「経費が高い」と「維持管理の手間や費用がかかる」で53%と半数以上を占めており、16%が「自宅の構造上、設置が難しい」と回答している。

Q17:ご自宅に省エネ設備又は再エネ設備を導入する場合に、課題があればお聞かせください。(該当するものをすべて選択)

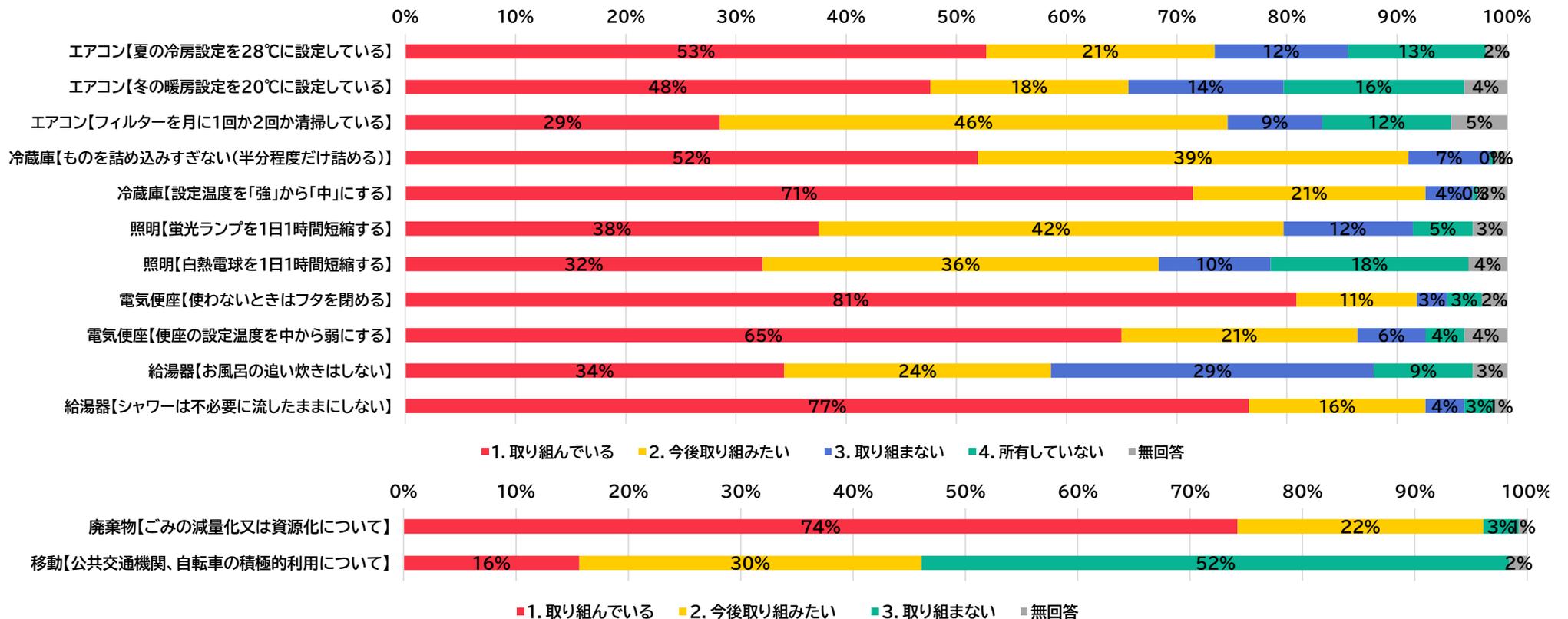


- 1. 設備設置に係る費用が高い
- 2. 維持管理の手間や費用がかかる
- 3. 自宅の構造上、設置が難しい
- 4. メリットやデメリットなど、詳しい内容がよくわからない
- 5. どこに相談してよいのかわからない
- 6. 日常生活が忙しく、検討する余裕がない
- 7. 特に課題はない
- 8. その他
- 無回答

# 5. 省エネ行動について

省エネ行動は、「エアコンの節電」、「冷蔵庫の節電」、「電気便座の節電」、「給湯器の使用  
方法」、「廃棄物の減量化や資源化」について回答者の半数以上が取り組んでいる。一  
方、移動(公共交通機関、自転車の積極的利用)については、他の項目と比べ16%と低  
い割合を示している。

Q18:あなたの日常生活において、省エネ行動に取り組んでいることについて、  
お聞かせください。(それぞれ選択)

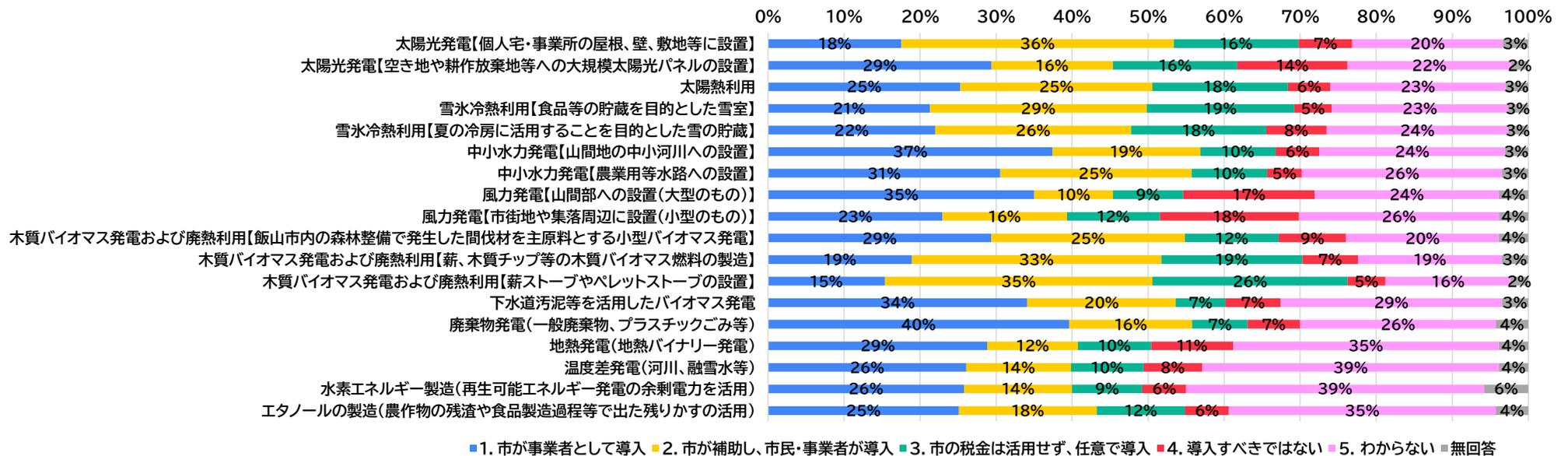


# 6. 再生可能エネルギーの導入について

再生可能エネルギー各項目とも回答者の50%以上が導入を進めるべきと回答しており、導入の主体は、40%以上の回答者が「市が導入」、または、「市が補助し、市民・事業者」と回答している。

導入すべきではない再生可能エネルギーは、小型の風力発電が18%、大型の風力発電が17%、次いで大規模なパネルの太陽光発電が14%となっている。

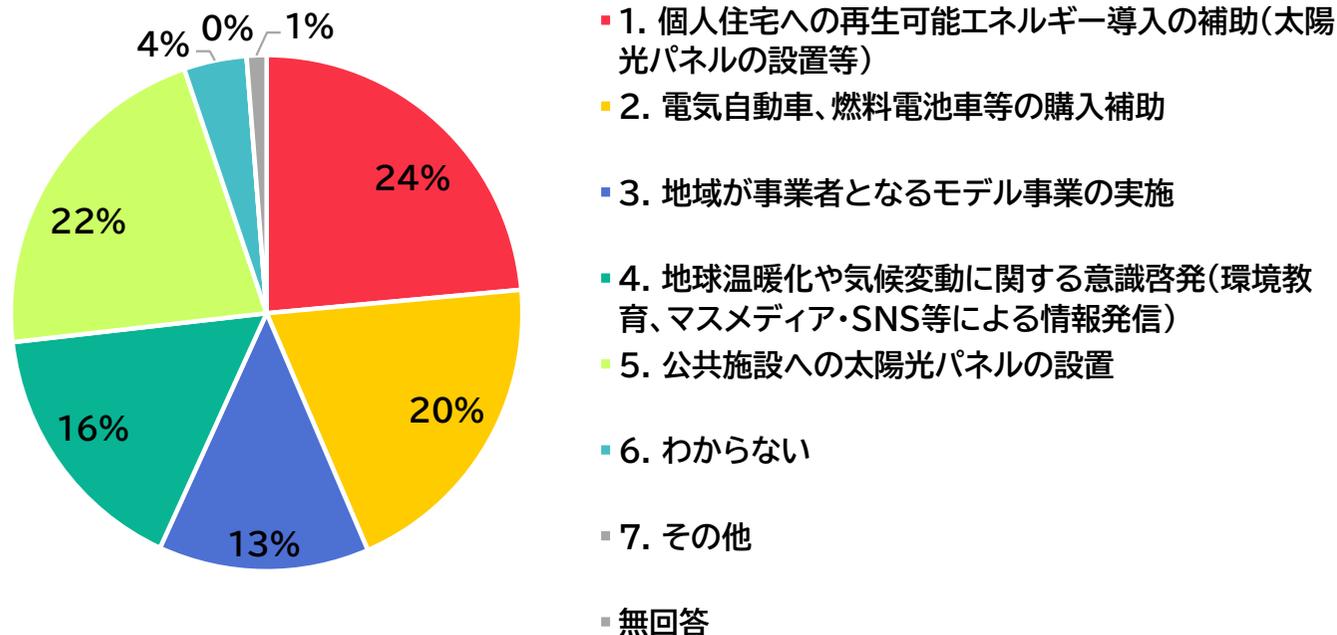
Q19:今後、飯山市ではどのような「再生可能エネルギー」等の導入を進めるべきだと思いますか。該当するものすべてに○をしてください。



## 6. 再生可能エネルギーの導入について

再生可能エネルギーの推進するための市の取り組みは、「個人住宅への再生可能エネルギー導入の補助(24%)」が最も多く、次いで「電気自動車や燃料電池車等の購入補助(20%)」となっているが、その他の取り組みも比率に大きな差は少ない。

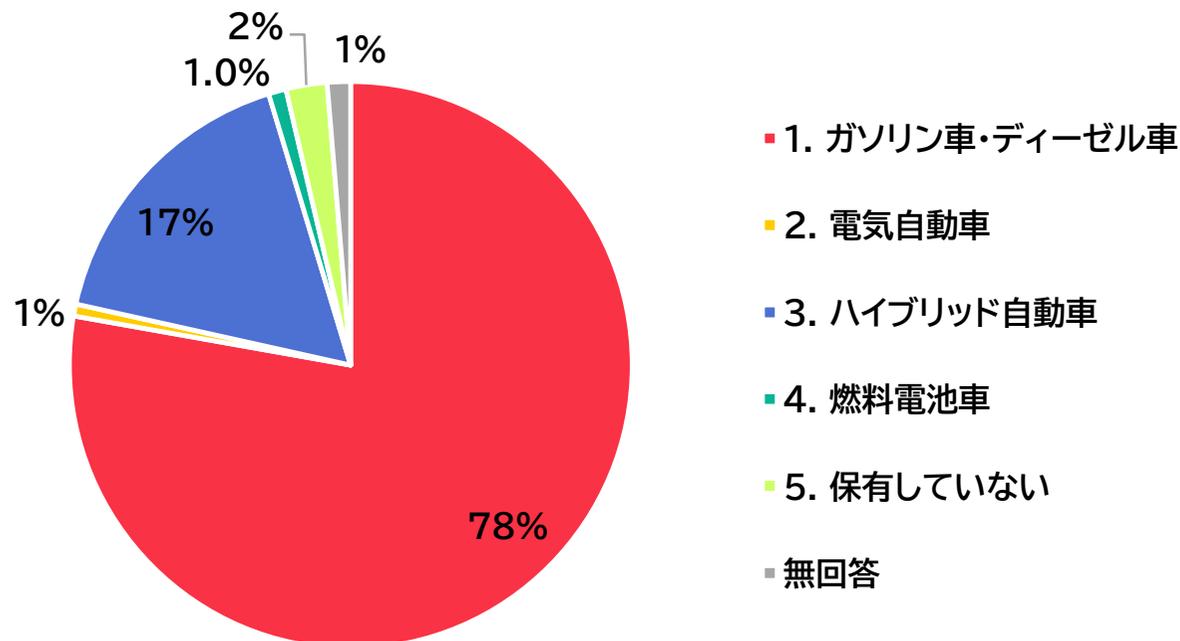
Q20:再生可能エネルギーの推進に当たり、市が取り組む必要があると思われることを、お聞かせください。(該当するものをすべて選択)



## 7. 各家庭で所有している自動車について

回答者の97%が自動車を所有しており、そのうち、ガソリン車・ディーゼル車が78%、ハイブリット自動車・電気自動車・燃料電池車が19%に留まっている。

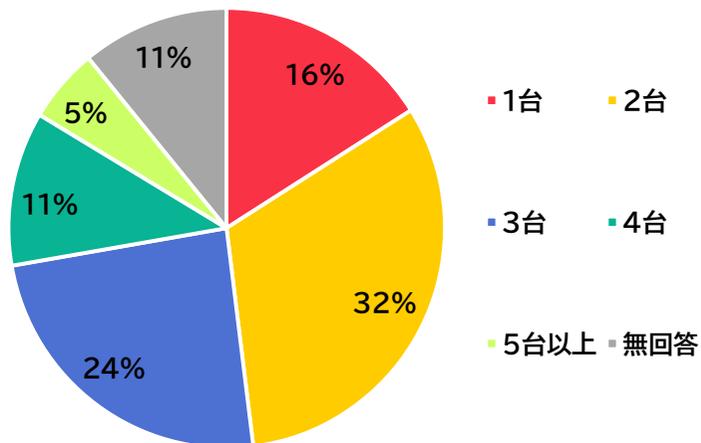
Q21:あなたのご家庭で保有している自動車の種類について、お聞かせください。  
(該当するものをすべて選択)



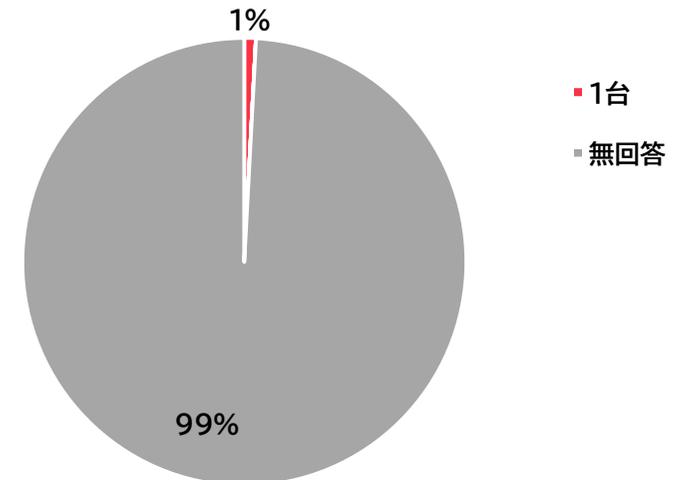
# 7. 各家庭で所有している自動車について

Q21-2:あなたのご家庭で保有している自動車の種類について、お聞かせください。  
(保有台数を記入)

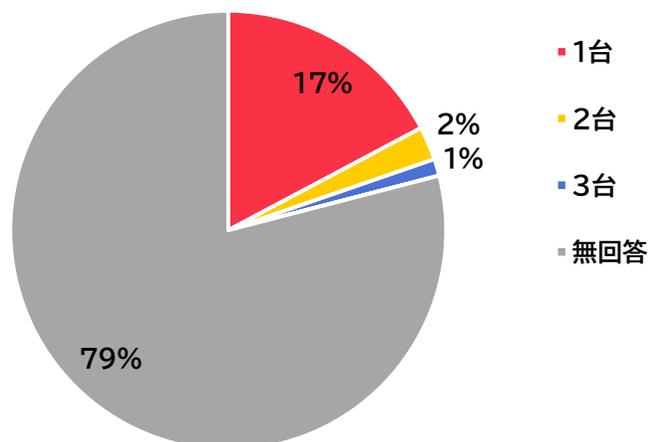
## ガソリン車・ディーゼル車



## 電気自動車



## ハイブリッド自動車



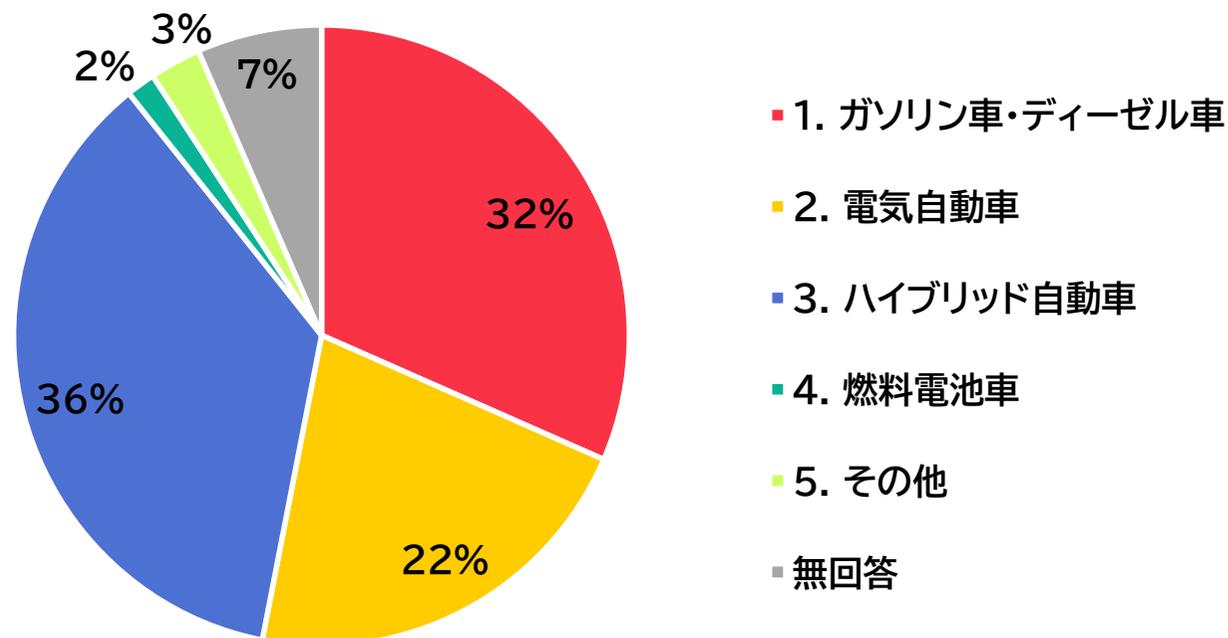
## 燃料電池車

回答なし

## 7. 各家庭で所有している自動車について

今後、回答者が買い替えを希望する自動車については、ハイブリッド自動車36%、電気自動車22%、燃料自動車2%で合計60%となった。

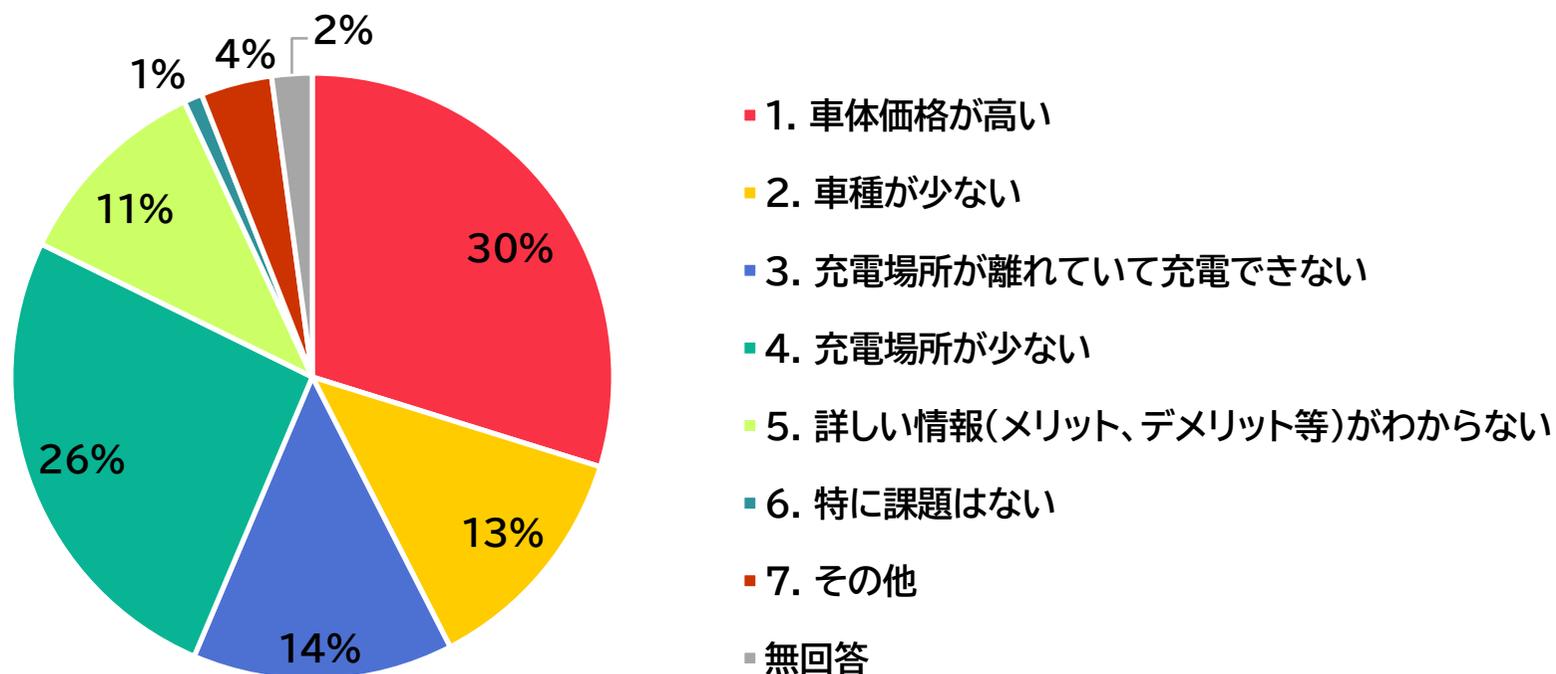
Q22:今後、買い替えを希望する自動車の種類について、お聞かせください。  
(主に検討しているものを1つだけ選択)



## 7. 各家庭で所有している自動車について

電気自動車導入の際の課題は、「車体価格が高い(30%)」、「充電場所が少ない(26%)」が上位に挙げられた。

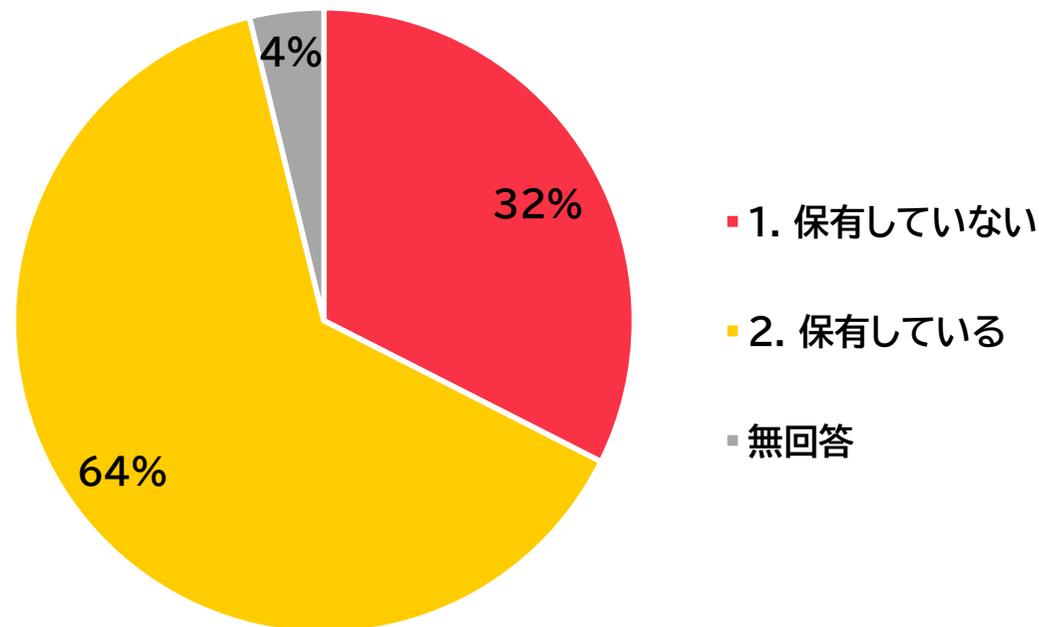
Q23:電気自動車を導入する場合に、課題があればお聞かせください。  
(該当するものをすべて選択)



## 8. 各家庭で所有している農業機械について

回答者の半数以上(64%)が農業機械を保有し、1台の所有が多数を占めている。

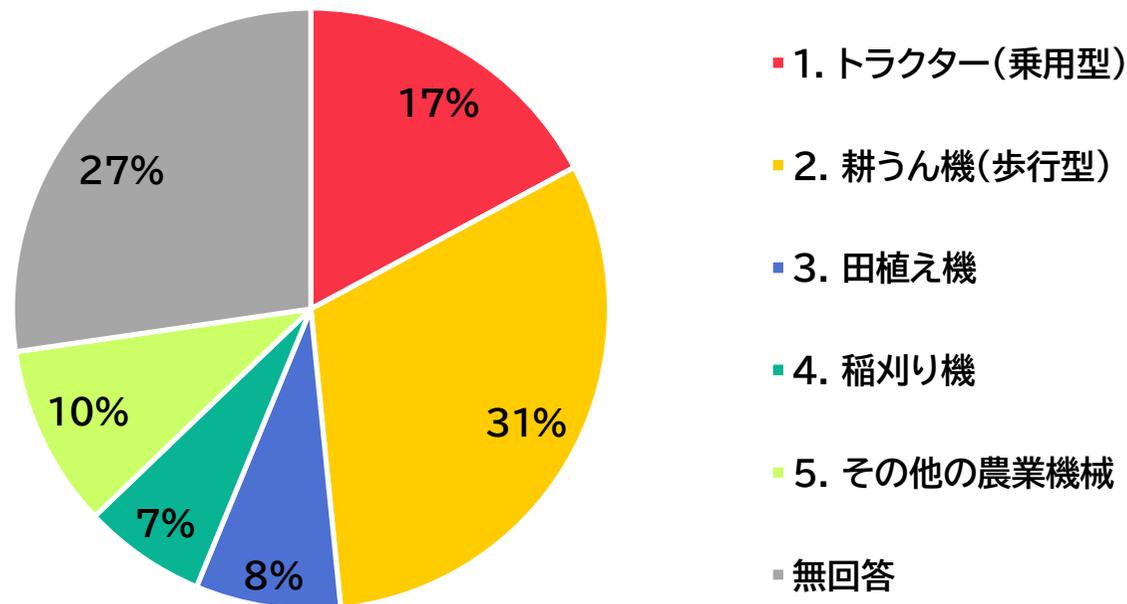
Q24:ご家庭で農業機械を保有していますか。



## 8. 各家庭で所有している農業機械について

回答者が保有している農業機械は「耕うん機(歩行型)(31%)」、次いで「トラクター(乗用型)(17%)」で約半数を占めている。

Q25-1:ご家庭で保有している農業機械の種類について、お聞かせください。



## 8. 各家庭で所有している農業機械について

農業機械を所有している回答者は、いずれの機械も1台の所有が多数を占める。

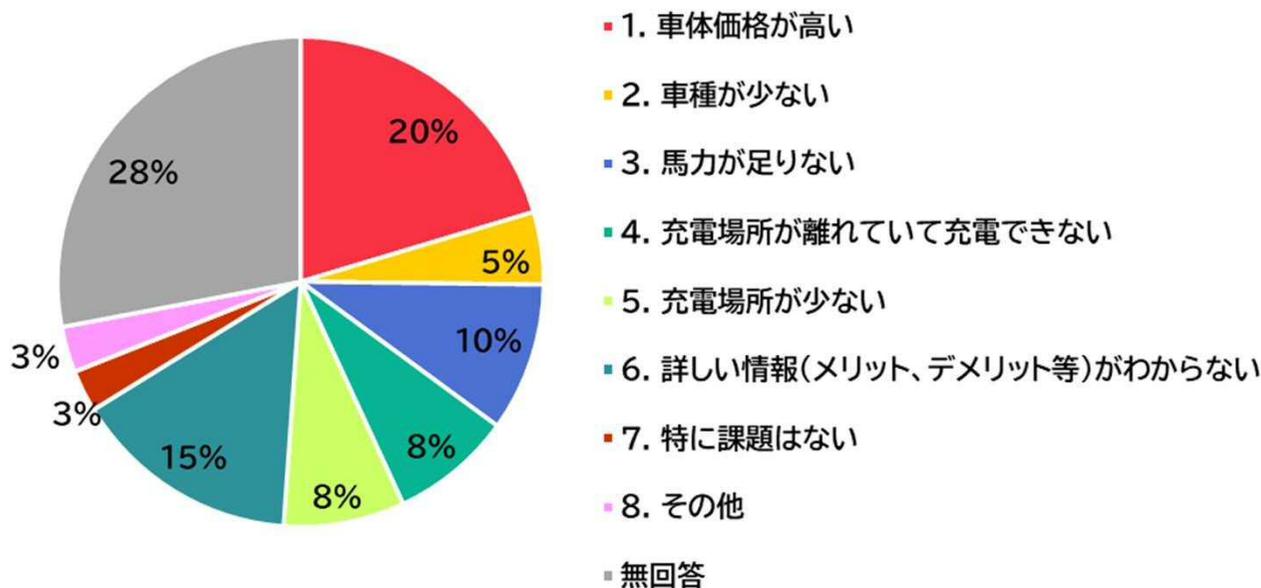
Q25-2:ご家庭で保有している農業機械の台数について、お聞かせください。

	1台	2台	3台	4台
トラクター(乗用型)	87.1%	10%	3%	0%
耕うん機(歩行型)	76.9%	20%	2%	1%
田植え機	96.7%	3%	0%	0%
稲刈り機	92.6%	7%	0%	0%

## 8. 各家庭で所有している農業機械について

電気農業機械導入の際の課題には、「車体価格が高い(20%)」、「詳しい情報(メリット、デメリット等)がわからない(15%)」が上位に挙げられた。

Q26:今後、電気農業機械を導入する場合に、課題があればお聞かせください。  
(該当するものすべてに○をしてください。)



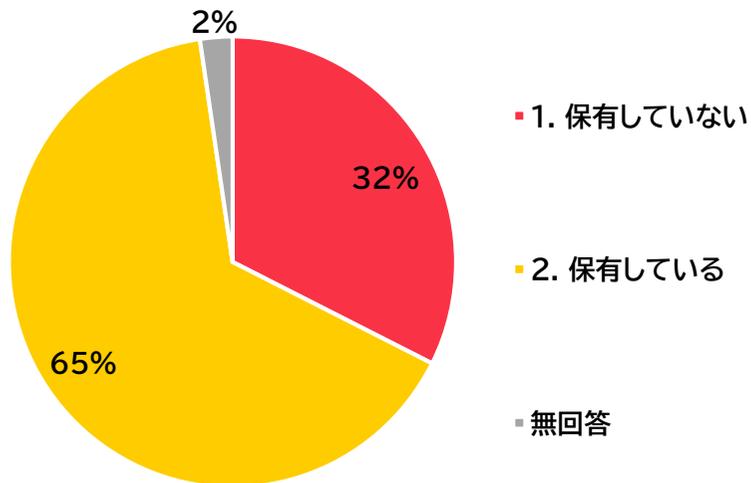
### 【その他】

- ・草刈機のバッテリー電圧が14Vでは力がなかった。1V~36Vがよかった。
- ・導入しない
- ・充電に時間がかかる
- ・考えたことがなかった
- ・電気農業機械は、メーカーでつくっているのか？
- ・年の稼働時間も少ないので必要性を感じない。
- ・充電時間がかかりすぎ、仕事にならない
- ・自家発電した電気を利用しなければ意味のない物だと思う
- ・情報なし
- ・自宅等で充電できないと不便を感じる。農作業中、農場内(畑・田等)で充電が難しいのは致命的。
- ・農業はなんでもやっていない
- ・その他(稼働時間が不安)

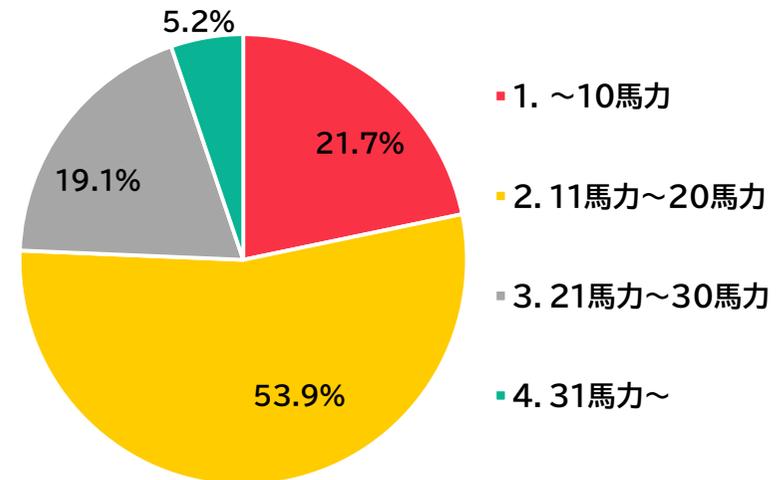
## 9. 各家庭で所有している除雪・融雪設備について

回答者の半数以上(65%)が家庭で除雪機を保有している。また、所有している半数(53.9%)が11~20馬力の除雪機であった。

Q27-1:家庭で保有している除雪機について、お聞かせください。



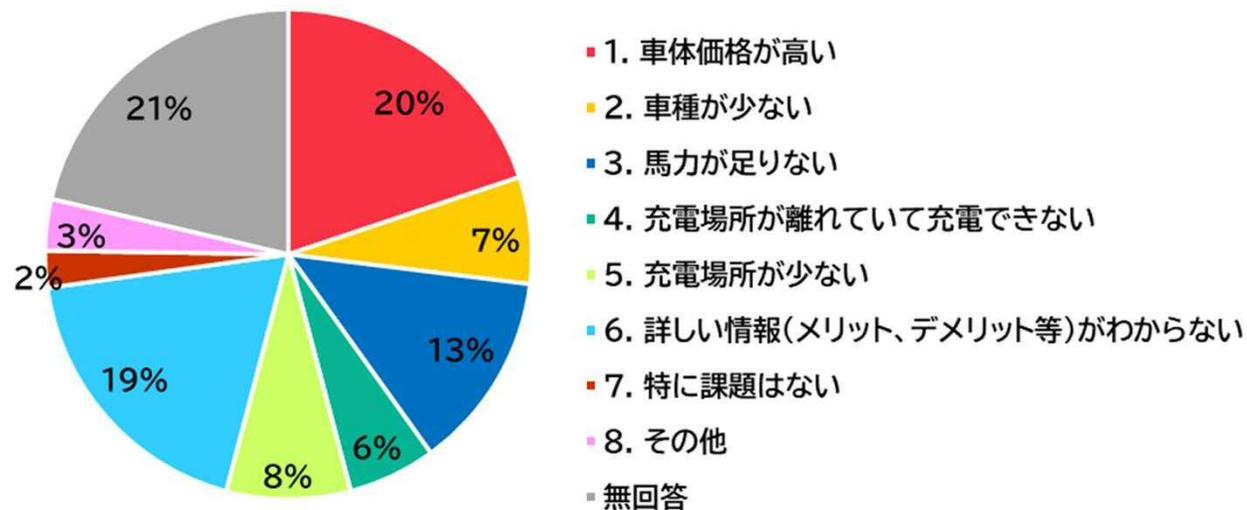
Q27-2:家庭で保有している除雪機について、馬力をお聞かせください。



## 9. 各家庭で所有している除雪・融雪設備について

電気除雪機導入の際の課題については、「車体価格が高い(20%)」、「詳しい情報(メリット、デメリット等)がわからない(19%)」が上位に挙げられた。

Q28: 今後、電気除雪機を導入する場合に、課題があればお聞かせください。  
(該当するものすべてに○をしてください。)



### 【その他】

- ・今まで聞いたことがない
- ・家庭充電可能なもの
- ・雪国なので電気は向かない
- ・井戸ゆう雪にするので
- ・考えたことがなかった。
- ・バッテリーが高い。バッテリーの共用(リサイクル品の利用等)
- ・老人家庭なので導入予定なし。
- ・電気除雪機なんて聞いたことがない!
- ・電動にする必要性を感じない。
- ・そんな先の事なので?
- ・農業機械と同様のデメリットがつかまとう。冬の寒い時期、バッテリーの持ちが心配
- ・電気除雪機を考えたことがない
- ・稼働時間が不安
- ・電気除雪機の性能が不明

## 9. 各家庭で所有している除雪・融雪設備について

融雪設備を導入している回答者のうち、屋根融雪は灯油をエネルギー源とする家庭が7%と最も多く、路面融雪については電気、灯油のいずれも約6%と同等であった。

Q29:ご家庭で導入されている融雪設備の種類についてお聞かせください。また、導入している融雪設備のエネルギー源についてお聞かせください。(該当するものすべてに○をしてください。)

	1. 電気	2. 灯油	3. ガス	4. その他	無回答
屋根融雪	3.5%	6.6%	0.0%	3.1%	86.7%
路面融雪	5.8%	5.8%	0%	6.2%	82.1%
その他	0.4%	0.0%	0.0%	1.2%	98.4%

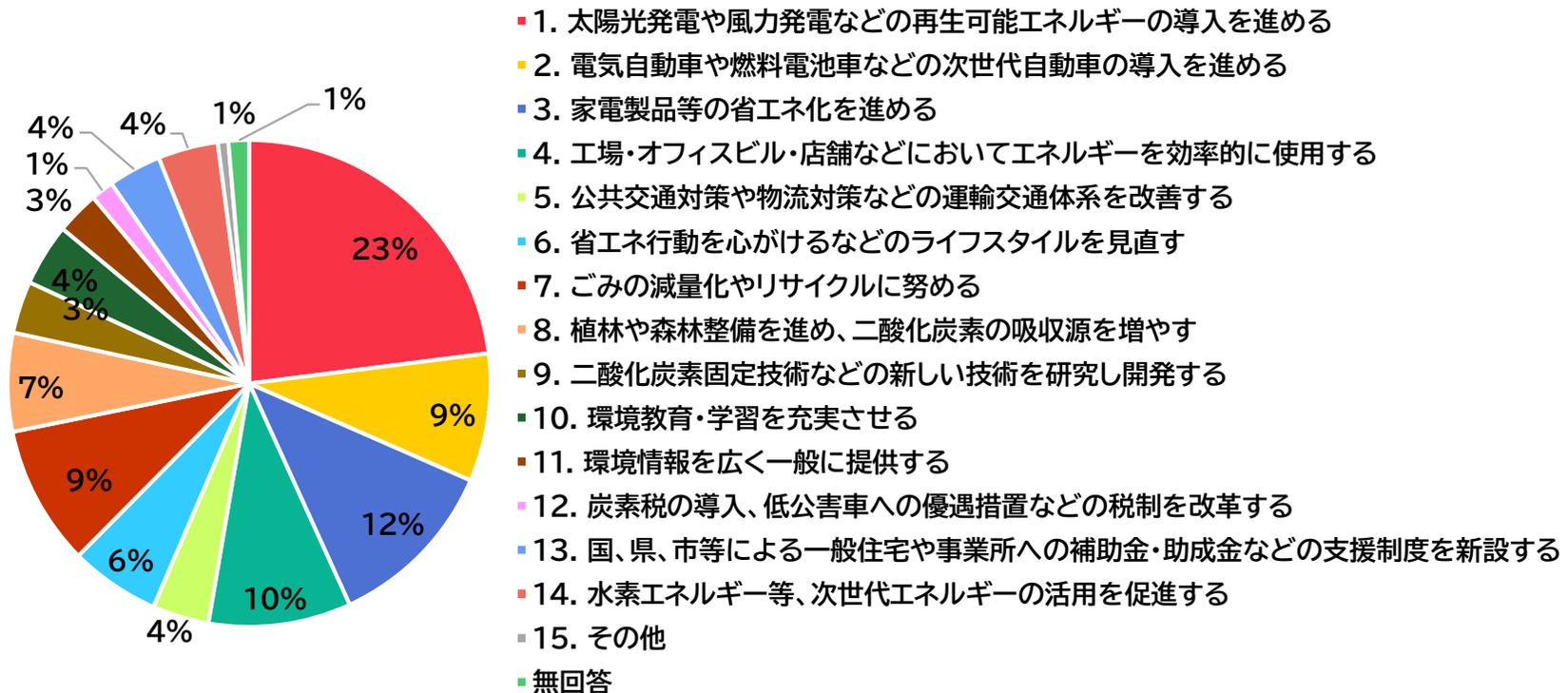
### 【その他】

- ・ 地下水散水
- ・ ため池、井戸水等(流水)

# 10. 地球温暖化対策について

回答者が思う地球温暖化対策として必要な社会的取組は、「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める(23%)」が最も多く、次いで「家電製品の省エネ化を進める(12%)」が多い

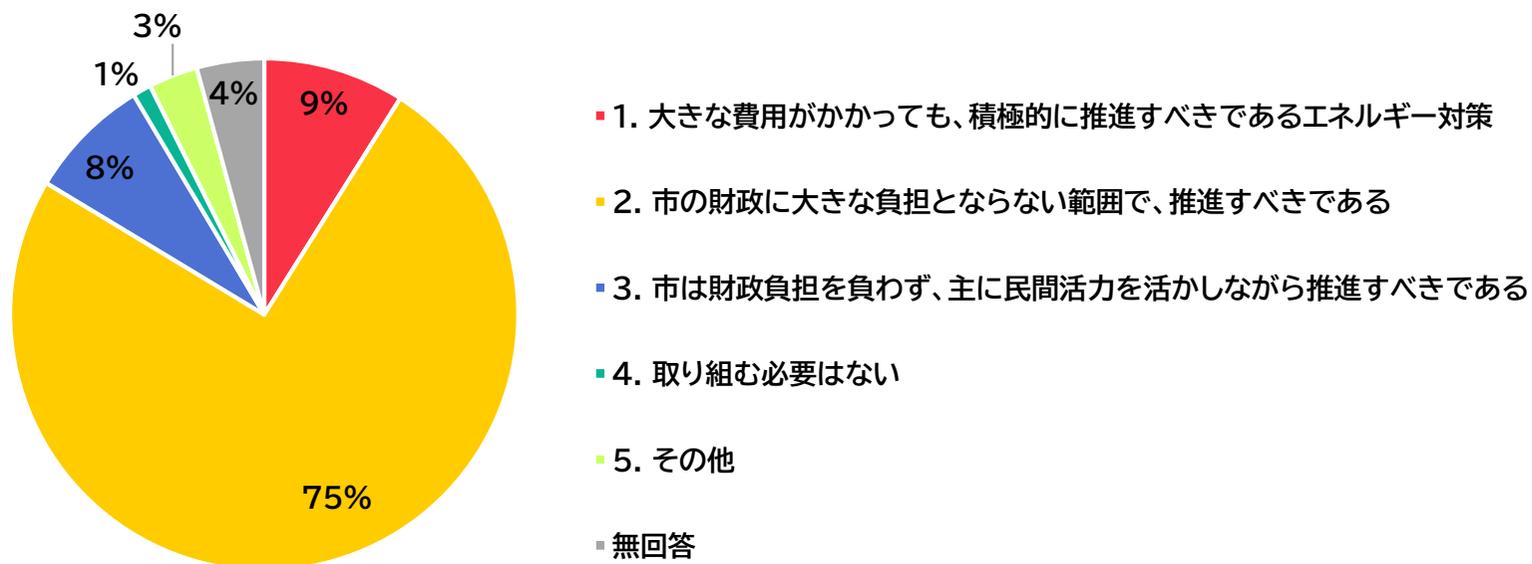
Q30:地球温暖化対策を目的とした社会的な取組として、どのようなものが必要であると思いますか？お聞かせください。(3つまで○をしてください。)



## 10. 地球温暖化対策について

地球温暖化対策は、回答者の多くが「市の財政に大きな負担とならない範囲で、推進すべきである(75%)」と回答している。

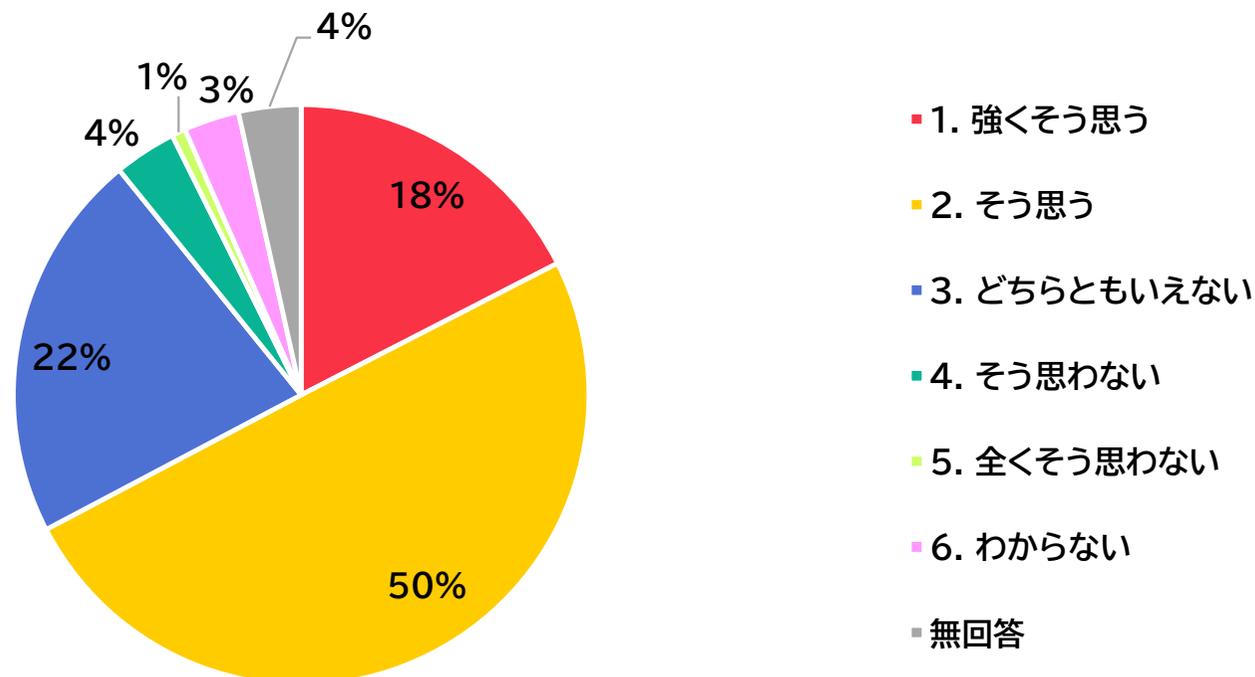
Q31:飯山市はどのような方針で環境問題やエネルギー対策に取り組むべきだと思われるか、お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)



## 10. 地球温暖化対策について

地球温暖化対策は、回答者の多く(68%)が「環境問題やエネルギー対策に取り組むことがより良いまちづくりにつながる」と考えている。

Q32:飯山市が環境問題やエネルギー対策に取り組むことがよりよいまちづくりにつながると思われるか、お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)



# 10. 地球温暖化対策について

Q33:飯山市の環境・エネルギー政策に対するご提案、ご意見などがあればお聞かせください。

- ・白馬エリアの様に、市内のスキー場をグリーン電力で稼働して欲しい。
- ・雪を活用したコンピュータのサーバー事業
- ・県内の環境政策先進地(白馬村、野沢温泉村など)にくらべ、市民の意識、行政としてのアクション、民間の投資、いずれも大きく遅れている。田舎の高齢者ほど意識が低い傾向があり、結局は環境政策だけに限らず、すべての行政、政治において、若者、移住者、女性の声が重要視される社会づくりが不可欠である。
- ・まず、身近なところから..伐採した枝等の活用。ごみ焼却炉の熱の利用。
- ・対策強化した結果、経済活動が低下してしまうことも考えられる他、どうしても除雪車に頼らなければ生活できない環境であるので、できる範囲でやるというのが現実路線かと思う
- ・過去に、バイオマス発電の誘致が、地元の反対で白紙になった。候補地を再度選定し、実施すべき。
- ・更に細かくゴミ分別
- ・公共施設などに 太陽光発電など設置する
- ・いたずらに施設を新設せず、既存の施設はリニューアブル&省エネタイプへと改善を図ることが肝要。また費用を投下するなら、先ずは水害対策が急務であり、あわせてエネルギー対策となる案が望ましい。
- ・エネルギー問題の対策は主に国が行なうべき。末端自治体では無理。
- ・環境、エネルギーの政策は、まず、市民が生活しやすい環境づくりや、人口の減少を止める事を第1に考えてからにした方が良い。税金は、何がいちばん市民にとって大切かを考えて使ってほしい環境問題は、国などが力を入れてもらわないと、小さな自治体が何かをしても、あまり変わらないと思う。

# 10. 地球温暖化対策について

Q33:飯山市の環境・エネルギー政策に対するご提案、ご意見などがあればお聞かせください。

- ・都会と田舎、都市部と山間部それぞれの生活形態・環境がありすべてを同じとすることはむずかしいと思います。国や県の考え方はもちろんですが、市として独自の考え方、取り組み方というものも必要ではないでしょうか。ひとつのやり方にひとつの答えしかないというようなやり方ではなくいくつものやり方にいくつもの答えが見つけられるそういう市になっていただきたいと思います。人にも生き物にも自然にも環境にも優しい飯山市になってほしいと願っています。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・環境といっても広い意味でつかみ所が無いがどの市町村も同じと思うが春先から梅雨時～秋台風の被害を特に水害と地震の被害を少なくするための方策を既存の土地に保留されている土(新幹線策動にあたっての山の土)を堤防のカサ上げや土地改良1級河川の土手カサ上げに使う等、市からも離れてテリトリーが違う、分野から切りくずして無料で利用出来るものは、法にこだわらず(法は後から付いてくるものでは?)あればカイクぐらず法に添って手続きして設備施行して行けば良いと思うが、法のこだわりが無い物流の拡大、利用賛成
- ・自分や自分の子ども達の為にとと思いますが、価格が高いとやはり取り組みずらいです。補助が出る、減税になる等分かりやすいメリットがあるほうが、取り組みやすいと思います。
- ・千曲沿いに設けられる冬期の「雪捨て場」の雪の無雪期の有効利用を積極的に考えてみてはいかがでしょうか？  
地域の特色を出した対策の方が無理無く長く続けられると思います。
- ・この様なアンケートも紙でなく、PC、スマホから回答の方がエコだと思います。

## 10. 地球温暖化対策について

Q33:飯山市の環境・エネルギー政策に対するご提案、ご意見などがあればお聞かせください。

- ・そもそも何かやってるんですか？どこの要請か知りませんが、市民生活に寄与する政策をお願いします。パフォーマンスはいりません。そもそもアンケートの質問多すぎる。アンケート答えたんだから協力品ください。
- ・とりあえず太陽光パネルの設置を推進していくことが大事だと思います。テレビを見ていたら飯山市で検証したところ冬の方が夏より発電量が多かったという結果が出たと言っていました。今まで飯山では太陽光発電はあまりメリットがないように言われていましたが、設置の仕方など工夫すれば決してそれを周知して増やしていけばエネルギー対策にも災害時の停電等の対策にもなると思います。
- ・できる事から始めたい。市庁舎を進化させて→他の公共施設も順に変えて行けば…順に個人も変わりやすいのでは？勉強不足でわからない事ばかりで役に立てずにすみません。小学生～教育が益々必要だと思う。
- ・人口が減る中、財政的に苦しくなっているが、重点的な取り組みで、進めてほしい
- ・この地方は多い、少ないは別にして冬には必ず雪が降ります。この雪を資源として、エネルギーに活用できるよう、そして研究ばかりでなく一般市民への生活の中に生かされるようなものを政策として出してほしいと思います。温暖化を何とかしなければと思っているばかりでは、地球は年々熱さを増すばかりです。大学の研究機関と行政が連携することや企業に対して補助金を出すなど、一步でも前進できるようにしてほしいと思います。

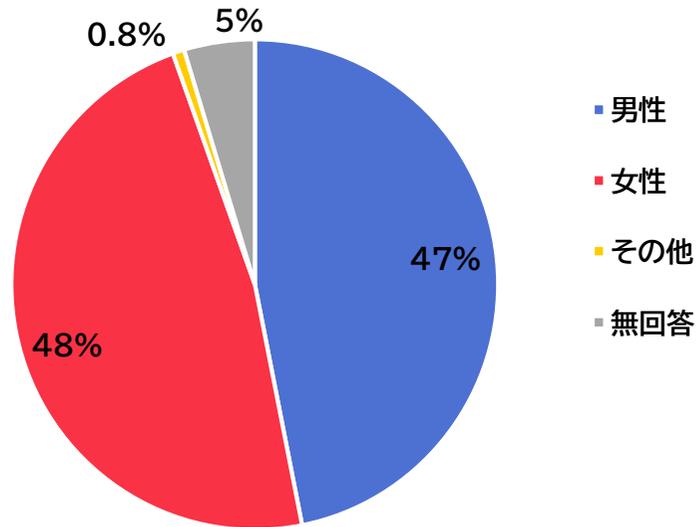
## 10. 地球温暖化対策について

Q33:飯山市の環境・エネルギー政策に対するご提案、ご意見などがあればお聞かせください。

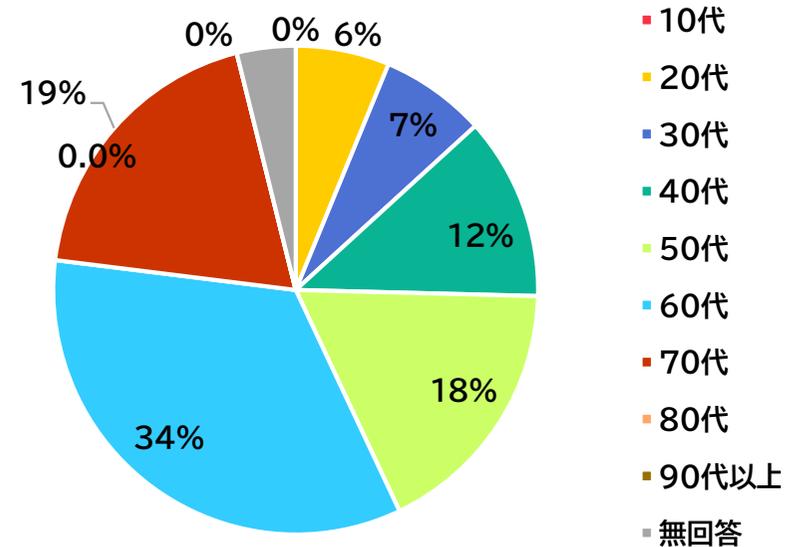
- ・地域に密着した発電(小型)などして公共施設への導入 家庭への自然型発電への補助
- ・個人の家々で、庭や木々を多く植えることをすすめるなど。飯山市全体で、ゼロカーボンの本気で行うべき。そもそも、どのくらいの森があれば、プラスマイナスゼロになるのか、示されていないので、1人あたり、どのくらいの木を植える必要があるのか、市は示すべき。

# 11. 回答者の内訳

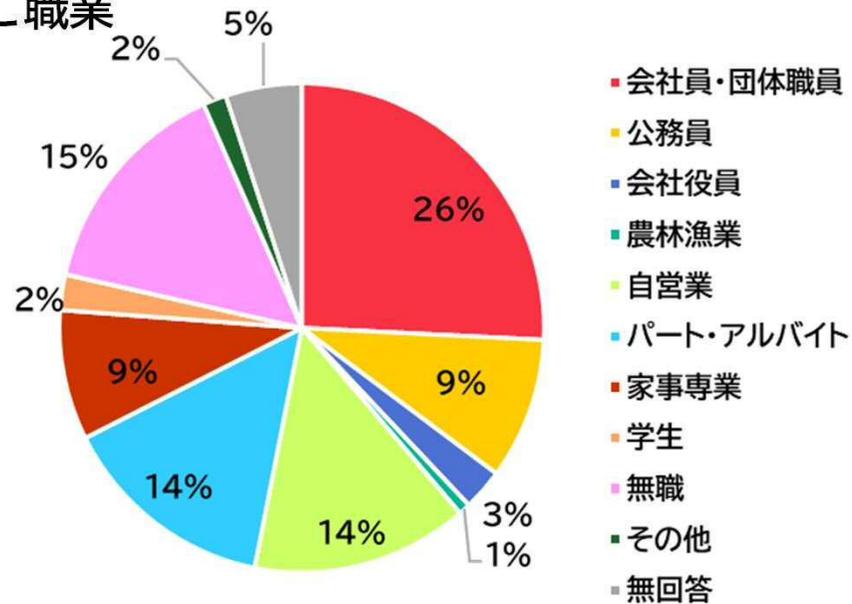
## ■ 性別



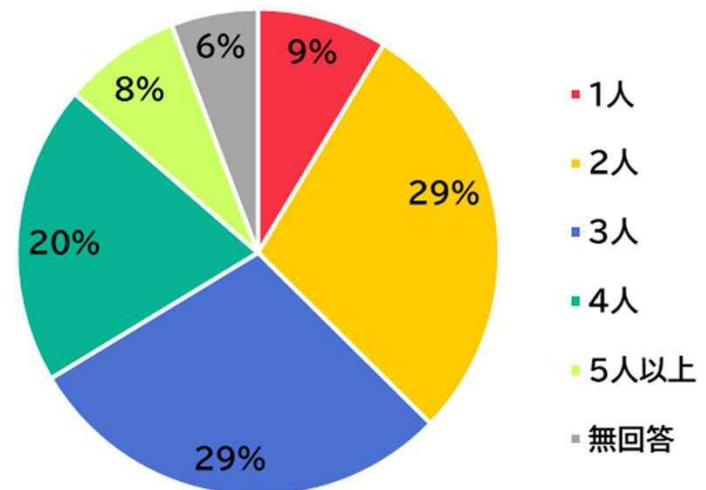
## ■ 年齢



## ■ ご職業

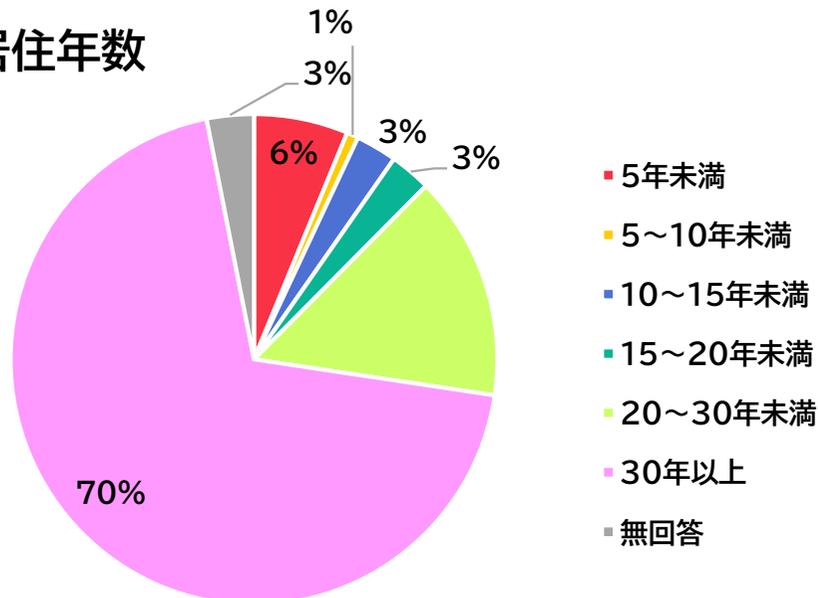


## ■ 同居家族

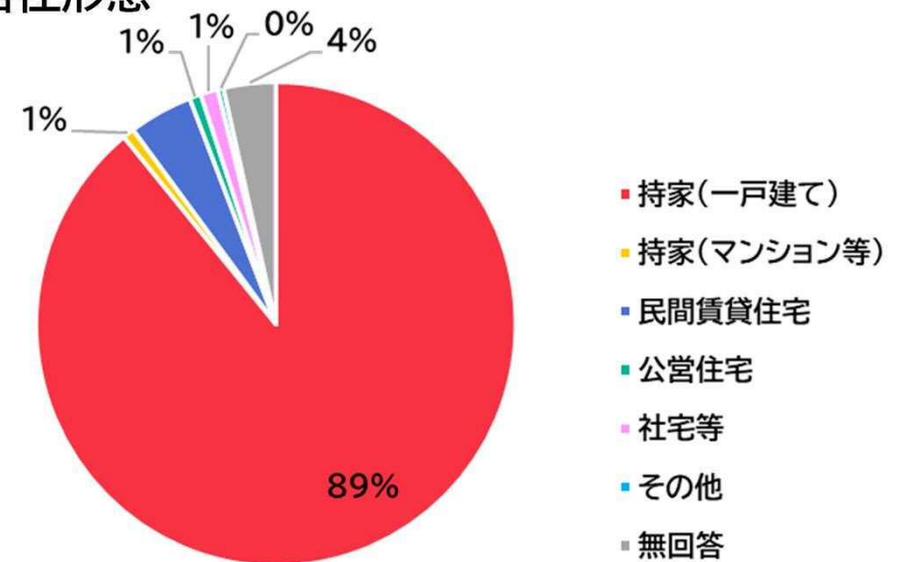


# 11. 回答者の内訳

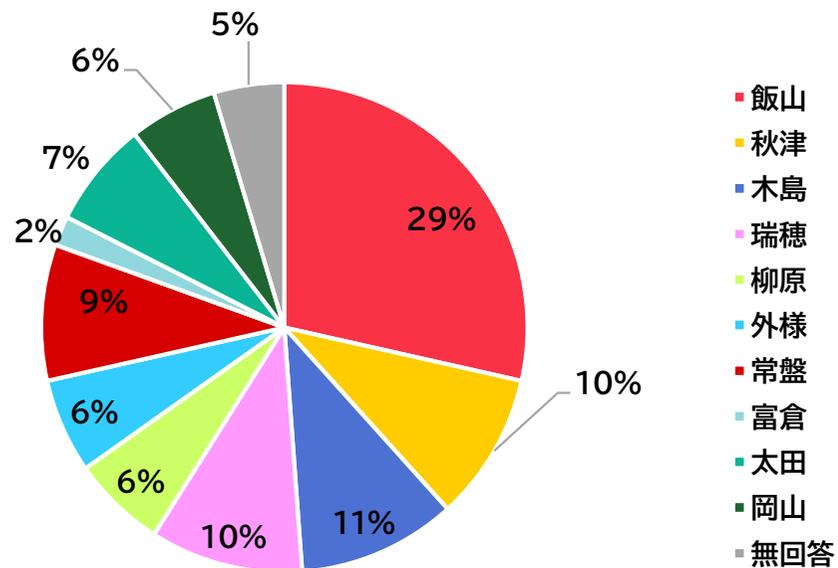
## ■ 居住年数



## ■ 居住形態



## ■ お住まいの地区





令和 4 年度

## 飯山市において地球温暖化対策を進めるための アンケートご協力をお願い

飯山市役所 民生部 市民環境課

平素は、本市の環境・エネルギー行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨今、気候変動の原因となっている地球温暖化を回避するため、カーボンニュートラル<sup>※1</sup>の取組が世界的に進められています。わが国では、脱炭素社会<sup>※2</sup>の実現に向け、2020年10月、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

本市においても、脱炭素に向けた計画<sup>(※下記)</sup>の策定を進めております。本アンケートは、市民の皆さんの意識や取組状況などをお聞かせいただき、今後の施策検討のための基礎資料として活用するために行うものです。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

質問は全部で32問です。また、アンケートの文中に(※ )がある単語は、別冊の「用語集」で詳しく説明しています。なお、用語集のご返信は不要です。

令和 4 年 12 月

(※) 本市では、来年度(令和5年度)以降の地球温暖化対策の実行に向けた具体的な施策を示す「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)」(以下「実行計画」)を策定する予定です。

実行計画は、温室効果ガスの現況推計、総量削減目標を検討し、温室効果ガス排出抑制等に関する対策、施策の立案につなげるものです。



# 広報 飯山

令和4年11月号  
November, 2022 No. 296

市報いよいよま	2～21
農業委員会だより	22～23
生涯学習だより	24～31
いよいよま社協だより	32～35
暮らしの情報掲示板	36～39



ひとりひとりができること

## ゼロカーボン アクション30

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。「ゼロカーボンアクション30」にできるところから取り組んでみましょう！

 市民環境課 生活環境係 TEL 67-0726 (直通)

### ゼロカーボンアクション ってなに？

みなさんは「カーボンニュートラル」や「ゼロカーボン」に向けた取組をしていますか？このコーナーでは、「2050年カーボンニュートラル」に向け、市民の皆さんにも取り組める内容、「ゼロカーボンアクション」をご紹介します。地球温暖化やそれに伴う気候変動といった地球規模の課題への対策には、皆さん一人ひとりの身近な取り組みが大切です。ところで、「カーボンニュートラル」や「ゼロカーボン」という言葉の意味をご存知でしょうか。この2つの言葉には大きな違いはありません。人間の活動のなかで排出する二酸

化炭素の量から、森林などの吸収量を差し引いて、全体としてゼロにすることを意味します。つまり、電気の使用（火力発電から作られた電気を使用することは、間接的に二酸化炭素を排出していることとなります）や、灯油、ガス、ガソリンといった化石燃料の使用を削減すること等で二酸化炭素の排出量を減らし、森林の吸収量との均衡を図ることが目標となります。

### なぜ二酸化炭素の排出量を減らすの？

冒頭でも触れたとおり、地球温暖化はさまざまな気候変動の原因となり、大規模災害の発生や豪雨、極端な豪雪や寡雪、農作物への悪影響などの被害をもたらすと言われています。この地球温暖化の原因であるのが、「二酸化炭素をはじめとする「温室効果ガス」です。地球温暖化を緩和し、住み続けられる地球環境を守るため、全世界での対策が進められています。日本でも2020年10月に、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことが表明され、飯山市でも第3次飯山市環境基本計画において、同様の目標を掲げています。地球温暖化、気候変動への対策として、次回から実際の取り組みの例をご紹介します。できることから始めましょう。

### 【アンケートの取扱いについて】

1. このアンケートは、18歳以上の市民の皆様の中から無作為に選ばれた1,000人の方を対象に調査票をお送りしています。
2. 無記名でお答えいただき、すべてのお答えを統計的に処理した上でとりまとめます。各個人のお答えの内容が明らかになることはありません。
3. アンケート結果は、計画策定の基礎資料以外に使用することはありません。

### 【ご記入にあたって】

このアンケートには、封筒の宛名のご本人様がお答えください。  
なお、ご家族が代筆することは差し支えありません。

### 【返送について】

お答えいただいた調査票は、令和4年1月5日（木）までに、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

なお、スマートフォンやパソコンから下記のQRコードまたはURLにアクセスして回答いただくこともできます。スマートフォンやパソコンでご回答された方は、この調査票の返信はご不要です。

### 【URL】

<https://forms.gle/yT2GosTALQ2bZXdx6>



### ■アンケートに関するお問い合わせ先

飯山市 民生部 市民環境課 生活環境係 担当：深堀、市村  
TEL：0269-67-0726

### <委託会社>

三井共同建設コンサルタント株式会社 TEL：03-6417-3209

## ■地球温暖化や地球環境の保全についてお聞きします

Q1：地球温暖化や気候変動・エネルギーの問題について、あなたの関心度をお聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. とても関心がある
2. どちらかというに関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

Q2：地球温暖化・気候変動による集中豪雨などの多発や熱中症・感染症のリスクが懸念されています。このための対策として必要な取組はなんだと思いますか？お聞かせください。（2つまで○をしてください。）

1. 再生可能エネルギーを活用する
2. 省エネ型家電や設備を導入する
3. リサイクルなどにより、廃棄物を減らす
4. 家庭や職場でエネルギーの消費を減らし、省エネを推進する
5. 災害時のために電力等のエネルギーを確保しておく。
6. その他

( )

Q3：長野県が2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにすることを目指す「気候非常事態宣言 -2050ゼロカーボンへの決意<sup>※3</sup>」について、宣言したことをご存知ですか？お聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. 内容を知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 聞いたことがない

Q4：「パリ協定<sup>※4</sup>」についてご存知ですか？お聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. 内容を知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 聞いたことがない

Q5:「SDGs<sup>※5</sup>」についてご存知ですか？お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)

1. 内容を知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 聞いたことがない

Q6：私たちの生活の利便性と地球環境の保全との関係について、どのようにお考えですか？お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)

1. 現在の利便性を犠牲にしても、地球環境の保全を最優先に行う必要がある
2. 現在の利便性を低下させても、地球環境の保全を行う必要がある
3. 現在の利便性を変えない範囲で、地球環境の保全を行う必要がある
4. 地球環境の保全よりも、利便性を向上させる方が重要である
5. わからない

## ■脱炭素の取組の必要性についてお聞きします

Q7：地球温暖化の主な要因は大気中の二酸化炭素の増加と言われています。脱炭素に関する取組について、どのように進めていくべきだとお考えですか。（1 つだけ〇をしてください。）

1. 積極的に脱炭素の取組を進めるべきである
2. 積極的ではないが、できる範囲で脱炭素の取組を進めた方が良い
3. 脱炭素の取組を進める必要はない
4. わからない

Q8：生活の中で地球温暖化や気候変動の影響を感じることはありますか。

1. 影響を感じる
2. 影響は感じない

「1. 影響を感じる」とご回答した方は、どのような影響があるか、あれば具体的に記述してください。

Q9：地球温暖化や気候変動、脱炭素への取組の必要性などについて、ご意見があれば自由にお書きください。

自由記述欄

■エネルギー（電気・LPガス・灯油）の使用状況についてお聞きします

※ 直近で把握できる範囲のもので結構です

Q10：電力の契約の種類について、教えてください。（該当するものすべてに○をしてください。）

1. 電灯契約
2. 電力契約

Q11：Q10で1を選択された場合、契約電力量をお聞かせください。

（                      ）kW

Q12：Q10で2を選択された場合、契約アンペア量をお聞かせください。

（                      ）A

Q13：電力の月間消費量（kWh）をお聞かせください。

1. 夏（6～8月）                      :（                      ）kWh/月 程度
2. 春・秋（3～5月・9～11月）:（                      ）kWh/月 程度
3. 冬（12～2月）                      :（                      ）kWh/月 程度

Q14：LPガスの月間消費量（m<sup>3</sup>）をお聞かせください。

1. 夏（6～8月）                      :（                      ）m<sup>3</sup>/月 程度
2. 春・秋（3～5月・9～11月）:（                      ）m<sup>3</sup>/月 程度
3. 冬（12～2月）                      :（                      ）m<sup>3</sup>/月 程度
4. 使っていない

Q15：灯油の月間消費量（リットル）をお聞かせください。

1. 夏（6～8月）                      :（                      ）ℓ/月 程度
2. 春・秋（3～5月・9～11月）:（                      ）ℓ/月 程度
3. 冬（12～2月）                      :（                      ）ℓ/月 程度
4. 使っていない

■省エネ機器・設備等の保有状況についてお聞きします

Q16：現在、ご自宅において、省エネ設備や再エネ設備等を導入されていますか？それぞれ、あてはまる番号に○をしてください。

設備等の種類	回答
住宅の断熱性を向上させる取組（断熱材の入替え、気密性の高いサッシの導入、屋根や外壁の断熱塗装など）	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
太陽光発電システム	1. 導入している（_____kW） 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
その他の発電システム（風力・バイオマス <sup>※6</sup> 等）	1. 導入している（名称____、_____kW） 2. 今後導入したい（名称_____） 3. 今後も導入の予定はない
太陽熱温水器	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
蓄電池システム	1. 導入している（_____kW） 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
高効率給湯器（エコキュートなど）	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
家庭用燃料電池（エネファームなど）	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
潜熱回収型給湯器（エコジョーズなど）	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
地中熱ヒートポンプを利用した冷暖房システム	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない

次ページへ続きます

省エネ型電気製品 (省エネラベル製品)	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
薪ストーブやペレットストーブなどの木質燃料を使った暖房器具	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
クリーンエネルギー自動車 (ハイブリッド車、電気自動車など)	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
HEMS <sup>※7</sup>	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
V2H <sup>※8</sup>	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
ZEH <sup>※9</sup>	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
その他に導入している、 今後導入したいものが あればご記入ください。	1. 導入している (名称 _____) 2. 今後導入したい (名称 _____)

Q17: ご自宅において、省エネ設備や再エネ設備を導入する場合に課題があればお聞かせください。(該当するものすべてに○をしてください。)

1. 設備設置に係る費用が高い
2. 維持管理の手間や費用がかかる
3. 自宅の構造上、設置が難しい
4. メリットやデメリットなど、詳しい内容がよくわからない
5. どこに相談してよいのかわからない
6. 日常生活が忙しく、検討する余裕がない
7. 特に課題はない
8. その他

( )

■省エネ行動についてお聞きします

Q18：日常の生活において、省エネ行動に取り組んでいることについて、お聞かせください。それぞれ、あてはまる番号に○をしてください。

種別	行動	(参考) 年間節約効果	回答欄
エアコン	夏の冷房設定を28℃に設定している	820円	1. 取り組んでいる 2. 今後取り組みたい 3. 今後も取り組まない 4. 所有していない
	冬の暖房設定を20℃に設定している	1,430円	1. 取り組んでいる 2. 今後取り組みたい 3. 今後も取り組まない 4. 所有していない
	フィルターを月に1回か2回か清掃している	860円	1. 取り組んでいる 2. 今後取り組みたい 3. 今後も取り組まない 4. 所有していない
冷蔵庫	ものを詰め込みすぎない (半分程度だけ詰める)	1,180円	1. 取り組んでいる 2. 今後取り組みたい 3. 今後も取り組まない 4. 所有していない
	設定温度を「強」から「中」にする	1,670円	1. 取り組んでいる 2. 今後取り組みたい 3. 今後も取り組まない 4. 所有していない
照明	蛍光灯を1日1時間短縮する	120円	1. 取り組んでいる 2. 今後取り組みたい 3. 今後も取り組まない 4. 所有していない
	白熱電球を1日1時間短縮する	530円	1. 取り組んでいる 2. 今後取り組みたい 3. 今後も取り組まない 4. 所有していない

次ページへ続きます

電気便座	使わないときはフタを閉める	940円	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取り組んでいる</li> <li>2. 今後取り組みたい</li> <li>3. 今後も取り組まない</li> <li>4. 所有していない</li> </ol>
	便座の設定温度を中から弱にする	710円	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取り組んでいる</li> <li>2. 今後取り組みたい</li> <li>3. 今後も取り組まない</li> <li>4. 所有していない</li> </ol>
給湯器	お風呂の追い炊きはしない	6,190円	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取り組んでいる</li> <li>2. 今後取り組みたい</li> <li>3. 今後も取り組まない</li> <li>4. 所有していない</li> </ol>
	シャワーは不必要に流したままにしない	3,210円	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取り組んでいる</li> <li>2. 今後取り組みたい</li> <li>3. 今後も取り組まない</li> <li>4. 所有していない</li> </ol>
廃棄物	ごみの減量化又は資源化について	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取り組んでいる</li> <li>2. 今後取り組みたい</li> <li>3. 取り組まない</li> </ol>
移動	公共交通機関、自転車の積極的利用について	—	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取り組んでいる</li> <li>2. 今後取り組みたい</li> <li>3. 取り組まない</li> </ol>

「(参考) 年間節約効果」欄の金額は、「省エネポータルサイト (経済産業省資源エネルギー庁ホームページ)」([https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/index.html](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/index.html))より引用。

■再生可能エネルギーの導入についてお聞きします

Q19：今後、飯山市ではどのような「再生可能エネルギー」等の導入を進めるべきだと思いますか。該当するものすべてに○をしてください。

太陽光発電	個人宅・事業所の屋根、壁、敷地等に設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	空き地や耕作放棄地等への大規模太陽光パネルの設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
太陽熱利用		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
雪氷冷熱利用	食品等の貯蔵を目的とした雪室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	夏の冷房に活用することを目的とした雪の貯蔵	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>

次ページへ続きます

中小水力発電	山間地の中小河川への設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	農業用等水路への設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
風力発電	山間部への設置 (大型のもの)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	市街地や集落周辺に設置 (小型のもの)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
木質バイオマス発電および 廃熱利用	飯山市内の森林整備で 発生した間伐材を主原料とする小型バイオマス発電	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	薪、木質チップ等の木質バイオマス燃料の製造	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	薪ストーブやペレットストーブの設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>

次ページへ続きます

下水道汚泥等を活用したバイオマス発電	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
<u>廃棄物発電</u> （一般廃棄物、プラスチックごみ等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
地熱発電（地熱バイナリー発電）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
温度差発電（河川、融雪水等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
水素エネルギー製造（再生可能エネルギー発電の余剰電力を活用）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
エタノールの製造（農作物の残渣や食品製造過程等で出た残りかすの活用）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
その他のエネルギー等の活用についてご意見があればご自由にお書きください。	

Q20：再生可能エネルギーの導入を進めるに当たり、市が取り組む必要があると思われることをお聞かせください。（該当するものすべてに○をしてください。）

1. 個人住宅への再生可能エネルギー導入の補助（太陽光パネルの設置等）
2. 電気自動車、燃料電池車等の購入補助
3. 地域が事業者となるモデル事業の実施
4. 地球温暖化や気候変動に関する意識啓発  
（環境教育、マスメディア・SNS<sup>※10</sup>等による情報発信）
5. 公共施設への太陽光パネルの設置
6. わからない
7. その他

[ ]





■ご家庭で所有している除雪・融雪設備についてお聞きします

Q27：家庭で保有している除雪機について、お聞かせください。

1. 保有していない ⇒ Q29にお進みください。
2. 保有している ⇒ 下記に所有している除雪機についてご記入ください。

（ 記入例：除雪機 2 台（15 馬力） ）

Q28：今後、電気除雪機を導入する場合に、課題があればお聞かせください。（該当するものすべてに○をしてください。）

1. 車体価格が高い
2. 車種が少ない
3. 馬力が足りない
4. 充電場所が離れていて充電できない
5. 充電場所が少ない
6. 詳しい情報（メリット、デメリット等）がわからない
7. 特に課題はない
8. その他

（ ）

Q29：ご家庭で導入されている融雪設備の種類についてお聞かせください。（該当するものすべてに○をしてください。） また、導入している融雪設備のエネルギー源についてお聞かせください。（該当するものすべてに○をしてください。）

エネルギー源

1. 屋根融雪 ----- 電気・灯油・ガス・その他（ ）
2. 路面融雪（散水含む）----- 電気・灯油・ガス・その他（ ）
3. その他（ ） ---- 電気・灯油・ガス・その他（ ）

## ■地球温暖化対策についてお聞きします

Q30：地球温暖化対策を目的とした社会的な取組として、どのようなものが必要であると思いますか？お聞かせください。（3つまで○をしてください。）

1. 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める
2. 電気自動車や燃料電池車<sup>※11</sup>などの次世代自動車の導入を進める
3. 家電製品等の省エネ化を進める
4. 工場・オフィスビル・店舗などにおいてエネルギーを効率的に使用する
5. 公共交通対策や物流対策などの運輸交通体系を改善する
6. 省エネ行動を心がけるなどのライフスタイルを見直す
7. ごみの減量化やリサイクルに努める
8. 植林や森林整備を進め、二酸化炭素の吸収源を増やす
9. 二酸化炭素固定技術<sup>※12</sup>などの新しい技術を研究し開発する
10. 環境教育・学習を充実させる
11. 環境情報を広く一般に提供する
12. 炭素税の導入、低公害車への優遇措置などの税制を改革する
13. 国、県、市等による一般住宅や事業所への補助金・助成金などの支援制度を新設する
14. 水素エネルギー等、次世代エネルギーの活用を促進する
15. その他

( )

Q31：飯山市はどのような方針で環境問題やエネルギー対策に取り組むべきだと思われるか、お聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. 大きな費用がかかっても、積極的に推進すべきである
2. 市の財政に大きな負担とならない範囲で、推進すべきである
3. 市は財政負担を負わず、主に民間活力を活かしながら推進すべきである
4. 取り組む必要はない
5. その他 ( )

Q32：飯山市が環境問題やエネルギー対策に取り組むことがよりよいまちづくりにつながると思われるか、お聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. 強くそう思う
2. そう思う
3. どちらともいえない
4. そう思わない
5. 全くそう思わない
6. わからない

Q33：飯山市の環境・エネルギー政策に対するご提案、ご意見などがあればお聞かせください。

自由記述欄

最後にあなたご自身、ご家庭について教えてください

※該当するものに○をしてください。

問1 性別

男性 女性 その他 回答しない

問2 年齢

10代 20代 30代 40代 50代 60代

70代 80代 90代以上

問3 ご職業

会社員・団体職員 公務員 会社役員 自営業 パート・アルバイト

家事専業 学生 無職 その他（ ）

問4 同居家族（人数をご記入ください。）

あなたを含めて（ ）人

問5 飯山市の居住年数

5年未満 5～10年未満 10～15年未満 15～20年未満

20～30年未満 30年以上

問6 居住形態

持家（一戸建て） 持家（マンション等） 民間賃貸住宅 公営住宅

社宅等 その他（ ）

問7 お住まいの地区

飯山 秋津 木島 瑞穂 柳原 外様 常盤 富倉 太田 岡山

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。



飯山市において  
地球温暖化対策を進めるためのアンケート  
調査結果(事業者向け)

2023年3月

# ■アンケート調査について

## 事業者向けアンケート

### ○調査対象者

飯山市内の事業所

→ 120事業所を対象に調査票を送付

### ○調査期間

2022年12月21日

～2023年1月14日

### ○調査方法

郵送+WEBによる調査

### ○回答件数

38件(回収率:約32%)

郵送:29件、Web:9件

令和4年度

### 飯山市において地球温暖化対策を進めるための アンケートご協力をお願い

飯山市役所 民生部 市民環境課

平素は、本市の環境・エネルギー行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨今、気候変動の原因となっている地球温暖化を回避するため、カーボンニュートラル<sup>※1</sup>の取組が世界的に進められています。わが国では、脱炭素社会<sup>※2</sup>の実現に向け、2020年10月、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

本市においても、脱炭素に向けた計画<sup>(※3)</sup>の策定を進めております。本アンケートは、市民の皆さんの意識や取組状況などをお聞かせいただき、今後の施策検討のための基礎資料として活用するために行うものです。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

質問は全部で32問です。また、アンケートの文中に(※)がある単語は、別冊の「用語集」で詳しく説明しています。なお、用語集のご返信は不要です。

令和4年12月

(※)本市では、来年度(令和5年度)以降の地球温暖化対策の実行に向けた具体的な施策を示す「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)」(以下「実行計画」)を策定する予定です。

実行計画は、温室効果ガスの現況推計、総量削減目標を検討し、温室効果ガス排出抑制等に関する対策、施策の立案につなげるものです。

## ■アンケート調査結果の概要（1/8）

### ① 地球温暖化や地球環境の保全について

- 回答した事業者100%が「関心ある」と回答し、地球温暖化や気候変動、エネルギー問題に非常に関心が高い。
- 地球温暖化や気候変動による災害リスクの対策として、回答した事業者は「再生可能エネルギーを活用する(35%)」、「リサイクルなどにより、廃棄物を減らす(26%)」ことが必要と回答している。
- 長野県「気候非常事態宣言-2050ゼロカーボンへの決意-」について、回答した事業者の81%が「内容を知っている」、「聞いたことがあるが内容は知らない」と回答している。また、「パリ協定」について、回答した事業者の97%が「内容を知っている」、「聞いたことがある」と回答している。
- 「SDGs」について、事業者の97%が「内容を知っている」、「聞いたことがある」と回答している。その中でも68%の事業者がSDGsの内容を知っている。
- 日常生活の利便性と地球環境の保全との関係については、全体の約92%が地球環境の保全の必要性を感じている。

〈考察〉地球温暖化や地球環境の保全については、回答した事業者の関心が非常に高く、脱酸素の施策推進への理解が得られやすいと考えられる。ただし、「内容までは知らない」の回答比率も高いことから、さらに事業者へのPRや啓発が必要であると考えられる。

## ■アンケート調査結果の概要（2/8）

### ② 脱炭素の取組の必要性について

- 脱炭素に関する取組は、回答した全事業者が取組の必要性を感じている。その中でも39%が「積極的に脱炭素の取組を進めるべきである」と回答している。
- 回答した事業者の87%が地球温暖化や気候変動の影響を感じており、そのうち気候変動の変化を感じるには、自由記述より、「気温の上昇」、「集中豪雨等の発生」などである。

〈考察〉脱炭素の取組の必要性については、回答した大半の事業者が事業活動の中で地球温暖化や異常気象の影響を感じ、脱炭素の取組が必要と回答しており、地球環境への意識は高いことから脱炭素への施策推進の理解が得られやすいと考えられるが、施策に対する市民の積極的な参加が期待できる。

### ③ 3.エネルギー（電気・LPガス・灯油）の使用状況について

- 1001～5000kWh/月、10000kWh/月以上の電力を消費する事業所が多い。また、夏期は、101～500kWh/月の電力を消費する事業者数が春・秋、冬に比べて多い傾向である。
- いずれの季節においてもLPガスの月間消費量は10m<sup>3</sup>以下が最も多い。また、電力消費量と比べて季節変動はそれほど大きくない。
- 灯油の月間消費量は冬季期間が最も大きい。夏において100L未満を消費する事業者が多くを占める。

〈考察〉回答した事業者のエネルギー消費のうち、電力は夏期が最も多く、灯油は冬期が多い。夏は冷房、冬は暖房での使用が著明に表れている。

## ■アンケート調査結果の概要（3/8）

### ④省エネ機器・設備等の保有状況について

- ・ 回答した事業者のうち、断熱性の向上の取組導入、省エネ型電気製品の購入が32%と高く、今後実施したいと考えている取組は、省エネ型電気製品50%、クリーンエネルギー自動車47%と高い。一方、太陽光発電、その他発電システムの、普及率や今後の導入取組の比率は低い。
- ・ 省エネ・再エネ設備導入の課題は、「経費が高い」と「維持管理の手間や費用がかかる」で53%と半数以上を占めており、26%が「事業所の構造上、設置が難しい」と回答している。

〈考察〉回答した事業者のうち省エネ型電気製品の導入が多い。今後、クリーンエネルギー自動車の導入希望は多いが、経費や維持管理が課題であり、事業者が購入や維持管理しやすい支援制度等により、省エネ機器・設備の導入促進を図る必要がある。

### ⑤省エネ行動について

- ・ 回答した事業者のうち、省エネ行動の取り組みは、「空調の設定温度の管理（68%）」、「空調運転時間の短縮（61%）」、「徒歩や自転車利用の推進（61%）」の比率が多く、一方、「省エネの診断」は16%と低い。

〈考察〉回答した多くの事業者は事業活動の中で、省エネ活動に取り組んでいる。一方、省エネ診断は比率が低いことから、支援等による省エネ診断の後押しも必要である。

## ■アンケート調査結果の概要（4/8）

### ⑥再生可能エネルギーの導入について

- 導入を進めるべき再生可能エネルギーは、廃棄物発電、下水道汚泥を活用したバイオマス発電、中小水力発電等の意見が多い。再生可能エネルギー各項目とも回答した事業者の50%以上が導入を進めるべきと回答しており、導入の主体は、50%以上の事業者が「市が導入」、または、「市が補助し、市民・事業者」と回答している。導入すべきでないものは風力発電（大型・小型）が最も多い（10%）。
- 再生可能エネルギーの推進するための市の取り組みは、「個人住宅への再エネ導入の補助（26%）」が最も多く、次いで「電気自動車や燃料電池車等の購入補助（20%）」となっているが、その他の取り組みも比率に大きな差がない。

〈考察〉回答した事業者にとって再生エネルギー導入は、市が導入、または、補助金等の支援を望んでいる。

## ■アンケート調査結果の概要（5/8）

### ⑦事業所で所有している自動車について

- 回答した事業者のうち、98%が自動車を所有しており、そのうち、ガソリン車・ディーゼル車が71%、ハイブリッド自動車が27%で、電気自動車は0%であった。
- 今後、買い替えを希望する自動車については、電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料自動車への買い替えが66%、そのうちハイブリッド自動車が45%と最も多い、ガソリン車・ディーゼル車は34%である。
- 電気自動車導入の際の課題は、「車体価格が高い(31%)」、「充電場所が少ない(26%)」が上位に挙げられた。

〈考察〉回答した事業所のハイブリッド自動車の所有は19%と低く、今後買い替えの希望が66%である。一方、買い替えの課題から、購入補助や電気自動車の充電器施設の普及が求められている。

## ■アンケート調査結果の概要（6/8）

### ⑧事業者で所有している農業機械について

- 回答した事業者のうち39%が農業機械を保有している。
- 回答した事業者が保有している農業機械は「トラクター(乗用型)(37.5%)」「耕うん機(歩行型)(37.5%)」で大半を占めている。
- 回答した事業者が所有している農業機械のうち、トラクター、耕うん機を所持している事業者は67%が1台以上所有している。また、田植え機と稲刈り機を保有している事業所はない。
- 電気農業機械導入の際の課題は、「車体価格が高い(40%)」、「馬力が足りない(30%)」が上位に挙げられた。

**〈考察〉**回答した事業所では農業機械の保有は39%と低い。電気農業機械の導入については、「車体価格が高い」、「馬力が足りない」が上位に挙げられていることから、購入補助や情報提供が求められている。  
また、今後は電気エネルギーだけでなく、バイオディーゼル燃料や水素燃料をエネルギーとした農業機械の利用推進や啓発が必要である。

## ■アンケート調査結果の概要（7/8）

### ⑨事業者で所有している除雪・融雪設備について

- 回答した事業所の半数以上(52%)が除雪機を保有している。また、所有している除雪機は10馬力以下が50%、11馬力～20馬力が50%であった。
- 電気除雪機導入の際の課題については、「車体価格が高い(21%)」、「馬力が足りない(13%)」、「充電場所が少ない(13%)」、「詳しい情報がわからない(12%)」の順で挙げられた。
- 融雪設備を導入している事業者のうち、屋根融雪は灯油をエネルギー源とする事業者が23%と最も多く、路面融雪については電気が約26%と灯油の13%を上回っている。

〈考察〉回答した半数以上の事業者で除雪機を有しているが、電気除雪機の導入については、「車体価格が高い」、「馬力が足りない」、「充電場所がない」が上位に挙げられたことから、電化促進の設備整備が必要である。

融雪設備のエネルギーは灯油も電気以上に利用されており、身近な施設の脱酸素への理解が必要である。

また、今後は電気や灯油などのエネルギーだけではなく、バイオディーゼル燃料や水素燃料をエネルギーとした除雪・融雪設備の利用推進や啓発が必要である。

## ■アンケート調査結果の概要（8/8）

### ⑩地球温暖化対策について

- 回答した事業所が思う地球温暖化対策として必要な社会的取組は、「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める（22%）」と最も多く、その他の対策には差が少ない結果となった。
- 回答した事業者の多くが「市の財政に大きな負担とならない範囲で、推進すべきである（76%）」と回答している。
- 回答した事業者の多く（82%）が環境問題やエネルギー対策に取り組むことがより良いまちづくりにつながると考えている。

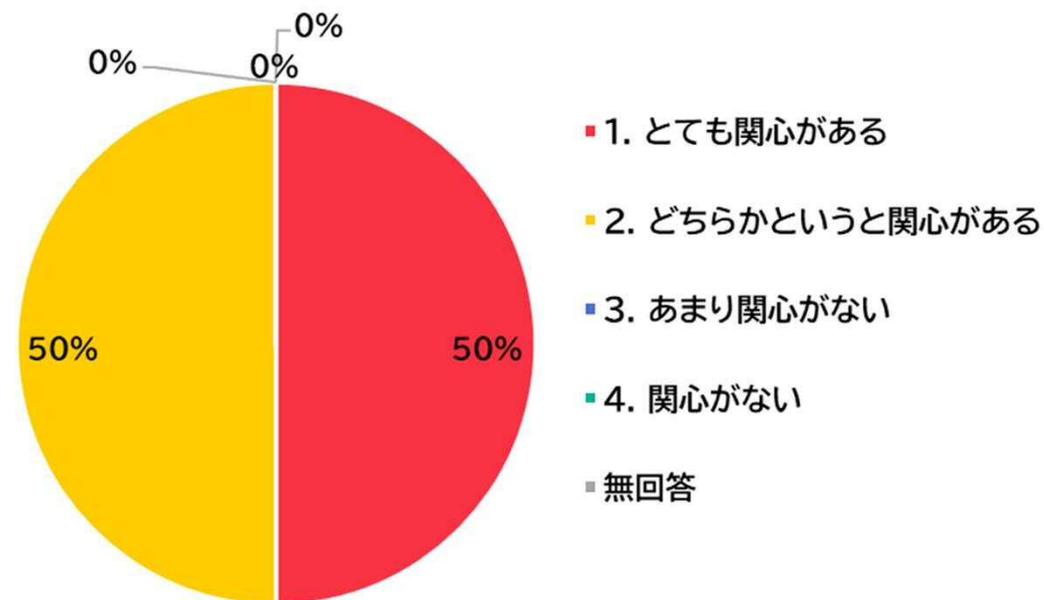
〈考察〉回答した事業者が思う、地球温暖化対策の取り組みは、現在も普及している太陽光や風力発電の導入の要望が多く、導入にあたっては市で行う事業という意見が多いことから、再生可能エネルギーの導入を進めていくとともに、地球温暖化対策の多様な取組、身近にできる取組、取組への支援、PRや啓発が必要である。

また、環境問題やエネルギー対策は市のよりよいまちづくりにつながると意識が高いことから、今後も脱炭素がまちづくりに寄与する施策であることを市民に理解を得ながら進めることが求められる。

# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

回答した事業者100%が「関心ある」と回答し、地球温暖化や気候変動、エネルギー問題に非常に関心が高い。

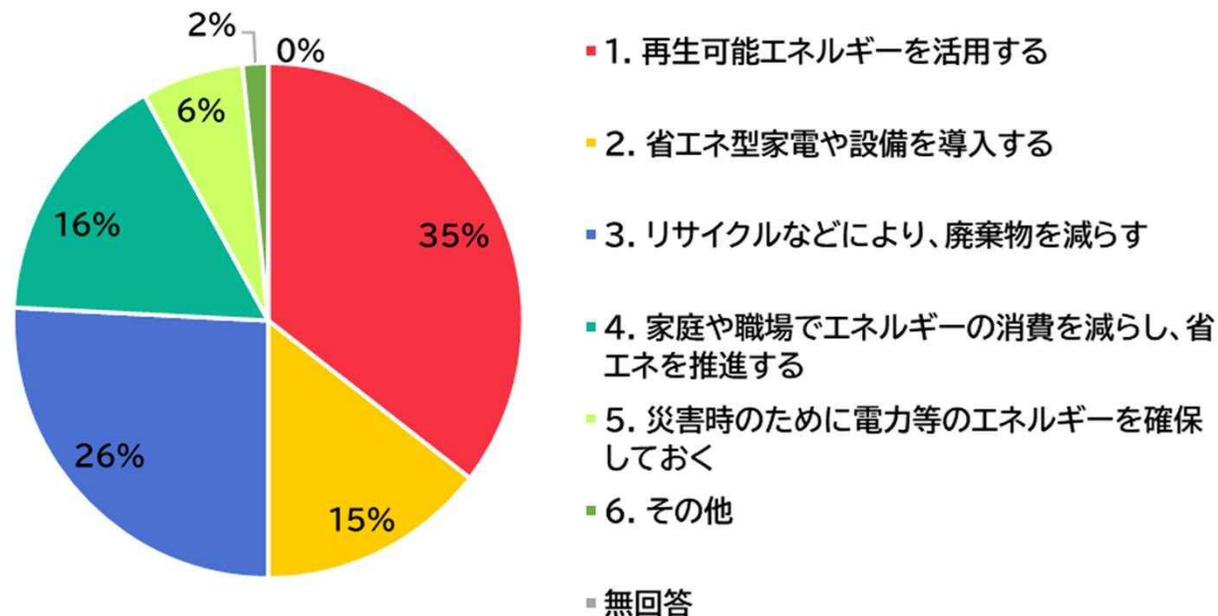
Q1:地球温暖化や気候変動・エネルギーの問題について、あなたの関心度をお聞かせください。(1つだけ○をしてください。)



# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

地球温暖化や気候変動による災害リスクの対策として、回答した事業者は「再生可能エネルギーを活用する(35%)」、「リサイクルなどにより、廃棄物を減らす(26%)」ことが必要と回答している。

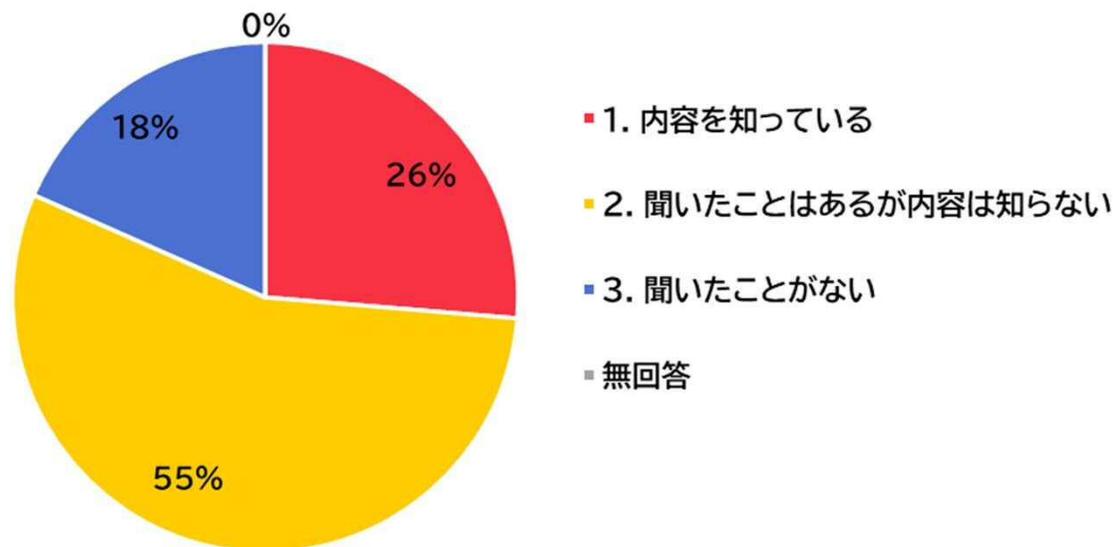
Q2:地球温暖化・気候変動による集中豪雨などの多発や熱中症・感染症のリスクが懸念されています。このための対策として必要な事項はなんですか？  
お聞かせください。(2つだけ選択)



# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

長野県「気候非常事態宣言-2050ゼロカーボンへの決意-」について、回答した事業者の81%が「内容を知っている」、「聞いたことがあるが内容は知らない」と回答している。

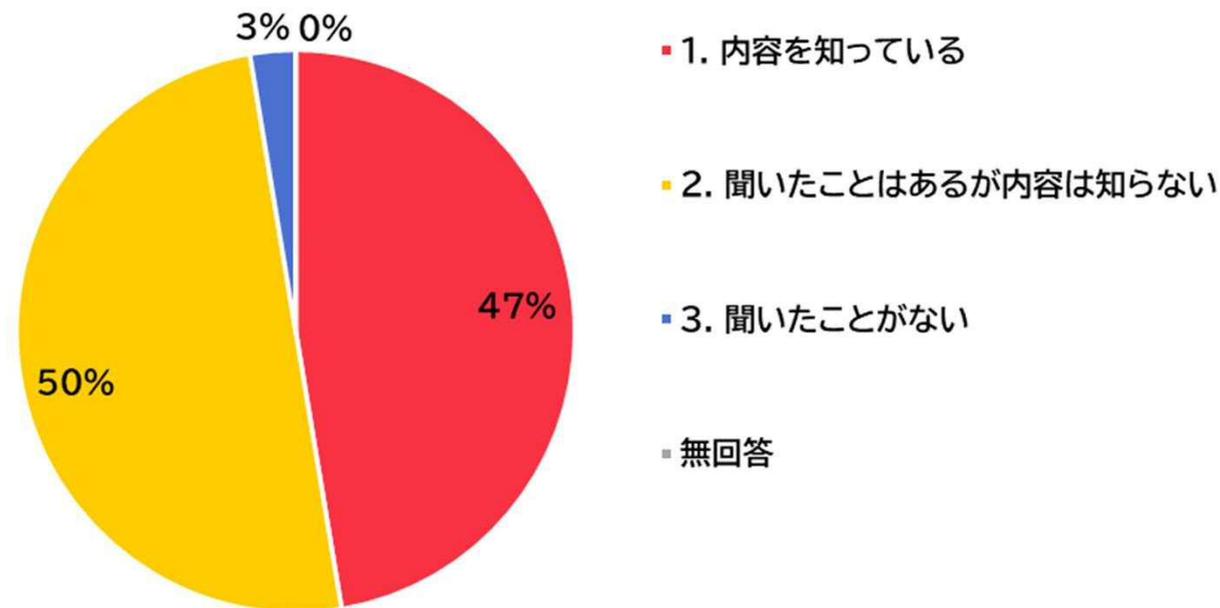
Q3:長野県が2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにすることを目指す「気候非常事態宣言 -2050ゼロカーボンへの決意-」について、宣言したことをご存知ですか？お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)



# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

「パリ協定」について、回答した事業者の97%が「内容を知っている」、「聞いたことがある」と回答している。

Q4:「パリ協定」についてご存知ですか？お聞かせください。  
(1つだけ○をしてください。)

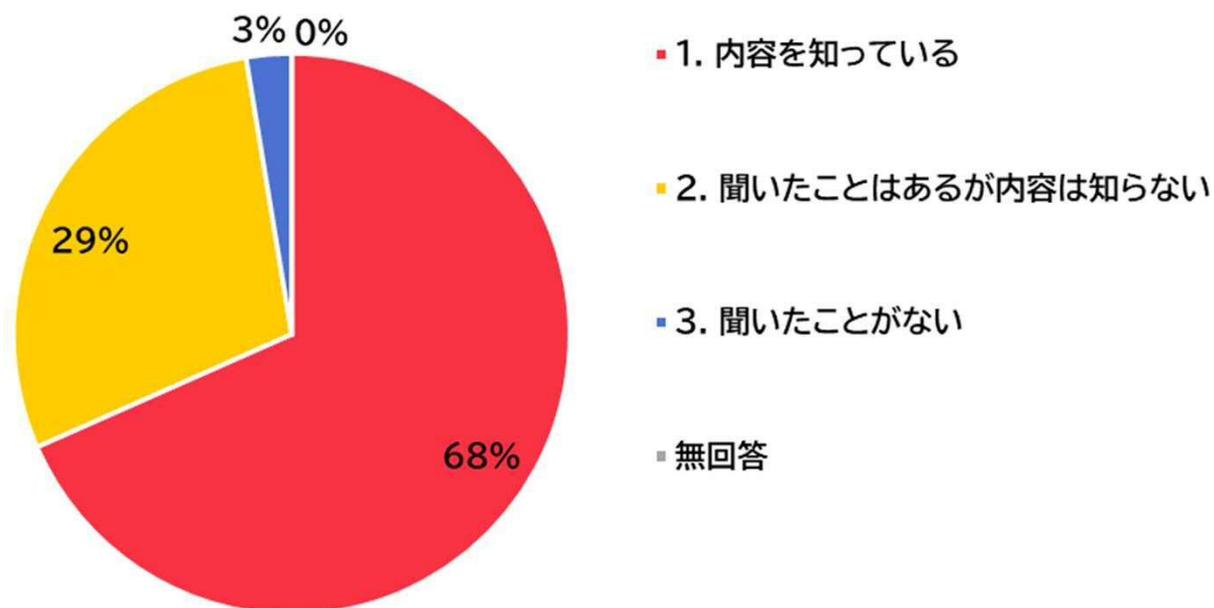


# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

「SDGs」について、回答した事業者の97%が「内容を知っている」、「聞いたことがある」と回答している。その中でも68%の事業者がSDGsの内容を知っている。

Q5:あなたは「SDGs※」について、ご存知ですか？お聞かせください。(1つだけ選択)

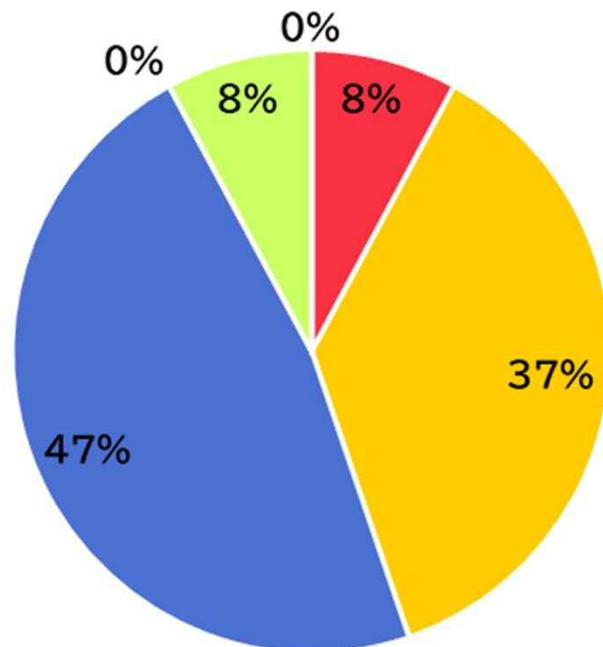
※「SDGs」:2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。  
17のゴール・169のターゲットから構成されています。



# 1. 地球温暖化や地球環境の保全について

日常生活の利便性と地球環境の保全との関係については、全体の約92%が地球環境の保全の必要性を感じている。

Q6: 私たちの生活の利便性と地球環境の保全との関係について、どのようにお考えですか？お聞かせください。(1つだけ選択)

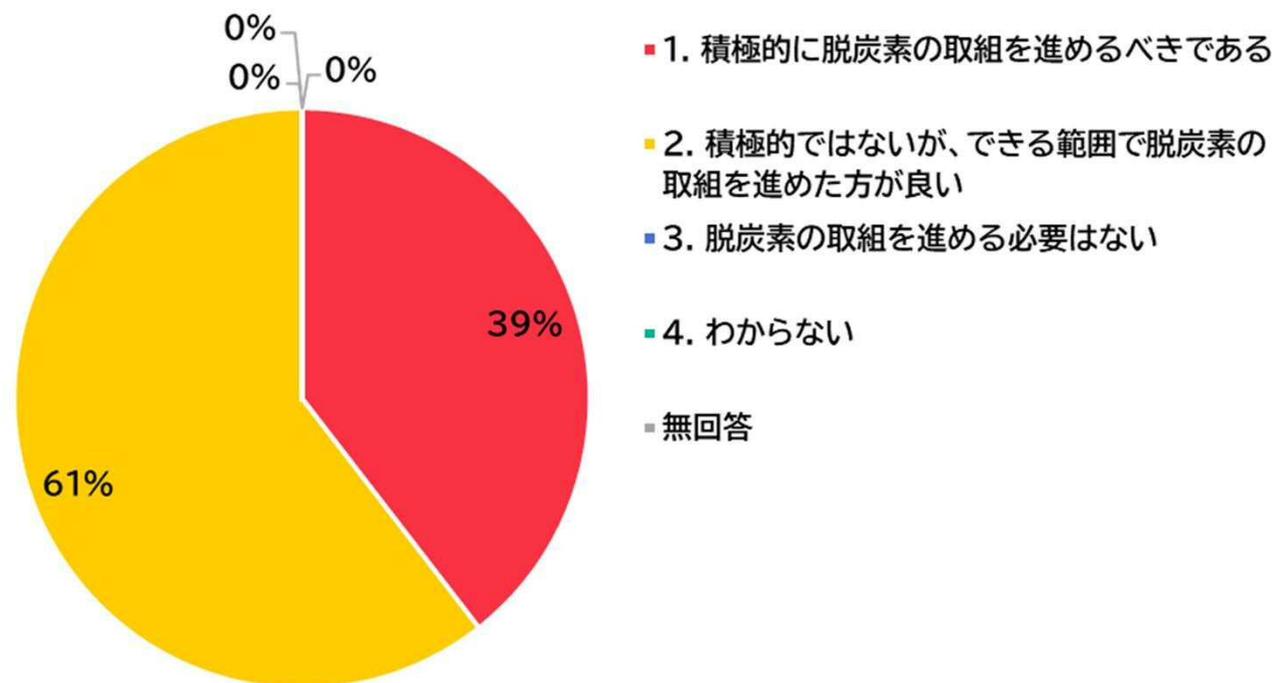


- 1. 現在の利便性を犠牲にしても、地球環境の保全を最優先に行う必要がある
- 2. 現在の利便性を低下させても、地球環境の保全を行う必要がある
- 3. 現在の利便性を変えない範囲で、地球環境の保全を行う必要がある
- 4. 地球環境の保全よりも、利便性を向上させる方が重要である
- 5. わからない
- 無回答

## 2. 脱炭素の取組の必要性について

脱炭素に関する取組は、回答した全事業者が取組の必要性を感じている。その中でも39%が「積極的に脱炭素の取組を進めるべきである」と回答している。

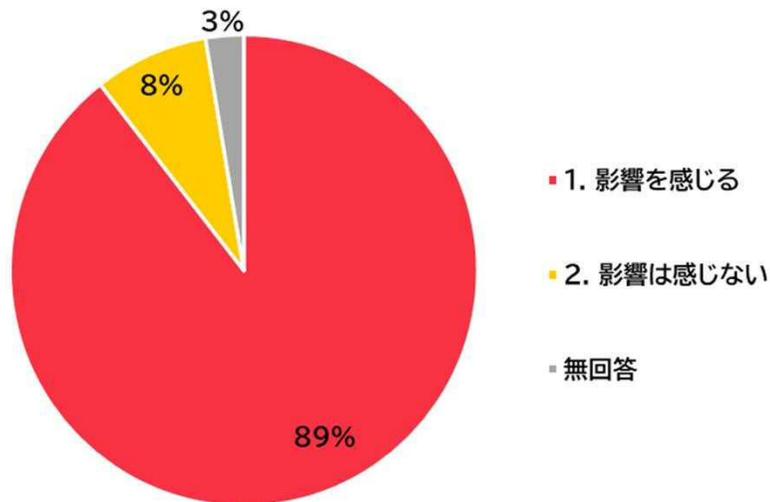
Q7:地球温暖化の主な要因は二酸化炭素の増加と言われています。脱炭素に関する取組について、どのように進めていくべきだとお考えですか。(1つだけ選択)



## 2. 脱炭素の取組の必要性について

回答した事業者の87%が地球温暖化や気候変動の影響を感じており、そのうち気候変動の変化を感じるには、自由記述より、「気温の上昇」、「集中豪雨等の発生」などである。

Q8:生活の中で地球温暖化や気候変動の影響を感じることがありますか。



### 【自由記述】

#### ■気温

- ・気温の上昇
- ・夏場の平均気温の上昇、猛暑
- ・暑い季節の長期化

#### ■降雨について

- ・ゲリラ豪雨、集中豪雨の多発。
- ・雨の降り方が極端(集中豪雨と旱魃)

#### ■降雪

- ・豪雪の発生
- ・初雪の時期が年々おそくなったり、また大寒の頃に雨が降るなど、昔にはなかったと思います。スキー場があるこの地域では雪は絶対に必要です。また、少雪の年は夏場に水田にかかる水も不足します。大雪の年もありますが、明らかに年々暖冬化が進んでいることにまちがいないと思います。

#### ■その他

- ・災害が多発
- ・昔に比べて、気候が冬と夏しか無い感じがする。夏の暑さが半端でない。集中豪雨やドカ雪が多すぎる。
- ・気候の変化を感じる。四季の移ろいが急激であること
- ・ミツバチがほとんど飛んでいないので夏野菜が受粉しづらい(ズッキーニが顕著である)。オヤマボクチの畑での収穫量も15年前からだいぶ減ってきている。冷涼な気候を好む為である。標高の高い場所へ移動も考えざるをえない。
- ・農産物の栽培適正北限(緯度)の北上

## 2. 脱炭素の取組の必要性について

Q9: 気候変動や地球温暖化、脱炭素への取組の必要性などについて、御意見があれば自由にお書きください。(自由記述)

【気候変動・地球温暖化の影響(脱炭素への取り組み)】

- ・地球温暖化対策のひとり1人の意識を高める
- ・物流を考えると脱炭素は難しい
- ・未来の地球や災害を減らす上でも、何かしらの対策は必要だと思います。
- ・地球を永遠のものにする為、絶対必要である。
- ・農業廃棄物(使用後のマルチなど)の処分方法の周知徹底すべき。市内のお年寄り全般に言えるが、ゼロカーボンへの意識が低いと感じる。子供の方が学校教育に取り入れられていたりしている分、知識を持っている。行政のきまりとしてゼロカーボンに向けた法整備の必要性を感じる。
- ・食品メーカーにとって原料農産物の安定調達は大きな課題となっている。地球温暖化や気候変動により原材料相場や原材料不足に影響が出ており、上記取組の必要性は大きいと思う。
- ・国や自治体レベルのおおきな取り組みも重要ですが、個人でもできることはたくさんあると思います。たとえば①電九の契約を再エネ電気を利用している会社に変える、②プラスチック製品の購入・利用を減らす、③太陽光発電を取り入れてみる。まだまだ個人で出来ることはあると思いますので、取り組みも大切ですが個人の取組みも大切だと思います。
- ・孫・子の事を考えると早急の取組が必要と感じる
- ・脱炭素社会やカーボンニュートラルなどスローガンや宣言だけでは、地球温暖化、気候変動は止められません。もっと具体的に何をどうすすめるのか、国や自治体は国民に示していくべきだと思います。再生エネルギー政策をもっと前進させてほしいと思います。

## 2. 脱炭素の取組の必要性について

Q9: 気候変動や地球温暖化、脱炭素への取組の必要性などについて、御意見があれば自由にお書きください。(自由記述)

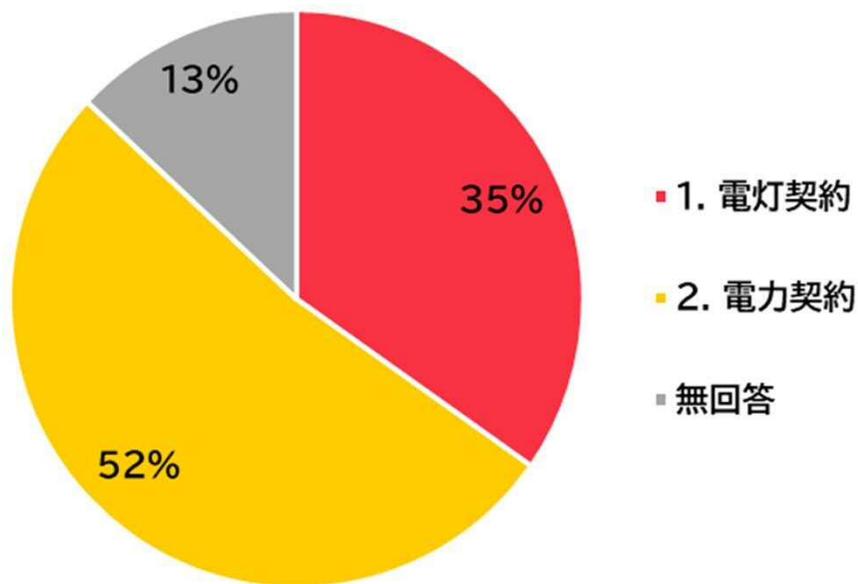
【気候変動・地球温暖化の影響(脱炭素への取り組み)】

- ・便利な生活、楽な暮らし(車、掃除機、暖房器材)の影には排出されるガスの悪英字用。これが大災害や異常気象になっているかと思うと恐い。
- ・雪国では難しいのですが、太陽光発電などをもっと進めるべきかと思えます。
- ・現在の利便性を犠牲にせず、GXの観点から地球環境の保全を最優先に行う必要がある
- ・ごみ回収や分別の手間を減らす意識の浸透(汚れたプラは洗うなど)、感染症対策と言って換気しながらの暖房や冷房をかけることをなくす、業務用空気清浄機が安価に利用できるとよい
- ・大企業や政治家が正しいことをきちんと考えて行動をするべき

### 3.エネルギー(電気・LPガス・灯油)の使用状況について

Q10の問いにて、「電灯契約」「電力契約」の単位を逆に記載としてしまったため、関連するQ10,Q11,Q12については分析対象外とする。

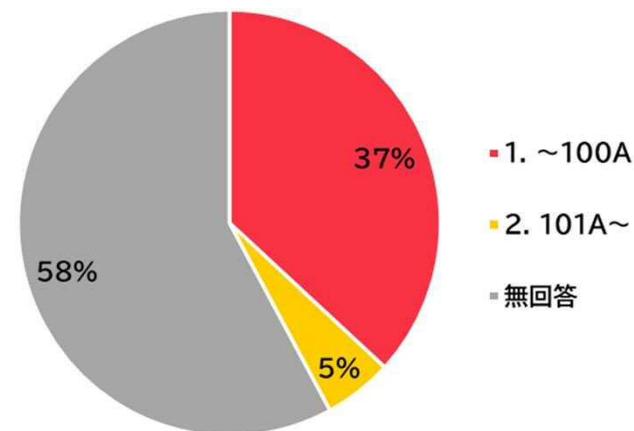
Q10:電力の契約の種類について、教えてください。(該当するものすべてに○をしてください。)



Q11:Q10で1を選択された場合、契約電力量をお聞かせください。



Q12:Q10で2を選択された場合、契約アンペア量をお聞かせください。

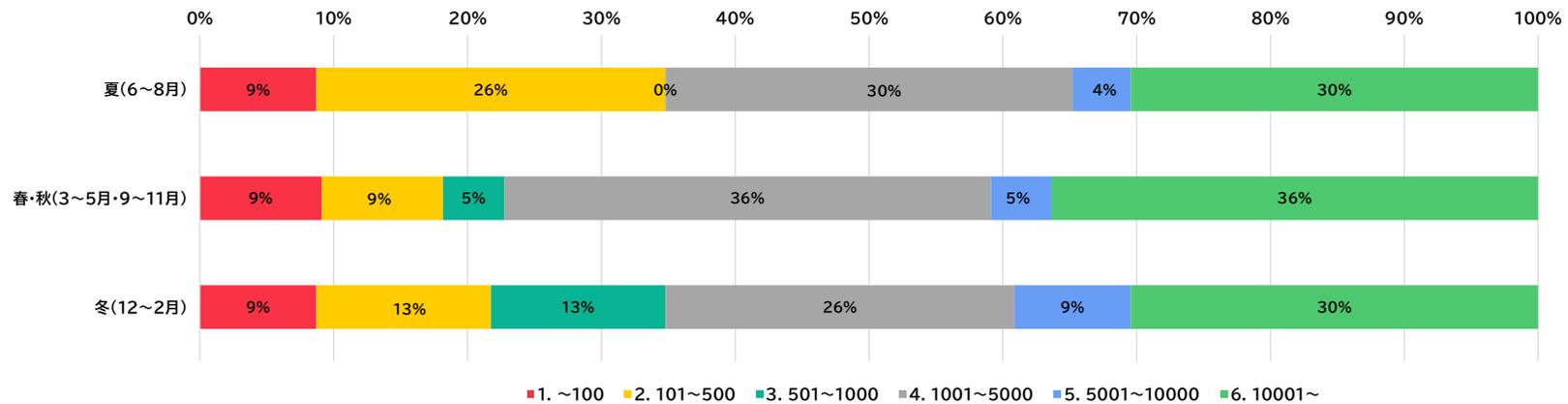


### 3.エネルギー(電気・LPガス・灯油)の使用状況について

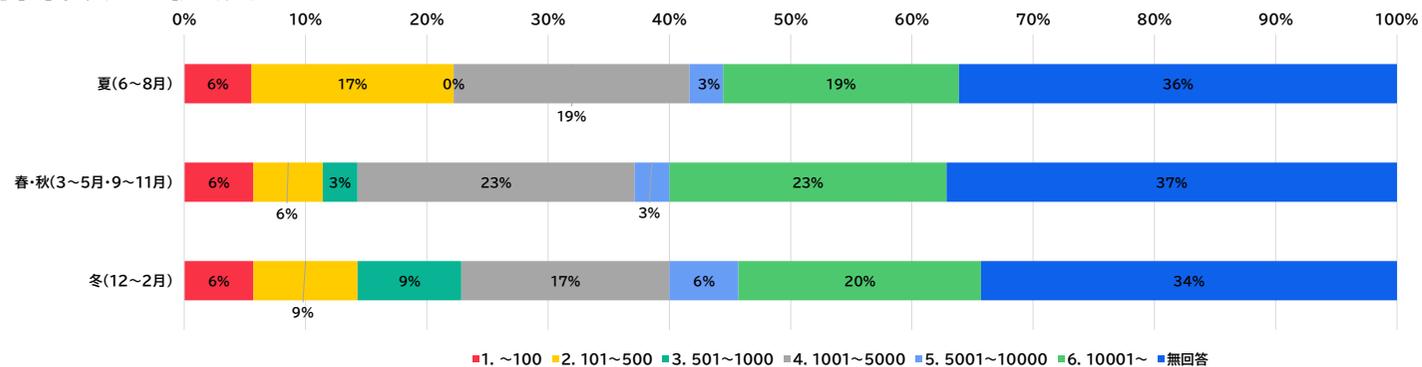
1001~5000kWh/月、10000kWh/月以上の電力を消費する事業者が多い。また、夏期は、101~500kWh/月の電力を消費する事業者数が春・秋、冬に比べて多い傾向である。

Q13:電力の月間消費量(kWh)をお聞かせください。

■無回答を除いた結果 (夏:n=16、春・秋: n=14、冬: n=16)



#### 【参考】全回答数の状況



### 3.エネルギー(電気・LPガス・灯油)の使用状況について

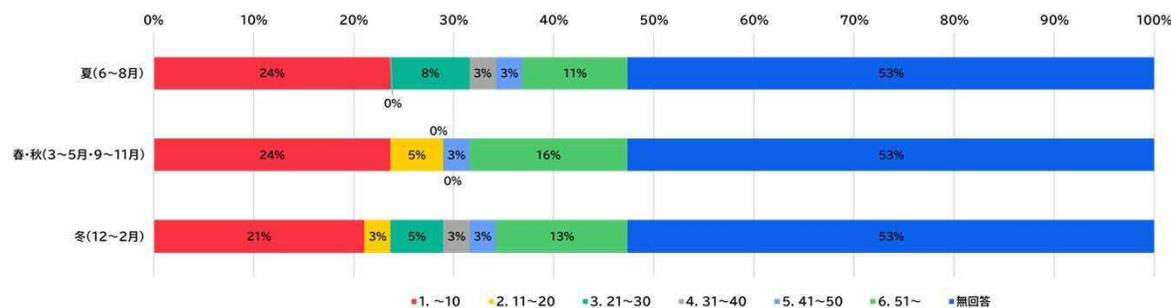
いずれの季節においてもLPガスの月間消費量は10m<sup>3</sup>以下が最も多い。また、電力消費量と比べて季節変動はそれほど大きくない。

Q14:LPガスの月間消費量(m3)をお聞かせください。

■無回答を除いた結果 (夏:n=14、春・秋: n=12、冬: n=13)



#### 【参考】全回答数の状況

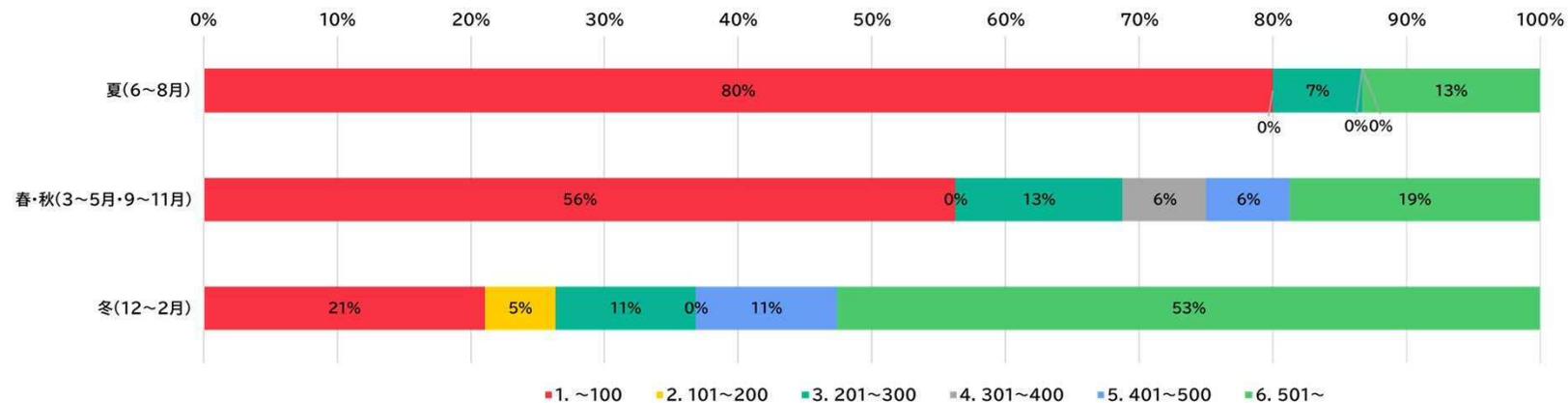


### 3.エネルギー(電気・LPガス・灯油)の使用状況について

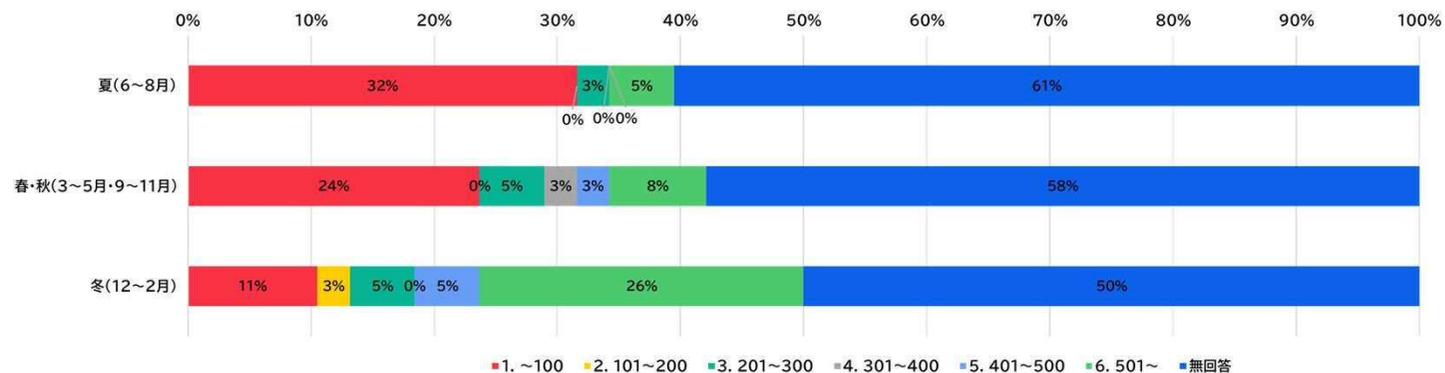
灯油の月間消費量は冬期が最も大きい。夏において100L未満消費する事業者が多くを占める。

Q15:灯油の月間消費量(リットル)をお聞かせください。

■無回答を除いた結果 (夏:n=13、春・秋: n=13、冬: n=19)



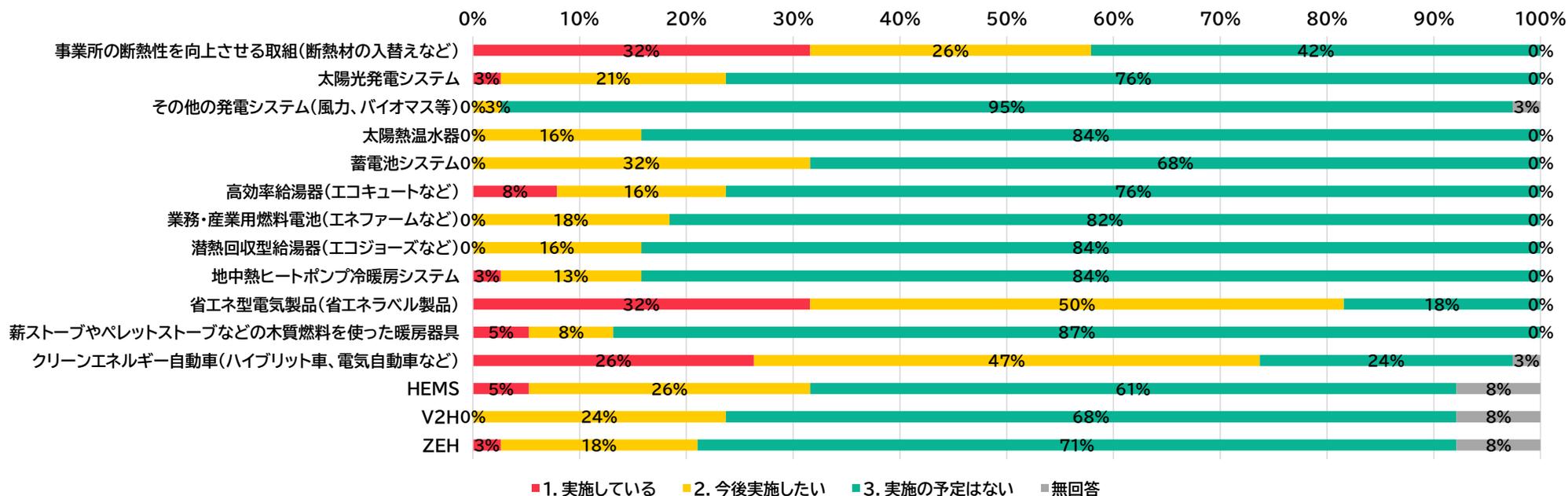
#### 【参考】全回答数の状況



## 4. 省エネ機器・設備等の保有状況について

回答した事業者のうち、断熱性の向上の取組導入、省エネ型電気製品の購入が32%と高く、今後実施したいと考えている取組は、省エネ型電気製品50%、クリーンエネルギー自動車47%と高い。一方、太陽光発電、その他発電システムの、普及率や今後の導入取組の比率は低い。

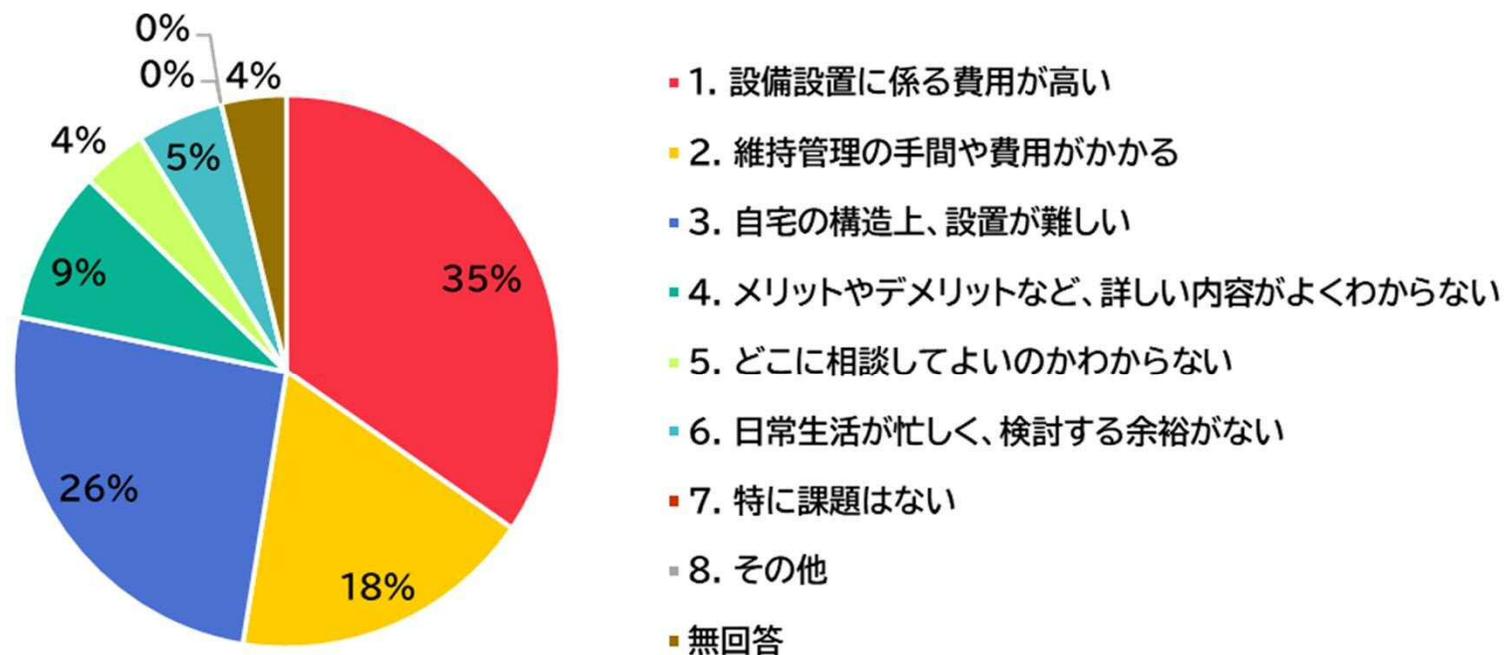
Q16:現在、貴事業所において、省エネ設備や再エネ設備等を導入されていますか？  
それぞれ、あてはまる番号に○をしてください。



## 4. 省エネ機器・設備等の保有状況について

省エネ・再エネ設備導入の課題は、「経費が高い」と「維持管理の手間や費用がかかる」で53%と半数以上を占めており、26%が「事業所の構造上、設置が難しい」と回答している。

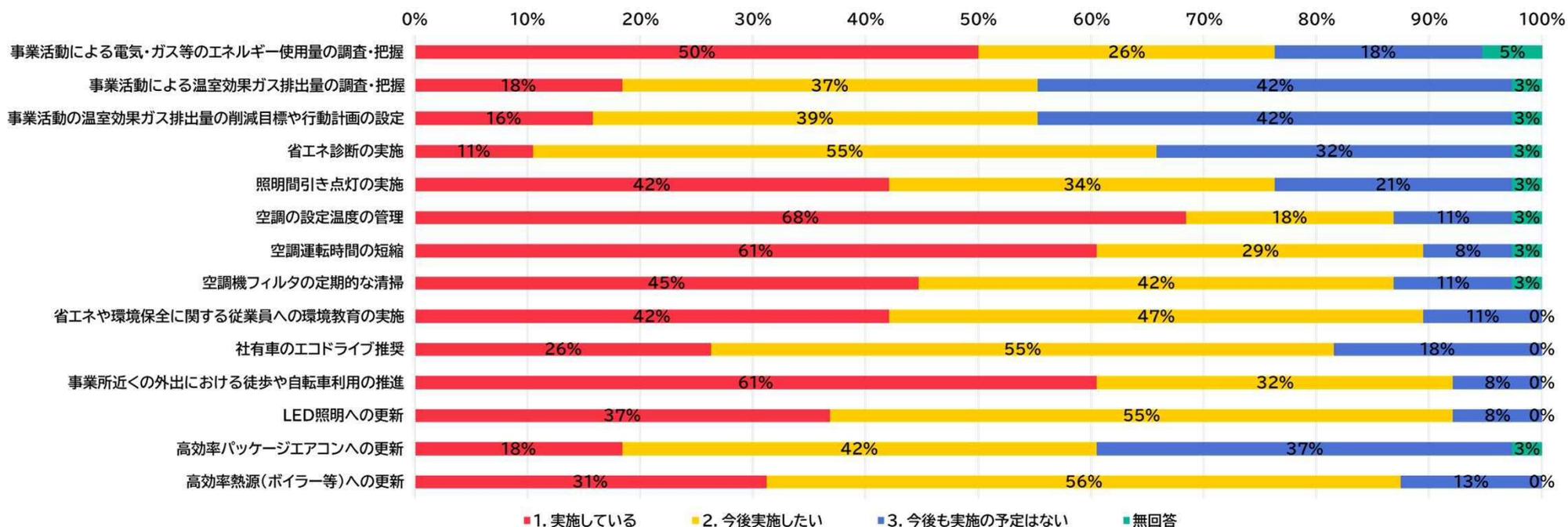
Q17: 貴事業所に省エネ設備又は再エネ設備を導入する場合に、課題があればお聞かせください。(該当するものをすべて選択)



## 5. 省エネ行動について

回答した事業者のうち、省エネ行動の取り組みは、「空調の設定温度の管理（68%）」、「空調運転時間の短縮（61%）」、「徒歩や自転車利用の推進（61%）」の比率が多く、一方、「省エネの診断」は16%と低い。

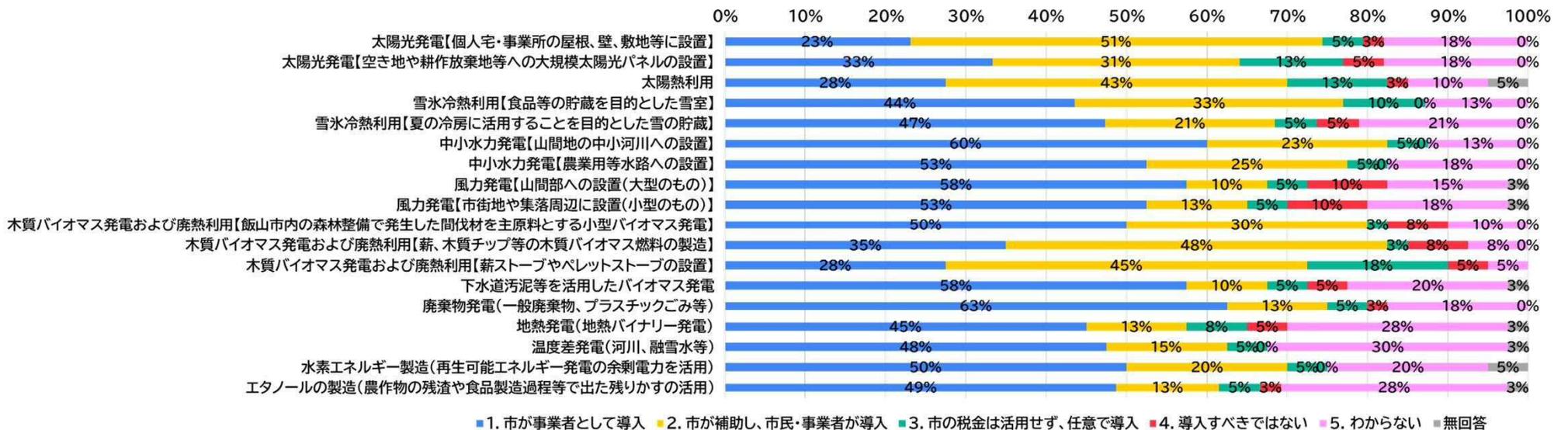
Q18: 貴事業所において、省エネ行動に取り組んでいることについて、お聞かせください。(それぞれ選択)



## 6. 再生可能エネルギーの導入について

導入を進めるべき再生可能エネルギーは、廃棄物発電、下水道汚泥を活用したバイオマス発電、中小水力発電等の意見が多い。再生可能エネルギー各項目とも回答した事業者の50%以上が導入を進めるべきと回答しており、導入の主体は、50%以上の事業者が「市が導入」、または、「市が補助し、市民・事業者」と回答している。導入すべきでないものは風力発電(大型・小型)が最も多い(10%)。

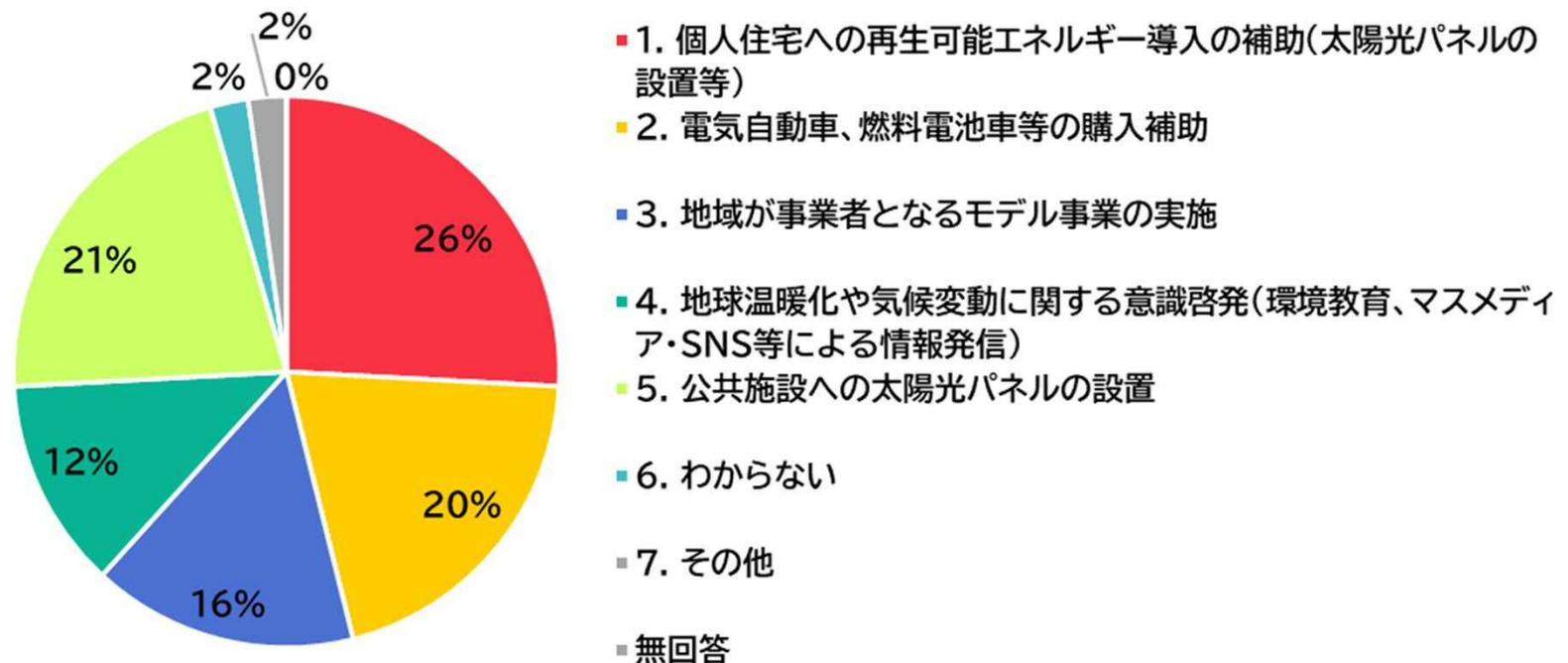
Q19:今後、飯山市ではどのような「再生可能エネルギー」等の導入を進めるべきだと思いますか。該当するものすべてに○をしてください。



## 6. 再生可能エネルギーの導入について

再生可能エネルギーの推進するための市の取り組みは、「個人住宅への再生可能エネルギー導入の補助(26%)」が最も多く、次いで「電気自動車や燃料電池車等の購入補助(20%)」となっているが、その他の取り組みも比率に大きな差がない。

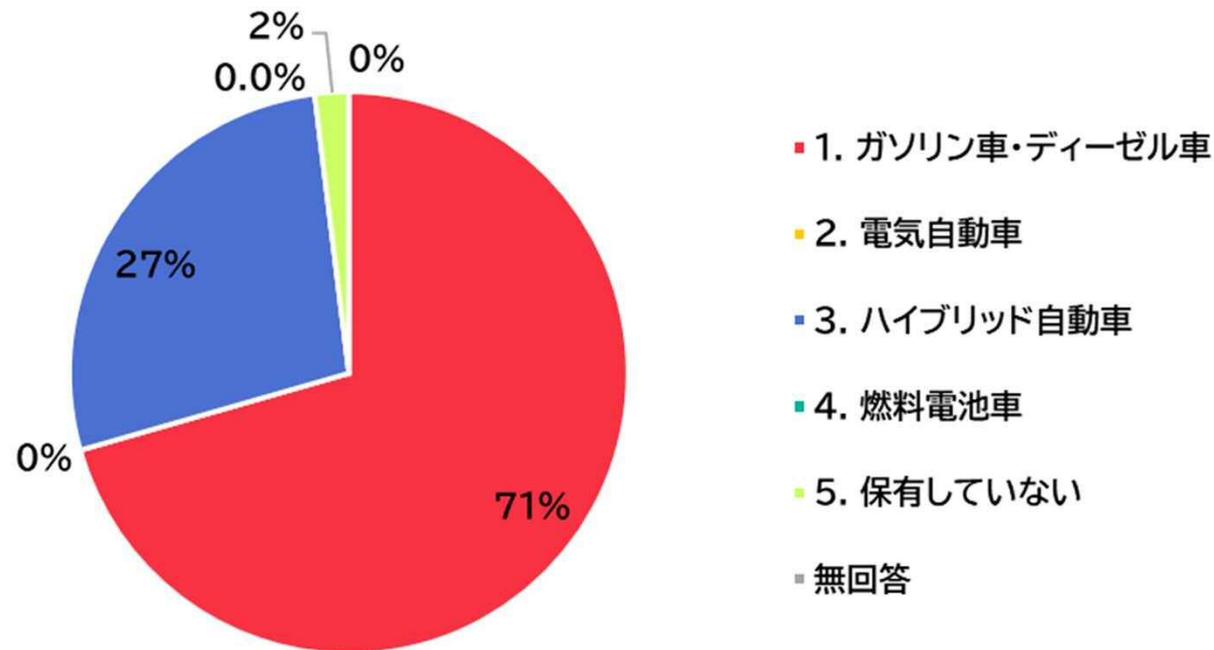
Q20:再生可能エネルギーの推進に当たり、市が取り組む必要があると思われることを、お聞かせください。(該当するものをすべて選択)



## 7. 各事業所で所有している自動車について

回答した事業者のうち、98%が自動車を所有しており、そのうち、ガソリン車・ディーゼル車が71%、ハイブリッド自動車が27%で、電気自動車は0%であった。

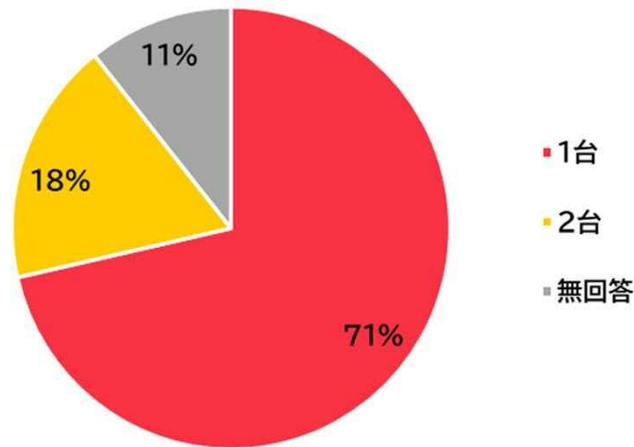
Q21: 貴事業所で保有している自動車の種類について、お聞かせください。  
(該当するものをすべて選択)



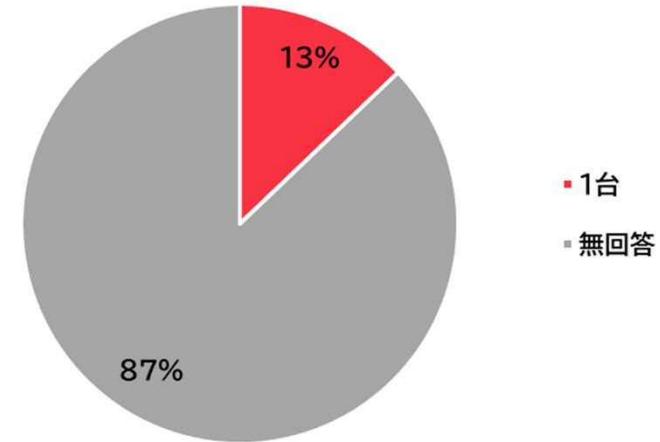
## 7. 各事業所で所有している自動車について

Q21-2:あなたの貴事業所で保有している自動車の種類について、お聞かせください。  
(保有台数を記入)

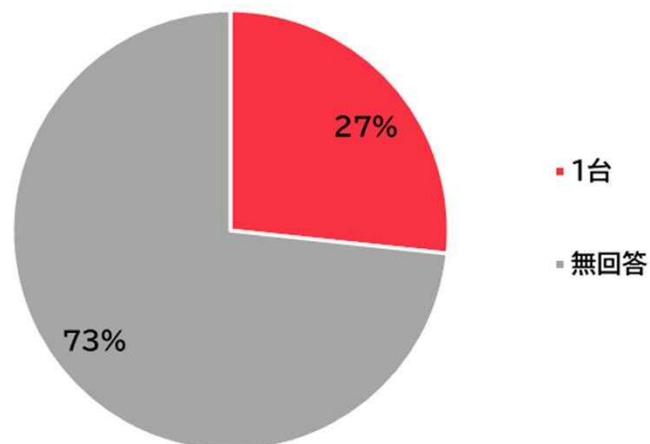
ガソリン車・ディーゼル車



電気自動車



ハイブリッド自動車



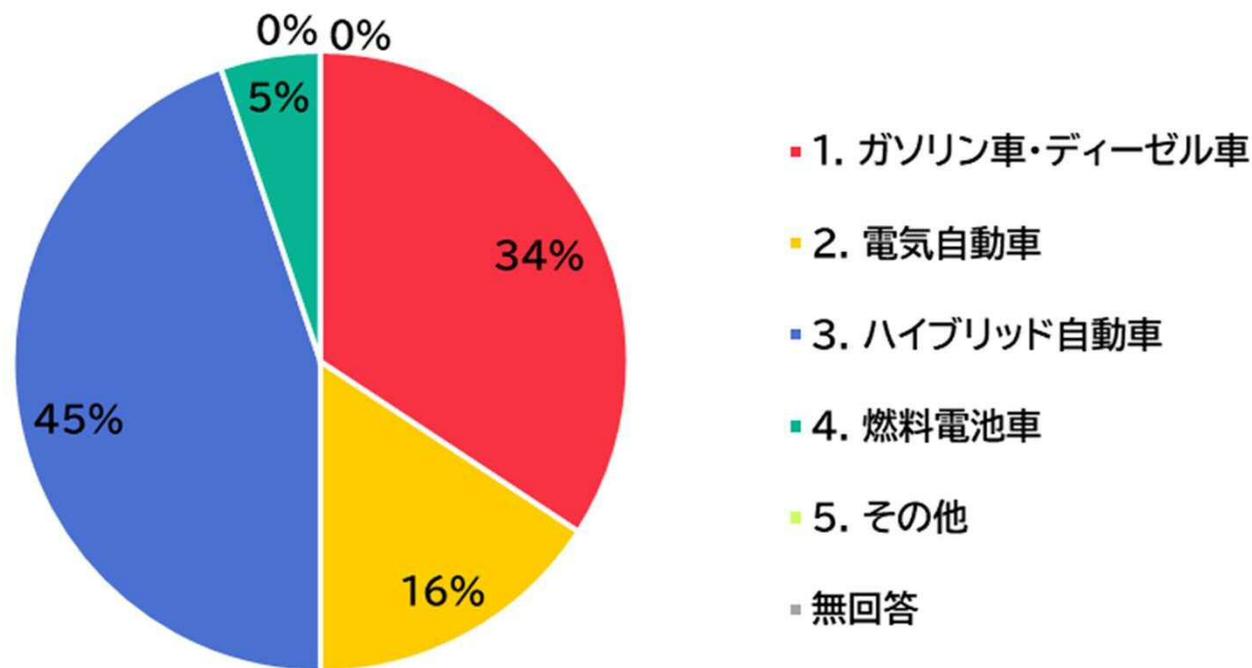
燃料電池車

回答なし

## 7. 各事業所で所有している自動車について

今後、買い替えを希望する自動車については、電気自動車、ハイブリッド自動車、燃料自動車への買い替えが66%、そのうちハイブリッド自動車が45%と最も多い、ガソリン車・ディーゼル車は34%であった。

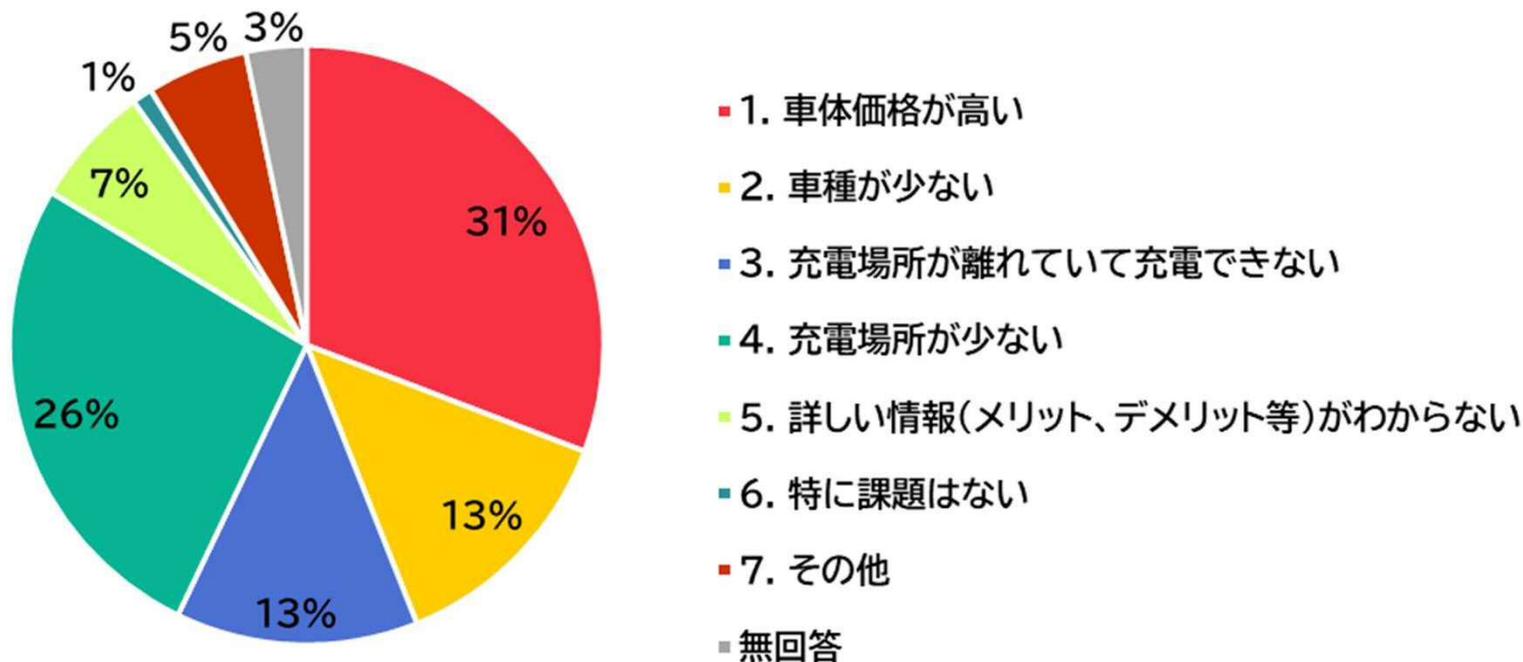
Q22:今後、買い替えを希望する自動車の種類について、お聞かせください。  
(主に検討しているものを1つだけ選択)



## 7. 各事業所で所有している自動車について

電気自動車導入の際の課題は、「車体価格が高い(31%)」、「充電場所が少ない(26%)」が上位に挙げられた。

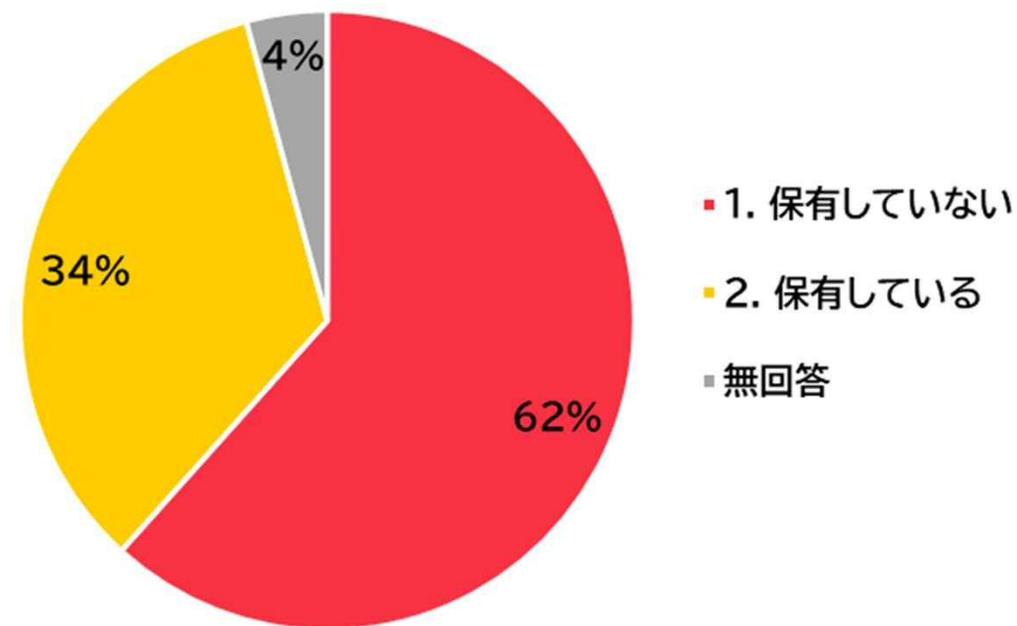
Q23:電気自動車を導入する場合に、課題があればお聞かせください。  
(該当するものをすべて選択)



## 8. 各事業所で所有している農業機械について

回答した事業者のうち39%が農業機械を保有している。

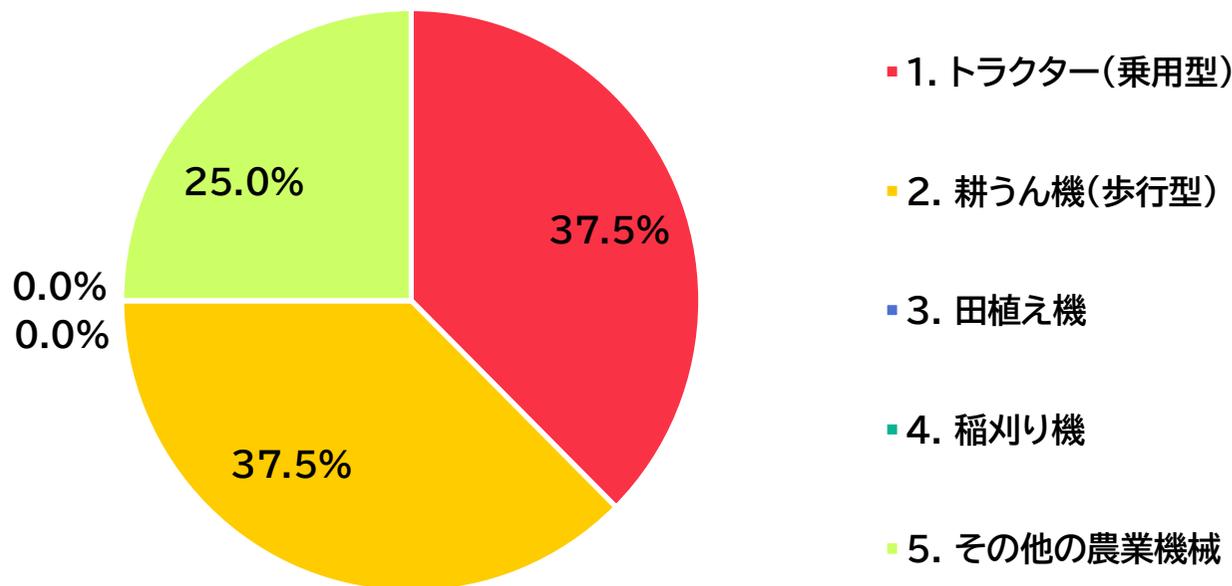
Q24:貴事業所で農業機械を保有していますか。



## 8. 各事業所で所有している農業機械について

回答した事業者が保有している農業機械は「トラクター(乗用型)(37.5%)」「耕うん機(歩行型)(37.5%)」で大半を占めている。

Q25-1:事業所で保有している農業機械の種類について、お聞かせください。



## 8. 各事業所で所有している農業機械について

回答した事業者が所有している農業機械のうち、トラクター、耕うん機を所持している事業者が約67%が1台以上所有している。また、田植え機と稲刈り機を保有している事業所はない。

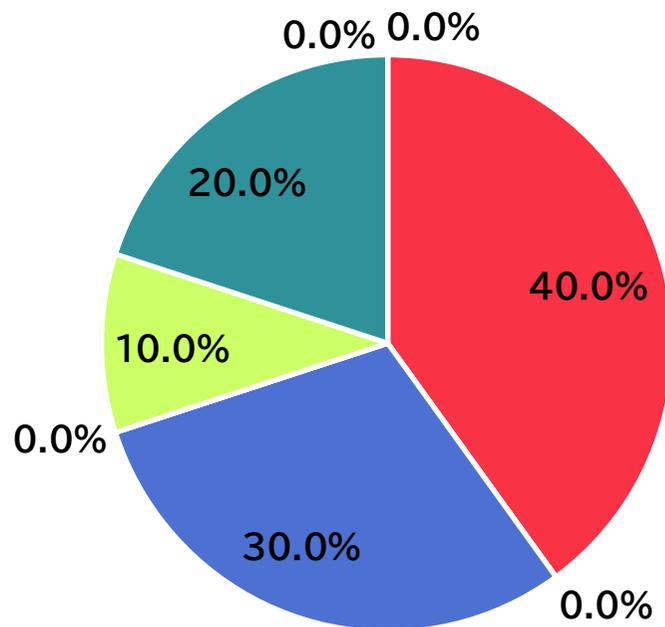
Q25-2:貴事業所で保有している農業機械の台数について、お聞かせください。

	1台	2台	3台
トラクター(乗用型)	67%	33%	0%
耕うん機(歩行型)	67%	33%	0%
田植え機		保有していない	
稲刈り機		保有していない	
その他の農業機械	0%	0%	0%

## 8. 各事業所で所有している農業機械について

電気農業機械導入の際の課題は、「車体価格が高い(40%)」、「馬力が足りない(30%)」が上位に挙げられた。

Q26:今後、電気農業機械を導入する場合に、課題があればお聞かせください。  
(該当するものすべてに○をしてください。)

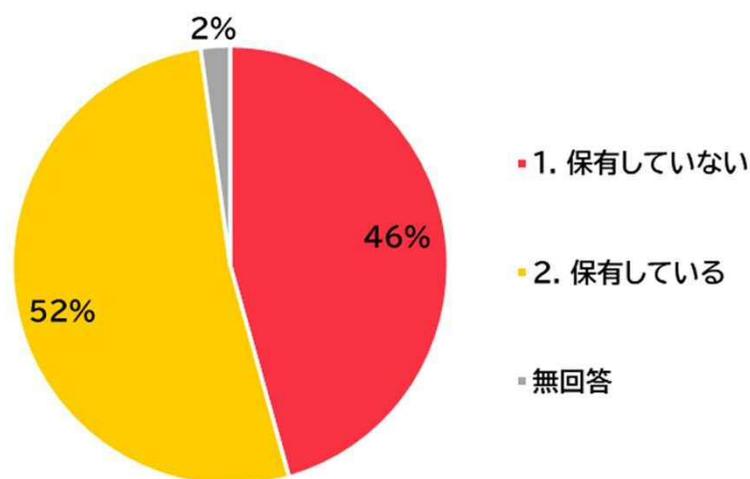


- 1. 車体価格が高い
- 2. 車種が少ない
- 3. 馬力が足りない
- 4. 充電場所が離れていて充電できない
- 5. 充電場所が少ない
- 6. 詳しい情報(メリット、デメリット等)がわからない
- 7. 特に課題はない
- 8. 自由記述

## 9. 各事業所で所有している除雪・融雪設備について

回答した事業所の半数以上(52%)が除雪機を保有している。また、所有している除雪機は10馬力以下が50%、11馬力~20馬力が50%であった。

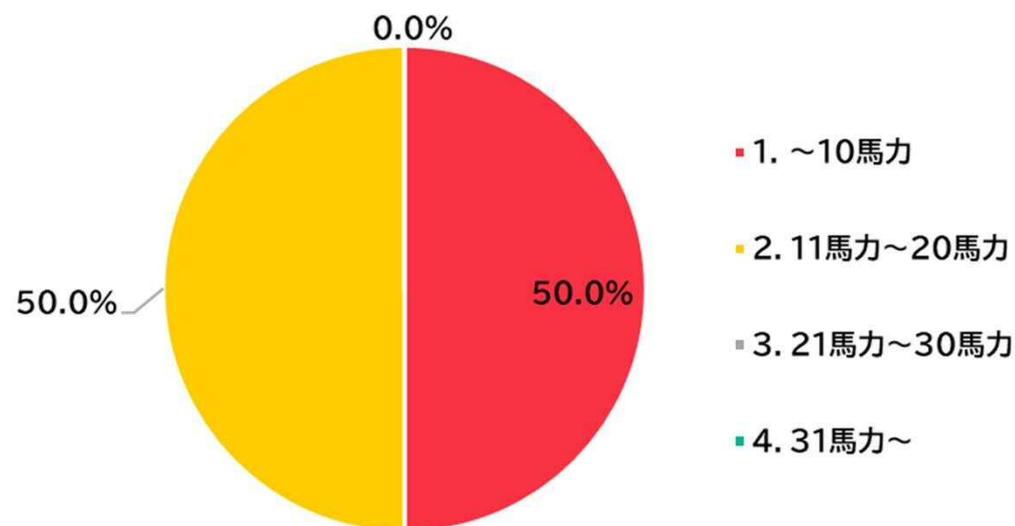
Q27-1: 貴事業所で保有している除雪機について、お聞かせください。



### 【その他の除雪機】

- ・ホイールローダー
- ・タイヤドーザー

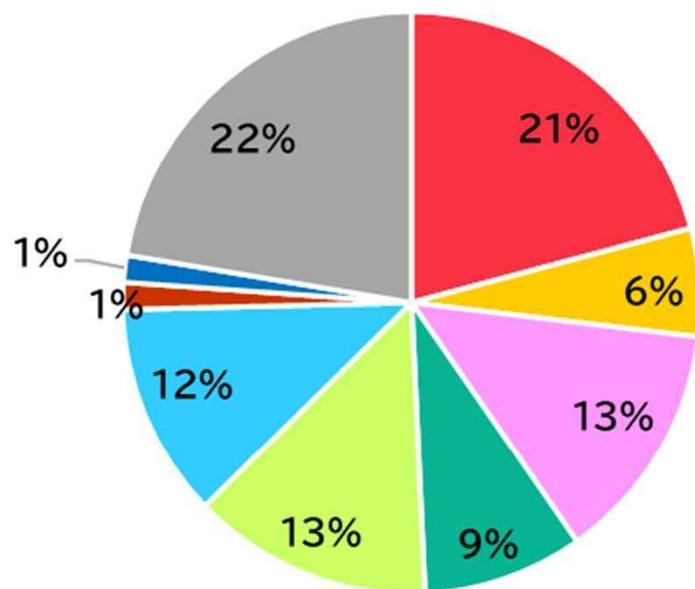
Q27-2: 貴事業所で保有している除雪機について、馬力をお聞かせください。



## 9. 各事業所で所有している除雪・融雪設備について

電気除雪機導入の際の課題については、「車体価格が高い(21%)」、「馬力が足りない(13%)」、「充電場所が少ない(13%)」が、「詳しい情報がわからない(12%)」の順で挙げられた。

Q28: 今後、電気除雪機を導入する場合に、課題があればお聞かせください。  
(該当するものすべてに○をしてください。)



- 1. 車体価格が高い
- 2. 車種が少ない
- 3. 馬力が足りない
- 4. 充電場所が離れていて充電できない
- 5. 充電場所が少ない
- 6. 詳しい情報(メリット、デメリット等)がわからない
- 7. 特に課題はない
- 8. その他
- 無回答

【その他】  
・目的に合った物ができていない

## 9. 各事業所で所有している除雪・融雪設備について

回答した事業所のうち、融雪設備を導入しているのは、屋根融雪は灯油をエネルギー源とする事業所が23%と最も多く、路面融雪については電気が約26%と灯油の13%を上回っている。

Q29:貴事業所で導入されている融雪設備の種類についてお聞かせください。また、導入している融雪設備のエネルギー源についてお聞かせください。(該当するものすべてに○をしてください。)

	1. 電気	2. 灯油	3. ガス	4. その他
屋根融雪	21%	64%	0%	14%
路面融雪(散水含む)	42%	21%	0%	38%
その他	0%	0%	0%	100%

### 【その他】

- ・ 地下水汲み上げ消雪スプリンクラー

## 10. 地球温暖化対策について

回答した事業所が思う地球温暖化対策として必要な社会的取組は、「太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める(22%)」と最も多く、その他の対策には差が少ない結果となった。

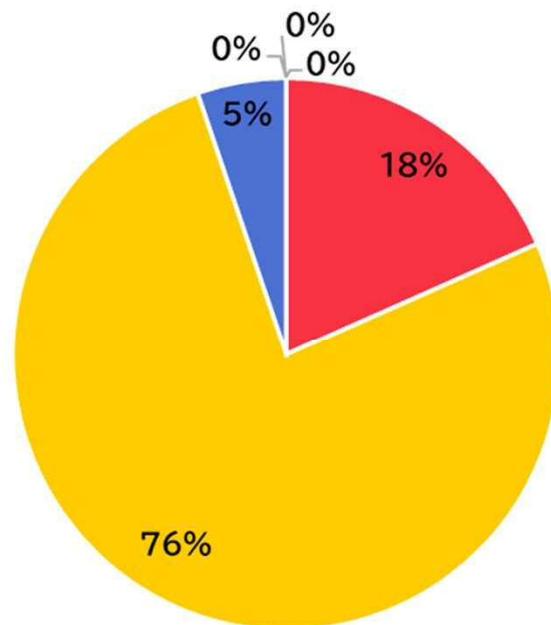
Q30:地球温暖化対策を目的とした社会的な取組として、どのようなものが必要であると思いますか？お聞かせください。(3つまで○をしてください。)



## 10. 地球温暖化対策について

回答した事業所の多くが「市の財政に大きな負担とならない範囲で、推進すべきである(76%)」と回答している。

Q31:飯山市はどのような方針で環境問題やエネルギー対策に取り組むべきだと思われるか、お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)

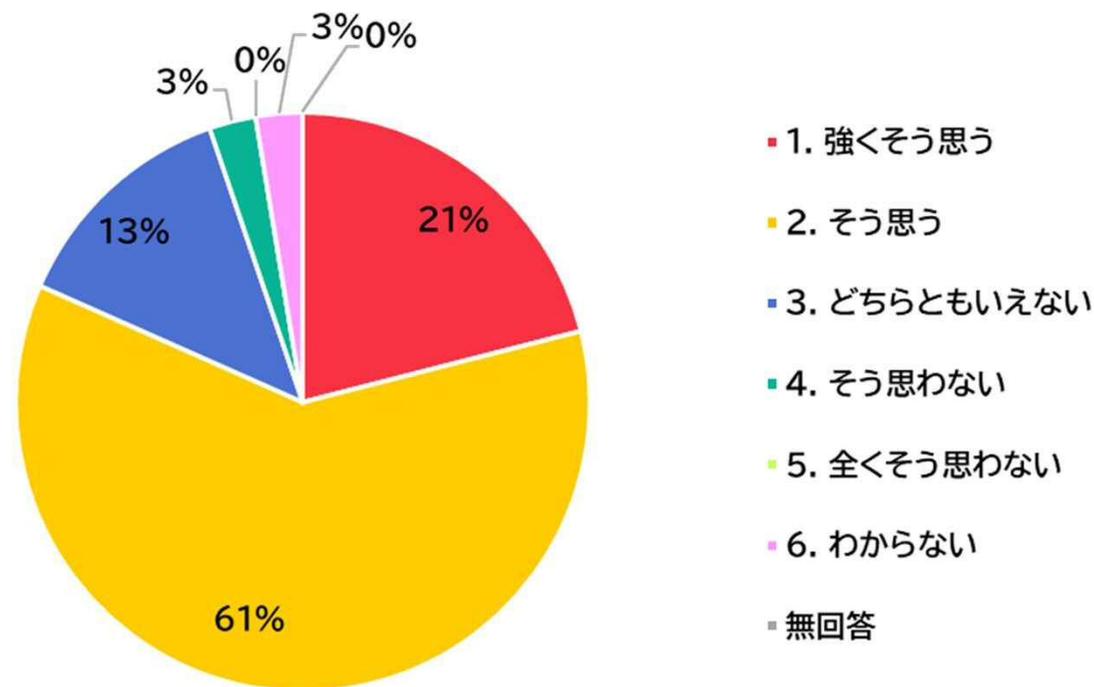


- 1. 大きな費用がかかっても、積極的に推進すべきであるエネルギー対策
- 2. 市の財政に大きな負担とならない範囲で、推進すべきである
- 3. 市は財政負担を負わず、主に民間活力を活かしながら推進すべきである
- 4. 取り組む必要はない
- 5. その他
- 無回答

## 10. 地球温暖化対策について

回答した事業所の多く(82%)が環境問題やエネルギー対策に取り組むことがより良いまちづくりにつながると考えている。

Q32:飯山市が環境問題やエネルギー対策に取り組むことがよりよいまちづくりにつながると思われるか、お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)



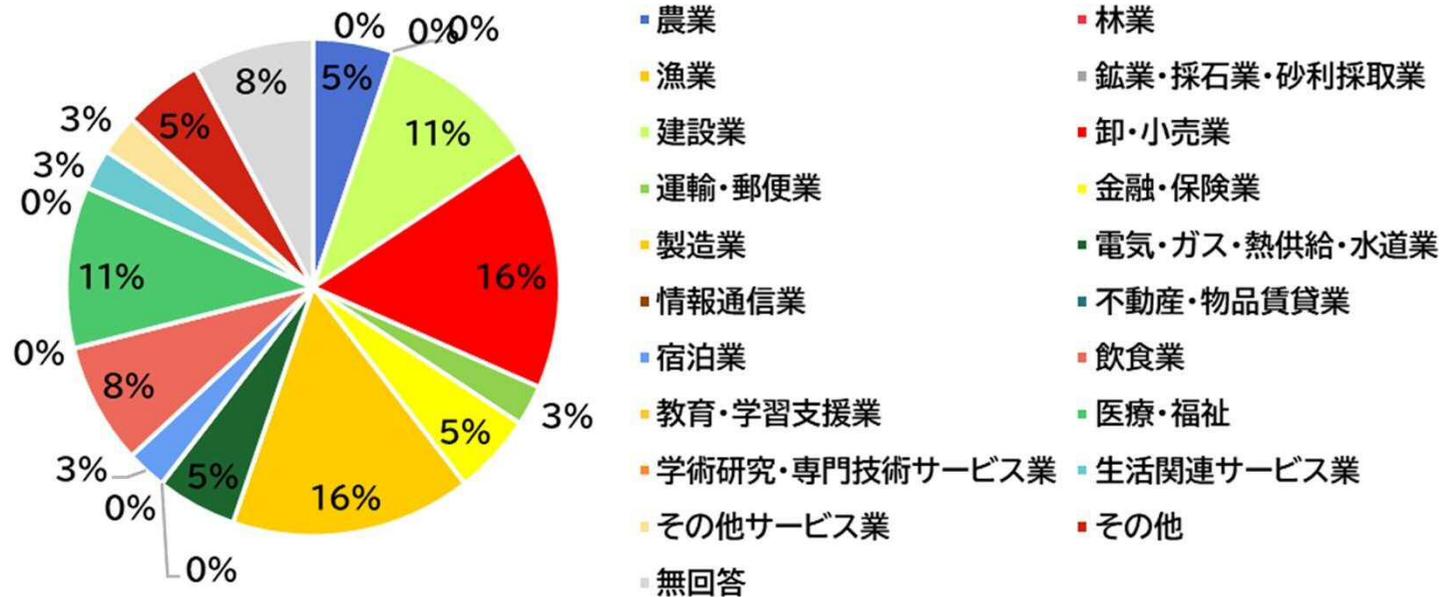
# 10. 地球温暖化対策について

Q33:飯山市の環境・エネルギー政策に対するご提案、ご意見などがあればお聞かせください。

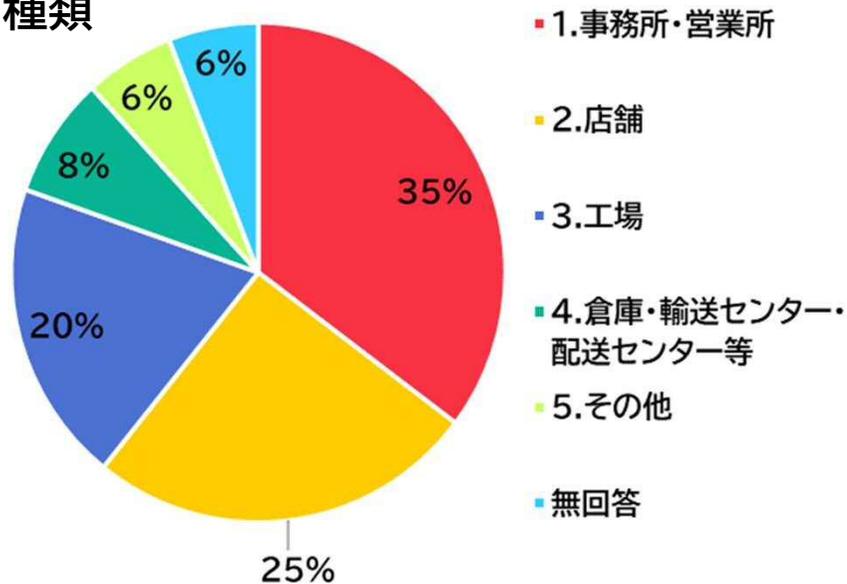
- ・無駄な税金の使い方をやめる様、国に言う。物価、消費税等、市民の負担が増えるばかりで生活が厳しく、環境に頭を使う余裕がなくなっている。軍事費、GDP2%等、アメリカのいいなりになっている。政府に物申すべきである。国民の生活安定無くして、環境問題なんてナンセンス！
- ・今回のアンケート結果について、結果がどうだったか知りたいです。(報告出来る範囲で構いません) ご検討をお願いします。
- ・農業等、第一次産業を見直す事が第一歩。駅前ホテルに5億円もかけず地球温暖化対策や人口減少の歯止め等々に活用して欲しい。
- ・雪を利用した冷房を考えてはどうでしょう。初期投資にお金は何倍もかかるかもしれませんが雪はただです。
- ・冬暖かく(部屋が)なれば、ヒートショック等、心臓、脳の病気が減るのでは。断熱建材を！ 歩いて通勤(1駅歩く)、職場で体操などの為(自転車・歩いて)時間をとる業態に。始業時間を15分おくらせ、車通勤を減らす。
- ・ゴミ焼却場があ場所にある事が省エネに返している様な気がします、如何でしょうか。
- ・雪国にあったエネルギー生成などをすべき。
- ・市の施設を出来るだけ太陽光などのエネルギーに変えていく。
- ・エネルギー対策に取り組むことで、電気光熱費の急激な変化にも市で対応できるようになれば、より住みやすく、他の地域から見ても魅力的な街づくりとできる。
- ・夏の暑さ、冬の雪が有効に利用できないか。

# 11. 貴事業所の概要

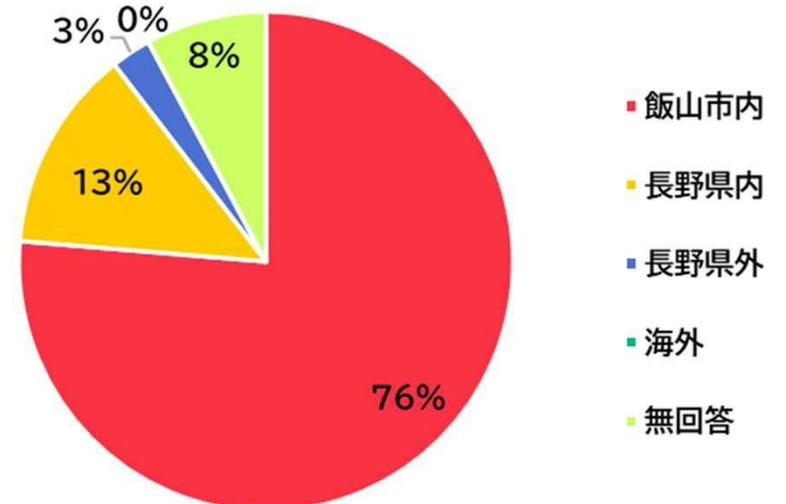
## 業種



## 種類

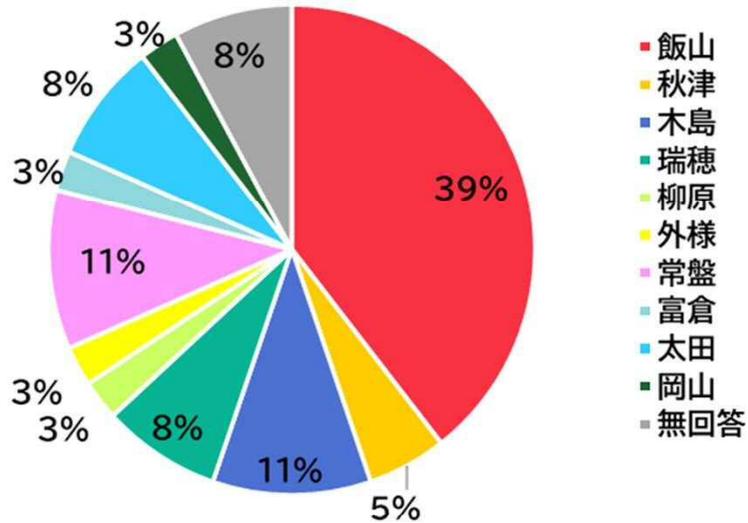


## 本社所在地

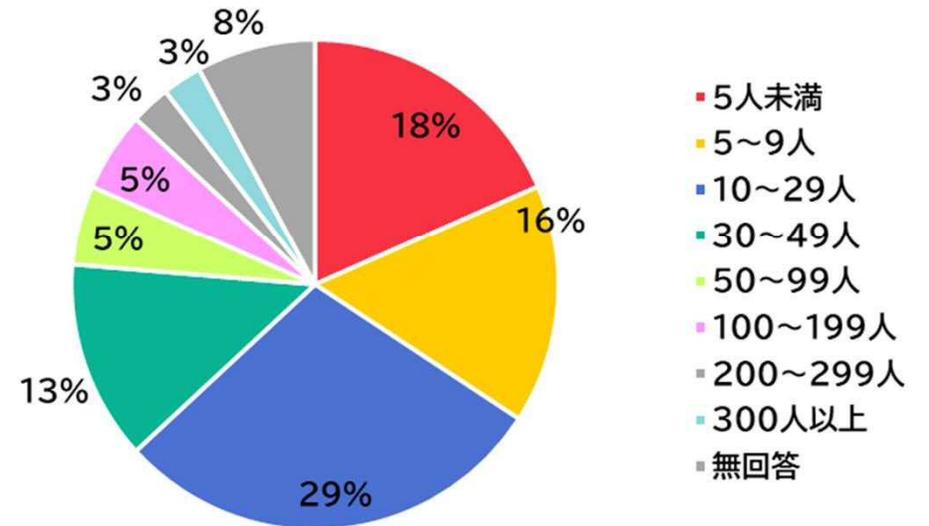


# 11. 貴事業所の概要

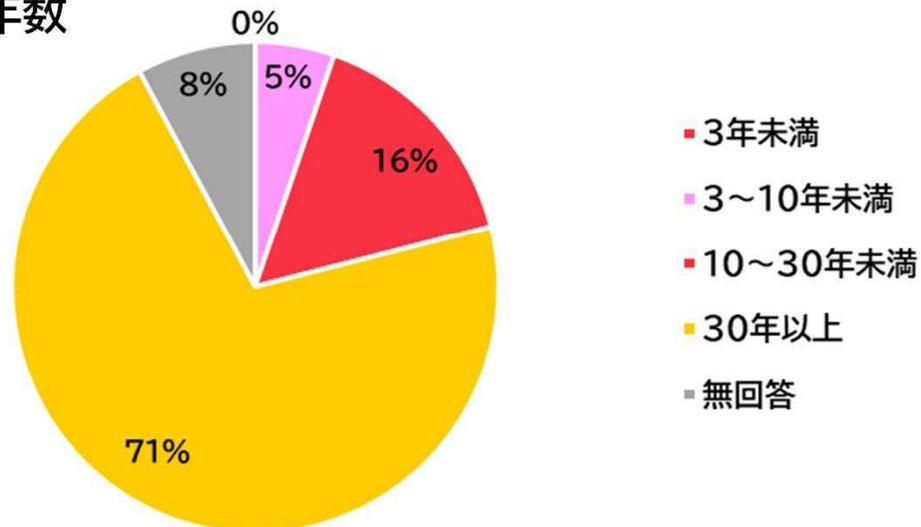
## ■ 事業所在地の地区



## ■ 従業員数



## ■ 操業年数



## 飯山市において地球温暖化対策を進めるための アンケートご協力をお願い

飯山市役所 民生部 市民環境課

平素は、本市の環境・エネルギー行政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨今、気候変動の原因となっている地球温暖化を回避するため、カーボンニュートラル<sup>※1</sup>の取組が世界的に進められています。わが国では、脱炭素社会<sup>※2</sup>の実現に向け、2020年10月、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

本市においても、脱炭素に向けた計画<sup>(※下記)</sup>の策定を進めております。本アンケートは、市民の皆さんの意識や取組状況などをお聞かせいただき、今後の施策検討のための基礎資料として活用するために行うものです。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいようお願い申し上げます。

質問は全部で32問です。また、アンケートの文中に(※ )がある単語は、別冊の「用語集」で詳しく説明しています。なお、用語集のご返信は不要です。

### 【返送について】

お答えいただいた調査票は、**令和4年1月14日(土)までに**、同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。

なお、スマートフォンやパソコンから下記のQRコードまたはURLにアクセスしご回答いただくこともできます。スマートフォンやパソコンでご回答された方は、この調査票の返信はご不要です。

### 【URL】

<https://forms.gle/j8ru3xSAmfJ22taT6>



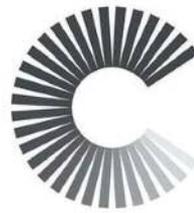
### ■お問い合わせ先

飯山市 民生部 市民環境課 生活環境係 担当：深堀、市村

TEL：0269-67-0726



市報いよいよま	2～21
農業委員会だより	22～23
生涯学習だより	24～31
いよいよま社協だより	32～35
暮らしの情報掲示板	36～39



ひとりひとりができること

# ゼロカーボン アクション30

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。「ゼロカーボンアクション30」にできることから取り組んでみましょう！

 市民環境課 生活環境係 TEL 67-0726 (直通)

## ゼロカーボンアクション ってなに？

みなさんは「カーボンニュートラル」や「ゼロカーボン」に向けた取組をしていますか？このコーナーでは、「2050年カーボンニュートラル」に向け、市民の皆さんにも取り組める内容、「ゼロカーボンアクション」をご紹介します。地球温暖化やそれに伴う気候変動といった地球規模の課題への対策には、皆さん一人ひとりの身近な取り組みが大切です。ところで、「カーボンニュートラル」や「ゼロカーボン」という言葉の意味をご存知でしょうか。この2つの言葉には大きな違いはありません。人間の活動のなかで排出する二酸化

炭素の量から、森林などの吸収量を差し引いて、全体としてゼロにすることを意味します。つまり、電気の使用（火力発電から作られた電気を使用することは、間接的に二酸化炭素を排出していることとなります）や、灯油、ガス、ガソリンといった化石燃料の使用を削減すること等で二酸化炭素の排出量を減らし、森林の吸収量との均衡を図ることが目標となります。

## なぜ二酸化炭素の排出量を減らすの？

冒頭でも触れたとおり、地球温暖化はさまざまな気候変動の原因となり、大規模災害の発生や豪雨、極端な豪雪や寡雪、農作物への悪影響などの被害をもたらすと言われています。この地球温暖化の原因であるのが、二酸化炭素をはじめとする「温室効果ガス」です。地球温暖化を緩和し、住み続けられる地球環境を守るため、全世界での対策が進められています。日本でも2020年10月に、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことが表明され、飯山市でも第3次飯山市環境基本計画において、同様の目標を掲げています。地球温暖化、気候変動への対策として、次回から実際の取り組みの例をご紹介します。できることから始めましょう。

### 【アンケートの取扱いについて】

1. このアンケートは、市内の事業者の中から 120 事業所を対象に調査票をお送りしています。
2. すべてのお答えを統計的に処理した上でとりまとめます。  
各事業者の情報やお答えの内容が明らかになることはありません。
3. アンケート結果は、計画策定の基礎資料以外に使用することはありません。

### 【ご記入にあたって】

エネルギーや地球温暖化対策等のご担当部署、又は、総務等の管理部署のご担当者様  
がご回答ください。

このアンケートには、会社（事業所）として回答を求める設問と、回答者個人の意見を  
問う設問がありますが、その両方にご回答ください。

### ■アンケートに関するお問い合わせ先

飯山市 民生部 市民環境課 生活環境係 担当：深堀、市村  
TEL：0269-67-0726

<委託会社： 集計分析>

三井共同建設コンサルタント株式会社 TEL：03-6417-3209

令和4年12月

（※）本市では、来年度（令和5年度）以降の地球温暖化対策の実行に向けた具体的な  
施策を示す「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」）  
を策定する予定です。

実行計画は、温室効果ガスの現況推計、総量削減目標を検討し、温室効果ガス排出抑  
制等に関する対策、施策の立案につなげるものです。

## ■地球温暖化や地球環境の保全についてお聞きします

Q1：地球温暖化や気候変動・エネルギーの問題について、あなたの関心度をお聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. とても関心がある
2. どちらかというと関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

Q2：地球温暖化・気候変動による集中豪雨などの多発や熱中症・感染症のリスクが懸念されています。このための対策として必要な取組はなんだと思いますか？お聞かせください。（2つまで○をしてください。）

1. 再生可能エネルギーを活用する
2. 省エネ型家電や設備を導入する
3. リサイクルなどにより、廃棄物を減らす
4. 家庭や職場でエネルギーの消費を減らし、省エネを推進する
5. 災害時のために電力等のエネルギーを確保しておく。
6. その他

( )

Q3：長野県が2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロにすることを目指す「気候非常事態宣言 -2050ゼロカーボンへの決意<sup>※3</sup>」について、宣言したことをご存知ですか？お聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. 内容を知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 聞いたことがない

Q4：「パリ協定<sup>※4</sup>」についてご存知ですか？お聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. 内容を知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 聞いたことがない

Q5:「SDGs<sup>※5</sup>」についてご存知ですか？お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)

1. 内容を知っている
2. 聞いたことはあるが内容は知らない
3. 聞いたことがない

Q6：私たちの生活の利便性と地球環境の保全との関係について、どのようにお考えですか？お聞かせください。(1つだけ○をしてください。)

1. 現在の利便性を犠牲にしても、地球環境の保全を最優先に行う必要がある
2. 現在の利便性を低下させても、地球環境の保全を行う必要がある
3. 現在の利便性を変えない範囲で、地球環境の保全を行う必要がある
4. 地球環境の保全よりも、利便性を向上させる方が重要である
5. わからない

## ■脱炭素の取組の必要性についてお聞きします

Q7：地球温暖化の主な要因は大気中の二酸化炭素の増加とされています。脱炭素に関する取組について、どのように進めていくべきだとお考えですか。（1 つだけ〇をしてください。）

1. 積極的に脱炭素の取組を進めるべきである
2. 積極的ではないが、できる範囲で脱炭素の取組を進めた方が良い
3. 脱炭素の取組を進める必要はない
4. わからない

Q8：生活の中で地球温暖化や気候変動の影響を感じることがありますか。

1. 影響を感じる
2. 影響は感じない

「1. 影響を感じる」とご回答した方は、どのような影響があるか、あれば具体的に記述してください。

Q9：地球温暖化や気候変動、脱炭素への取組の必要性などについて、ご意見があれば自由にお書きください。

自由記述欄



■省エネ機器・設備等の保有状況についてお聞きします

Q16：現在、貴事業所において、省エネ設備や再エネ設備等を導入されていますか？それぞれ、あてはまる番号に○をしてください。

設備等の種類	回答
事業所の断熱性を向上させる取組（断熱材の入替え、気密性の高いサッシの導入、屋根や外壁の断熱塗装など）	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
太陽光発電システム	1. 導入している（_____kW） 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
その他の発電システム（風力・バイオマス <sup>※6</sup> 等）	1. 導入している（名称____、_____kW） 2. 今後導入したい（名称_____） 3. 今後も導入の予定はない
太陽熱温水器	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
蓄電池システム	1. 導入している（_____kW） 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
高効率給湯器（エコキュートなど）	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
業務・産業用燃料電池（エネファームなど）	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
潜熱回収型給湯器（エコジョーズなど）	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
地中熱ヒートポンプを利用した冷暖房システム	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない

次ページへ続きます

省エネ型電気製品 (省エネラベル製品)	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
薪ストーブやペレットストーブなどの木質燃料を使った暖房器具	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
クリーンエネルギー自動車 (ハイブリッド車、電気自動車など)	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
HEMS <sup>※7</sup>	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
V2H <sup>※8</sup>	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
ZEH <sup>※9</sup>	1. 導入している 2. 今後導入したい 3. 今後も導入の予定はない
その他に導入している、今後導入したいものがあればご記入ください。	1. 導入している (名称 _____) 2. 今後導入したい (名称 _____)

Q17: 貴事業所において、省エネ設備や再エネ設備を導入する場合に課題があればお聞かせください。(該当するものすべてに○をしてください。)

1. 設備設置に係る費用が高い
2. 維持管理の手間や費用がかかる
3. 事業所の構造上、設置が難しい
4. メリットやデメリットなど、詳しい内容がよくわからない
5. どこに相談してよいのかわからない
6. 日常生活が忙しく、検討する余裕がない
7. 特に課題はない
8. その他

( )

■地球温暖化対策への取組み状況についてお聞きします

Q18：貴事業所において、地球温暖化対策として取り組んでいることについて、お聞かせください。それぞれ、あてはまる番号に○をしてください。

取組	回答
事業活動による電気・ガス等のエネルギー使用量の調査・把握	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
事業活動による温室効果ガス排出量の調査・把握	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
事業活動の温室効果ガス排出量の削減目標や行動計画の設定	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
省エネ診断の実施	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
照明間引き点灯の実施	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
空調の設定温度の管理	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後もの予定はない
空調運転時間の短縮	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
空調機フィルタの定期的な清掃	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない
省エネや環境保全に関する従業員への環境教育の実施	1. 実施している 2. 今後実施したい 3. 今後も実施の予定はない

次ページへ続きます



■再生可能エネルギーの導入についてお聞きします

Q19：今後、飯山市ではどのような「再生可能エネルギー」等の導入を進めるべきだと思いますか。該当するものすべてに○をしてください。

太陽光発電	個人宅・事業所の屋根、壁、敷地等に設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	空き地や耕作放棄地等への大規模太陽光パネルの設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
太陽熱利用		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
雪氷冷熱利用	食品等の貯蔵を目的とした雪室	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	夏の冷房に活用することを目的とした雪の貯蔵	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>

次ページへ続きます

中小水力発電	山間地の中小河川への設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	農業用等水路への設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
風力発電	山間部への設置 (大型のもの)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	市街地や集落周辺に設置 (小型のもの)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
木質バイオマス発電および 廃熱利用	飯山市内の森林整備で 発生した間伐材を主原料とする小型バイオマス発電	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	薪、木質チップ等の木質バイオマス燃料の製造	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
	薪ストーブやペレットストーブの設置	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>

次ページへ続きます

下水道汚泥等を活用したバイオマス発電	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
廃棄物発電（一般廃棄物、プラスチックごみ等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
地熱発電（地熱バイナリー発電）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
温度差発電（河川、融雪水等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
水素エネルギー製造（再生可能エネルギー発電の余剰電力を活用）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
エタノールの製造（農作物の残渣や食品製造過程等で出た残りかすの活用）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市が事業者として導入</li> <li>2. 市が補助し、市民・事業者が導入</li> <li>3. 市の税金は活用せず、任意で導入</li> <li>4. 導入すべきではない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
その他のエネルギー等の活用についてご意見があればご自由にお書きください。	

Q20：再生可能エネルギーの導入を進めるに当たり、市が取り組む必要があると思われることをお聞かせください。（該当するものすべてに○をしてください。）

1. 個人住宅への再生可能エネルギー導入の補助（太陽光パネルの設置等）
2. 電気自動車、燃料電池車等の購入補助
3. 地域が事業者となるモデル事業の実施
4. 地球温暖化や気候変動に関する意識啓発  
（環境教育、マスメディア・SNS<sup>※10</sup>等による情報発信）
5. 公共施設への太陽光パネルの設置
6. わからない
7. その他

( )





■ 貴事業所で所有している除雪・融雪設備についてお聞きします

Q27：貴事業所で、自社の敷地内の除排雪のために保有している除雪機について、お聞かせください。

1. 保有していない ⇒ Q29にお進みください。
2. 保有している ⇒ 下記に所有している除雪機についてご記入ください。

（ 記入例：除雪機 2 台（15 馬力）、ホイールローダー 1 台 ）

Q28：今後、電動式又は燃料電池で稼働する除雪機を導入する場合に、課題があればお聞かせください。（該当するものすべてに○をしてください。）

1. 車体価格が高い
2. 車種が少ない
3. 馬力が足りない
4. 充電場所が離れていて充電できない
5. 充電場所が少ない
6. 詳しい情報（メリット、デメリット等）がわからない
7. 特に課題はない
8. その他

（ ）

Q29：貴事業所で導入されている融雪設備の種類についてお聞かせください。（該当するものすべてに○をしてください。）また、導入している融雪設備のエネルギー源についてお聞かせください。（該当するものすべてに○をしてください。）

エネルギー源

1. 屋根融雪 ----- 電気・灯油・ガス・その他（ ）
2. 路面融雪（散水含む）----- 電気・灯油・ガス・その他（ ）
3. その他（ ） ---- 電気・灯油・ガス・その他（ ）

## ■地球温暖化対策についてお聞きします

Q30：地球温暖化対策を目的とした社会的な取組として、どのようなものが必要であると思いますか？お聞かせください。（3つまで○をしてください。）

1. 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入を進める
2. 電気自動車や燃料電池車<sup>※11</sup>などの次世代自動車の導入を進める
3. 家電製品等の省エネ化を進める
4. 工場・オフィスビル・店舗などにおいてエネルギーを効率的に使用する
5. 公共交通対策や物流対策などの運輸交通体系を改善する
6. 省エネ行動を心がけるなどのライフスタイルを見直す
7. ごみの減量化やリサイクルに努める
8. 植林や森林整備を進め、二酸化炭素の吸収源を増やす
9. 二酸化炭素固定技術<sup>※12</sup>などの新しい技術を研究し開発する
10. 環境教育・学習を充実させる
11. 環境情報を広く一般に提供する
12. 炭素税の導入、低公害車への優遇措置などの税制を改革する
13. 国、県、市等による一般住宅や事業所への補助金・助成金などの支援制度を新設する
14. 水素エネルギー等、次世代エネルギーの活用を促進する
15. その他

( )

Q31：飯山市はどのような方針で環境問題やエネルギー対策に取り組むべきだと思われるか、お聞かせください。（1つだけ○をしてください。）

1. 大きな費用がかかっても、積極的に推進すべきである
2. 市の財政に大きな負担とならない範囲で、推進すべきである
3. 市は財政負担を負わず、主に民間活力を活かしながら推進すべきである
4. 取り組む必要はない
5. その他 ( )

Q32：飯山市が環境問題やエネルギー対策に取り組むことがよりよいまちづくりにつながると思われるか、お聞かせください。（1つだけ〇をしてください。）

1. 強くそう思う
2. そう思う
3. どちらともいえない
4. そう思わない
5. 全くそう思わない
6. わからない

Q33：飯山市の環境・エネルギー政策に対するご提案、ご意見などがあればお聞かせください。

自由記述欄

最後に貴事業所の概要について教えてください

※該当するものに○をしてください。

問1 貴事業所の業種（複数業を営む場合は主要なもの1つに○をしてください。）

農業 林業 漁業 鉱業・採石業・砂利採取業 建設業  
卸・小売業 運輸・郵便業 金融・保険業  
製造業（工業系） 製造業（飲食料品系） 製造業（その他）  
電気・ガス・熱供給・水道業 情報通信業 不動産・物品賃貸業  
宿泊業 飲食業 教育・学習支援業 医療・福祉  
学術研究・専門技術サービス業 生活関連サービス業  
その他サービス業 その他

問2 事業所の種類（該当するものすべてに○をしてください。）

事務所・営業所 店舗 工場  
倉庫・輸送センター・配送センター等 その他

問3 本社所在地（該当するもの1つに○をしてください。）

飯山市内 長野県内 長野県外（都道府県名 ） 海外

問4 貴事業所在地の地区（該当するもの1つに○をしてください。）

飯山 秋津 木島 瑞穂 柳原 外様 常盤 富倉 太田 岡山

問5 貴事業所の従業員数（該当するもの1つに○をしてください。）

5人未満 5～9人 10～29人 30～49人 50～99人  
100～199人 200～299人 300人以上

問6 貴事業所の操業年数（該当するもの1つに○をしてください。）

3年未満 3～10年未満 10～30年未満 30年以上

以上でアンケートは終了となります。ご協力ありがとうございました。



■アンケートに関するお問い合わせ先  
飯山市 民生部 市民環境課 生活環境係 TEL：0269-67-0726

■アンケート回収・集計  
三井共同建設コンサルタント株式会社 TEL：03-6417-3209

## アンケート用語集

※用語集のご返信は不要です。

ページ	No.	用語名	説明
お 願 い 文	※1	カーボンニュートラル	2050年までに、温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス）の排出を全体としてゼロにする（排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにする）こと。
	※2	脱炭素社会	地球温暖化対策のため、二酸化炭素の排出を低減していく社会のこと。
1	※3	気候非常事態宣言 -2050 ゼロカーボンへの決意	令和元年11月県議会定例会における「気候非常事態に関する決議」を受けて、長野県知事が「気候非常事態宣言」を宣言し、この中で「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」とすることを決意し、長野県77全市町村が同宣言に賛同している。同宣言では、県民一丸となった徹底的な省エネルギーと再生可能エネルギーの普及拡大の推進、さらにはエネルギー自立分散型で災害に強い地域づくりを進め、本県の持続的発展を図っていくこととしている。
	※4	パリ協定	2015年11月から12月にかけて、フランス・パリにおいて開催されたCOP21において採択された、京都議定書以来18年ぶりの新たな法的拘束力のある国際的な合意文書のこと。同協定では、国際条約として初めて「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」や「今世紀後半に人為的な温室効果ガスの排出と吸収源による除去を均衡させること」などが掲げられている。
2	※5	SDGs	Sustainable Development Goals の略。2015年9月の国連サミットで採択された、17のゴール、169のターゲットで構成されている「国際社会における2030年までの開発目標」のこと。
5	※6	バイオマス（発電）	バイオマス資源を直接あるいはガス化して燃やすことによって、電気を起こす発電方法のこと。 バイオマスとは、「動植物から生まれた、再利用可能な有機性の資源（石油などの化石燃料を除く）」のことで、主に木材、海草、生ゴミ、紙、動物の死骸・ふん尿、プランクトンなどを指す。

## アンケート用語集

※用語集のご返信は不要です。

ページ	No.	用語名	説明
6	※7	HEMS	「Home Energy Management System（ホーム エネルギー マネジメント システム）」の略。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムのこと。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、家電機器を「自動制御」したりする。
	※8	V2H	「Vehicle to Home（ビークルトゥ ホーム）」の略で、日本語訳すると『クルマから家へ』という意味の言葉。具体的には、電気自動車（EV）に貯めている電気を住宅でも使えるシステム、仕組みのこと。
	※9	ZEH	「net Zero Energy House（ネット ゼロ エネルギーハウス）」の略で、「エネルギー収支をゼロ以下にする家」という意味になり、家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーをバランスして、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家ということ。
12	※10	SNS	「Social Networking Service（ソーシャルネットワークワーキングサービス）」の略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。
16	※11	燃料電池車	燃料電池で水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーを使って、モーターを回して走る自動車のこと。ガソリン内燃機関自動車が、ガソリンスタンドで燃料を補給するように、燃料電池自動車は水素ステーションで燃料となる水素を補給する。
	※12	二酸化炭素固定技術	大気や排気ガスなどに含まれている二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）を人工的に固定する技術のこと。技術的には、燃焼施設の排気ガス中のCO <sub>2</sub> の分離回収で用いられる物理化学的方法、植樹や森林の再生・管理のほか、海藻やサンゴの光合成を利用する生物学的方法、地中や海中への隔離といった大規模な固定方法などさまざまな方法がある。

- |  |                  |
|--|------------------|
| <p>■アンケートに関するお問い合わせ先<br/>飯山市 民生部 市民環境課 生活環境係</p> | TEL：0269-67-0726 |
| <p>■アンケート回収・集計<br/>三井共同建設コンサルタント株式会社</p>         | TEL：03-6417-3209 |